

2 - 3 各政策の分析結果

政策 1	分析-61
政策 2	分析-79
政策 3	分析-97
政策 4	分析-115
政策 5	分析-133
政策 6	分析-151
政策 7	分析-169
政策 8	分析-187
政策 9	分析-205
政策 10	分析-223
政策 11	分析-241
政策 12	分析-259
政策 13	分析-277
政策 14	分析-295
政策 15	分析-313
政策 16	分析-331
政策 17	分析-349
政策 18	分析-367
政策 19	分析-385
政策 20	分析-403
政策 21	分析-421
政策 22	分析-439
政策 23	分析-457
政策 24	分析-475
政策 25	分析-493
政策 26	分析-511
政策 27	分析-529
政策 28	分析-547
政策 29	分析-565
政策 30	分析-583
政策 31	分析-601
政策 32	分析-619
政策 33	分析-637
政策 34	分析-655
政策 35	分析-673
政策 36	分析-691

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」は、地域産業の活性化や競争力の強化が図られるよう、県内農林水産業や工業の技術的課題の解決や産業技術の高度化に向けた研究開発を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 12 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 22.4%、低認知度群は 77.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（27.3%）が女性（17.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（32.3%）が 65 歳未満（19.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（27.7%）では、回答者全体と比較して 5.3 ポイント高い。

石巻圏域（15.2%）では、回答者全体と比較して 7.2 ポイント低い。

(%)

政策 12 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.7	20.7	22.4	56.1	21.5	77.6	100.0

性別	男性	2.9	24.4	27.3	53.9	18.8	72.7	100.0
	女性	0.7	17.0	17.7	58.2	24.1	82.3	100.0
年齢別	65 歳未満	1.4	17.6	19.0	57.2	23.8	81.0	100.0
	65 歳以上	3.0	29.3	32.3	52.7	15.0	67.7	100.0

圏域別	仙台	1.0	17.7	18.7	56.5	24.9	81.4	100.0
	仙南	1.3	17.9	19.2	56.4	24.4	80.8	100.0
	大崎	1.7	25.5	27.2	55.0	17.7	72.7	100.0
	栗原	3.1	24.6	27.7	51.2	21.1	72.3	100.0
	登米	2.4	24.1	26.5	53.8	19.8	73.6	100.0
	石巻	2.2	13.0	15.2	60.9	23.9	84.8	100.0
	気山沼・本吉	0.8	19.9	20.7	59.8	19.5	79.3	100.0

有効回答者数 1,611 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 28.8%、低認知度群は 71.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較すると、登米圏域（63.7%）が 34.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（50.0%）が 21.2 ポイント高い。

仙台圏域（20.0%）が、回答者全体と比べると 8.8 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.7%、低認知度群は 49.3%である。

(%)

政策 12 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.0	25.8	28.8	58.8	12.4	71.2	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	23.3	25.0	59.5	15.5	75.0	100.0
	仙南	3.6	16.4	20.0	61.8	18.2	80.0	100.0
	大崎	2.6	23.1	25.7	60.3	14.1	74.4	100.0
	栗原	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	71.4	100.0
	登米	18.2	45.5	63.7	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	10.0	20.0	30.0	60.0	10.0	70.0	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	10.4	40.3	50.7	47.8	1.5	49.3	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 12 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 56.4%、低関心度群は 43.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（63.9%）が女性（49.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（67.4%）が 65 歳未満（52.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（62.1%）では、回答者全体と比較して 5.7 ポイント高い。

石巻圏域（48.1%）では、回答者全体と比較して 8.3 ポイント低い。

(%)

政策 12 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	14.6	41.8	56.4	36.1	7.5	43.6	100.0

性別	男性	18.1	45.8	63.9	30.3	5.8	36.1	100.0
	女性	11.5	37.5	49.0	42.0	9.0	51.0	100.0
年齢別	65 歳未満	11.4	40.8	52.2	39.6	8.3	47.9	100.0
	65 歳以上	23.8	43.6	67.4	27.3	5.4	32.7	100.0

圏域別	仙台	14.0	39.7	53.7	38.8	7.5	46.3	100.0
	仙南	14.3	38.4	52.7	37.1	10.1	47.2	100.0
	大崎	18.3	39.1	57.4	37.8	4.8	42.6	100.0
	栗原	16.9	45.2	62.1	31.0	6.9	37.9	100.0
	登米	13.0	45.8	58.8	34.3	6.9	41.2	100.0
	石巻	9.7	38.4	48.1	43.8	8.1	51.9	100.0
	気山沼・本吉	14.7	42.9	57.6	35.5	6.9	42.4	100.0

有効回答者数 1,633 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 55.5%、低関心度群は 44.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)では 30.2 ポイント、登米圏域(83.3%)では 27.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域(68.4%)では 12.9 ポイント、大崎圏域(65.4%)では 9.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域(44.4%)では 11.1 ポイント、仙南圏域(47.3%)では 8.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 89.7%、低関心度群は 10.3%である。

(%)

政策 12 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	12.6	42.9	55.5	38.7	5.7	44.4	100.0	
圏 域 別	仙台	12.8	31.6	44.4	51.3	4.3	55.6	100.0
	仙南	9.1	38.2	47.3	45.5	7.3	52.8	100.0
	大崎	9.0	56.4	65.4	25.6	9.0	34.6	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	58.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	14.3	42.9	57.2	28.6	14.3	42.9	100.0
	気仙沼・本吉	18.4	50.0	68.4	31.6	0.0	31.6	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	36.8	52.9	89.7	10.3	0.0	10.3	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

3. 政策 12 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 32.4%と推定できる。

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	23.4	(76.6)
満足度 60点未満の割合		60.7
要検討領域にある回答者全体の割合		37.3

有効回答者数；重視度 1,613人、満足度 1,597人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	1613	1597
	欠損値	108	124
平均値		68.25	50.45
平均値の標準誤差		.438	.430
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.589	17.177
分散		309.380	295.066
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.4	(83.6)
満足度 60点未満の割合		52.6
要検討領域にある回答者全体の割合		36.2

有効回答者数；重視度 336人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	336	331
	欠損値	2	7
平均値		68.63	53.67
平均値の標準誤差		.868	.822
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.917	14.956
分散		253.344	223.682
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	66.3	50.0	16.3
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	68.8	16.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

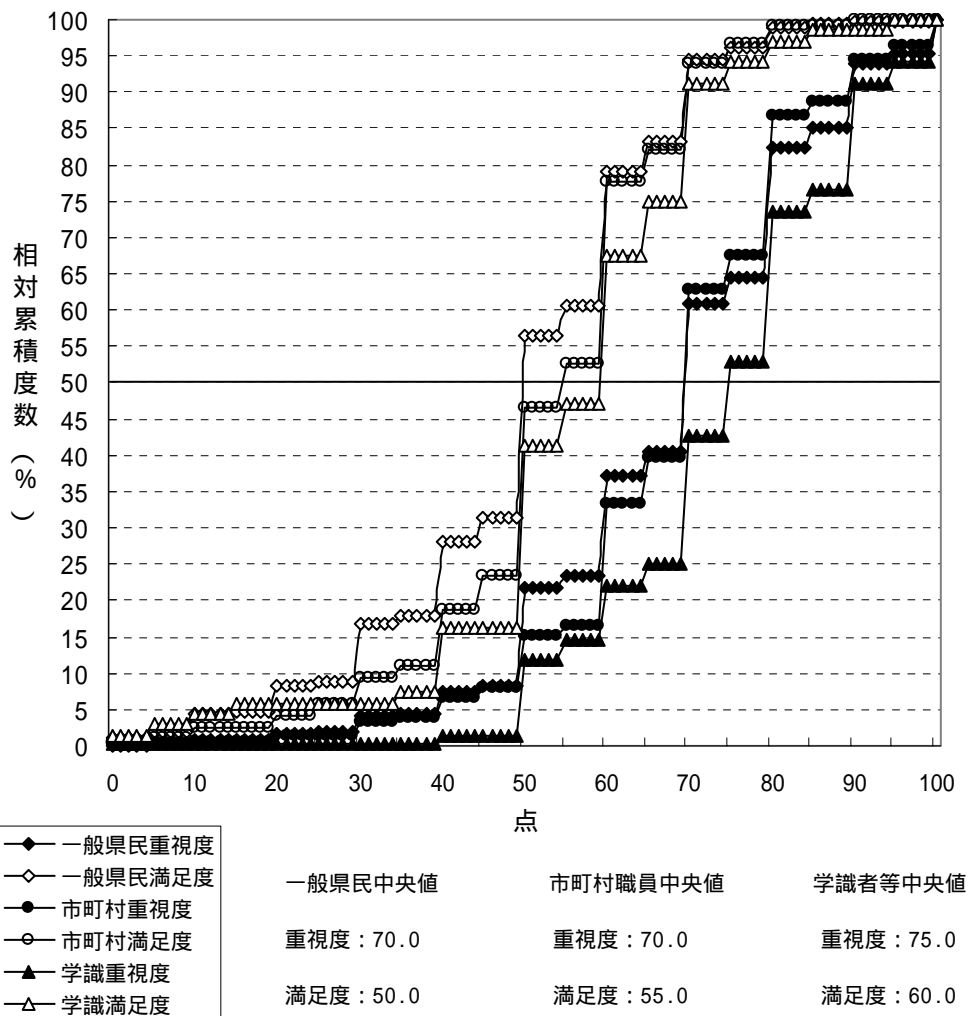
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.7	(85.3)
満足度 60点未満の割合		47.1
要検討領域にある回答者全体の割合		32.4

有効回答者数；重視度 68人、満足度 68人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	68	68
	欠損値	1	1
平均値		74.63	55.88
平均値の標準誤差		1.760	2.050
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.515	16.905
分散		210.684	285.777
範囲		60	95
最小値		40	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	66.25	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	68.75

「政策12 産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 38.9%、女性 35.4%と推定できる。

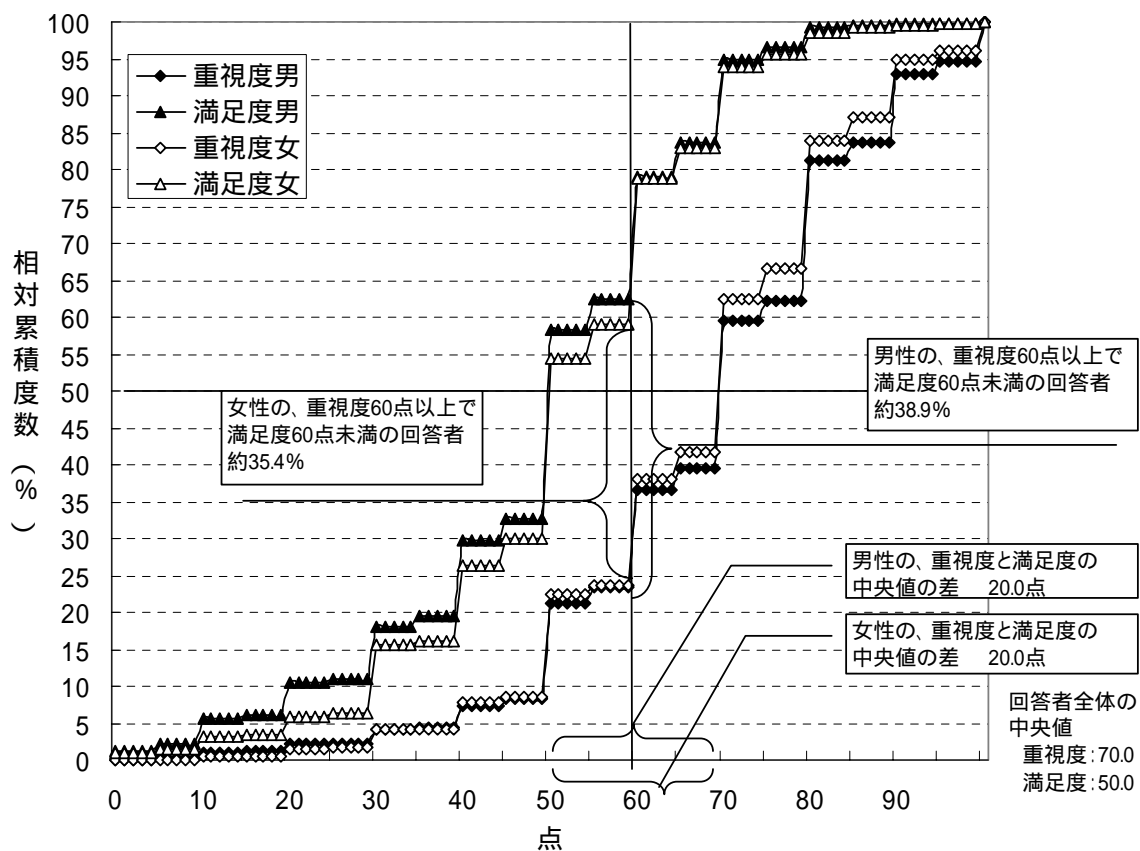
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.5 (76.5)	23.7 (76.3)
満足度 60 点未満の割合	62.4	59.1
要検討領域にある回答者全体の割合	38.9	35.4

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	769	763
	欠損値	34	40
平均値		68.67	49.53
平均値の標準誤差		.652	.643
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.082	17.774
分散		326.949	315.919
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	824	814
	欠損値	72	82
平均値		67.71	51.44
平均値の標準誤差		.596	.576
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.113	16.445
分散		292.847	270.454
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 36.9%、65 歳以上 37.5%と推定できる。

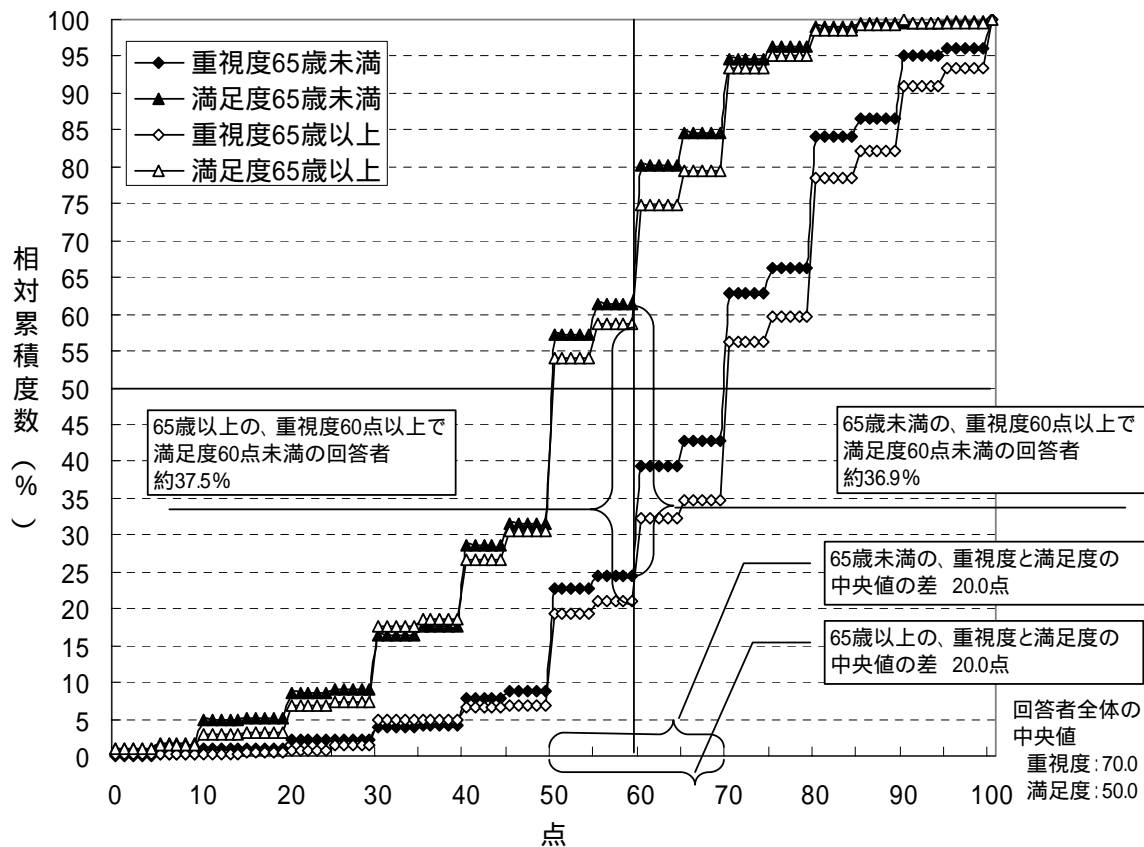
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.5 (75.5)	21.1 (78.9)
満足度 60 点未満の割合	61.4	58.6
要検討領域にある回答者全体の割合	36.9	37.5

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	1184	1176
	欠損値	56	64
		67.42	50.17
平均値		.508	.499
平均値の標準誤差		70.00	50.00
中央値		70	50
最頻値		17.466	17.123
標準偏差		305.066	293.185
分散		100	100
範囲		0	0
最小値		100	100
最大値		60.00	40.00
パーセンタイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	407	399
	欠損値	50	58
		70.26	51.53
平均値		.880	.858
平均値の標準誤差		70.00	50.00
中央値		70	50
最頻値		17.756	17.139
標準偏差		315.266	293.762
分散		95	90
範囲		5	0
最小値		100	90
最大値		60.00	40.00
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域(15.0点)、石巻圏域(15.0点)、仙南圏域(12.5点)の3圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、石巻圏域(7.5点)が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(75.0点)が5ポイント高く、石巻圏域(65.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)、仙南圏域(5.0点)、登米圏域(5.0点)の4圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(10.6点)、大崎圏域(10.0点)、登米圏域(8.8点)、仙南圏域(8.1点)、栗原圏域(7.5点)の5圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	10.0	5.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	15.0	15.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	75.0	65.0	72.5
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	57.5	57.5
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	20.0	15.0	7.5	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	70.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	43.8	50.0	50.0	51.3	43.8	50.0
	かい離	10.0	10.0	16.3	15.0	15.0	18.8	16.3	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	90.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	65.0	68.8	65.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	10.0	25.0	11.3	10.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	5.0	7.5	12.5	5.0	7.5	10.0
	満足度	5.0	5.0	8.1	10.0	7.5	8.8	10.6	5.0

4. 政策 12 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「農業分野の研究開発」(39.0%) である。

第 2 位は施策 1 「創造的研究開発の推進」(32.5%) である。

第 3 位は施策 5 「工業分野の研究開発」(11.5%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「創造的研究開発の推進」(40.9%) である。

第 2 位は施策 2 「農業分野の研究開発」(36.4%) である。

第 3 位は施策 4 「水産業分野の研究開発」(9.7%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「創造的研究開発の推進」(51.5%) である。

第 2 位は施策 2 「農業分野の研究開発」(13.2%) である。

第 3 位は施策 5 「工業分野の研究開発」(11.8%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 5 「工業分野の研究開発」、65 歳以上では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「創造的研究開発

の推進」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 5 「工業分野の研究開発」、石巻圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」である。

市町村職員では、

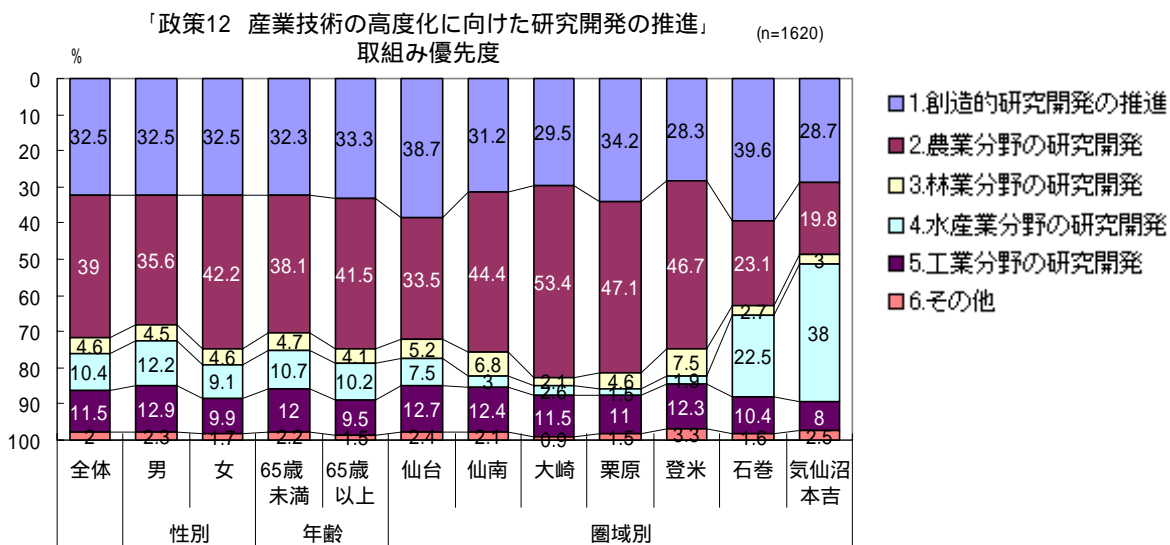
第 1 位は、仙台、仙南、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」、石巻圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

第 2 位は、仙台、仙南、石巻の 3 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

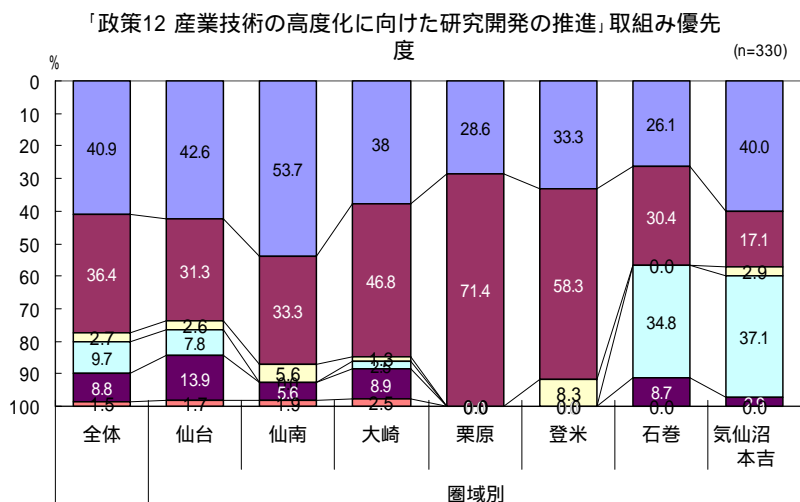
第 3 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 5 「工業分野の研究開発」、仙南、栗原、登米の 3 圏域では施策 3 「林業分野の研究開発」、石巻圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」である（仙南圏域では施策 3 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

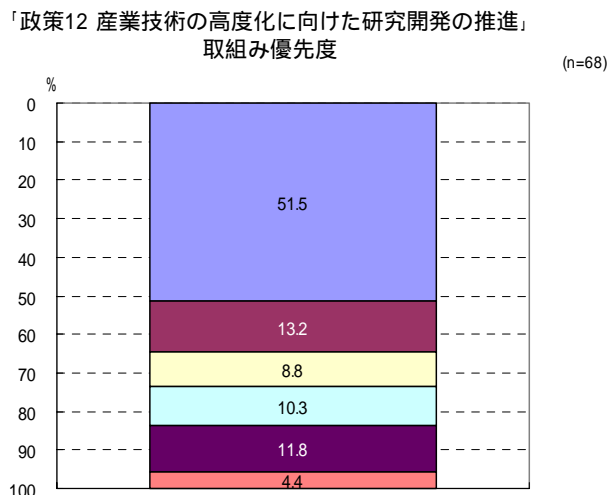
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.創造的研究開発の推進	32.5	32.5	32.5	32.3	33.3	38.7	31.2	29.5	34.2	28.3	39.6	28.7
2	2.農業分野の研究開発	39.0	35.6	42.2	38.1	41.5	33.5	44.4	53.4	47.1	46.7	23.1	19.8
3	3.林業分野の研究開発	4.6	4.5	4.6	4.7	4.1	5.2	6.8	2.1	4.6	7.5	2.7	3.0
4	4.水産業分野の研究開発	10.4	12.2	9.1	10.7	10.2	7.5	3.0	2.6	1.5	1.9	22.5	38.0
5	5.工業分野の研究開発	11.5	12.9	9.9	12.0	9.5	12.7	12.4	11.5	11.0	12.3	10.4	8.0
6	6.その他	2.0	2.3	1.7	2.2	1.5	2.4	2.1	0.9	1.5	3.3	1.6	2.5

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.創造的研究開発の推進	40.9	42.6	53.7	38.0	28.6	33.3	26.1	40.0
2	2.農業分野の研究開発	36.4	31.3	33.3	46.8	71.4	58.3	30.4	17.1
3	3.林業分野の研究開発	2.7	2.6	5.6	1.3	0.0	8.3	0.0	2.9
4	4.水産業分野の研究開発	9.7	7.8	0.0	2.5	0.0	0.0	34.8	37.1
5	5.工業分野の研究開発	8.8	13.9	5.6	8.9	0.0	0.0	8.7	2.9
6	6.その他	1.5	1.7	1.9	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.創造的研究開発の推進	51.5
2	2.農業分野の研究開発	13.2
3	3.林業分野の研究開発	8.8
4	4.水産業分野の研究開発	10.3
5	5.工業分野の研究開発	11.8
6	6.その他	4.4

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

政策 13 「新成長産業の創出・育成」

政策 13 「新成長産業の創出・育成」は、宮城県における新たな経済活力の創出を促すため、医療や福祉、環境、情報などの分野で、今後急速な成長が見込める事業に新たに取り組む企業や創造的、革新的な事業展開を行うベンチャービジネスの創出・育成を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 13 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 20.5%、低認知度群は 79.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（23.5%）が女性（17.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（28.0%）が 65 歳未満（17.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（26.6%）が、回答者全体と比較して 6.1 ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域（10.7%）が、回答者全体と比較して 9.8 ポイント低い。

(%)

政策 13 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.2	19.3	20.5	60.6	18.8	79.4	100.0

性別	男性	1.4	22.1	23.5	59.1	17.3	76.4	100.0
	女性	1.0	16.5	17.5	62.2	20.3	82.5	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	16.5	17.8	61.7	20.5	82.2	100.0
	65 歳以上	1.0	27.0	28.0	57.7	14.3	72.0	100.0

圏域別	仙台	0.9	20.8	21.7	59.9	18.4	78.3	100.0
	仙南	1.7	20.5	22.2	59.4	18.3	77.7	100.0
	大崎	1.3	23.9	25.2	53.9	20.9	74.8	100.0
	栗原	1.2	25.4	26.6	55.4	18.1	73.5	100.0
	登米	0.9	18.6	19.5	62.8	17.7	80.5	100.0
	石巻	1.6	14.0	15.6	64.5	19.9	84.4	100.0
	気仙沼・本吉	0.9	9.8	10.7	69.4	20.0	89.4	100.0

有効回答者数 1,613 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 26.0%、低認知度群は 74.0%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（66.7%）が 40.7 ポイント、栗原圏域（42.9%）が 16.9 ポイント、石巻圏域（35.0%）が 9.0 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 50.0%、低認知度群は 50.0%である。

(%)

政策 13 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.1	23.9	26.0	59.3	14.7	74.0	100.0	
圏 域 別	仙台	0.9	21.9	22.8	57.0	20.2	77.2	100.0
	仙南	3.6	20.0	23.6	56.4	20.0	76.4	100.0
	大崎	2.6	19.7	22.3	65.8	11.8	77.6	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	66.7	66.7	25.0	8.3	33.3	100.0
	石巻	10.0	25.0	35.0	45.0	20.0	65.0	100.0
	気山沼・本吉	0.0	23.7	23.7	76.3	0.0	76.3	100.0

有効回答者数 327 名

学識者等全体	10.9	39.1	50.0	48.4	1.6	50.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 64 名

2. 政策 13 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 63.3%、低関心度群は 36.7%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（65.7%）が女性（34.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.2%）が 65 歳未満（60.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

大崎圏域（69.4%）では、回答者全体と比較して 6.1 ポイント高い。

石巻圏域（54.0%）では、回答者全体と比較して 9.3 ポイント低い。

(%)

政策 13 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	15.2	48.1	63.3	30.3	6.4	36.7	100.0

性別	男性	16.8	48.9	65.7	28.8	5.5	34.3	100.0
	女性	13.6	47.2	60.8	32.1	7.2	39.3	100.0
年齢別	65 歳未満	13.0	47.4	60.4	33.3	6.3	39.6	100.0
	65 歳以上	21.4	49.8	71.2	22.3	6.6	28.9	100.0

圏域別	仙台	15.0	51.4	66.4	28.0	5.6	33.6	100.0
	仙南	11.6	52.4	64.0	29.6	6.4	36.0	100.0
	大崎	20.0	49.4	69.4	25.5	5.1	30.6	100.0
	栗原	19.6	45.7	65.3	27.9	6.8	34.7	100.0
	登米	16.0	43.7	59.7	33.8	6.6	40.4	100.0
	石巻	9.1	44.9	54.0	38.0	8.0	46.0	100.0
	気山沼・本吉	13.8	48.3	62.1	31.3	6.7	38.0	100.0

有効回答者数 1,633 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 58.0%、低関心度群は 42.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(91.7%)では 33.7 ポイント、栗原圏域(71.4%)では 13.4 ポイント高い。

石巻圏域(47.6%)では、回答者全体と比較して 10.4 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 84.6%、低関心度群は 15.4%である。

(%)

政策 13 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	9.1	48.9	58.0	38.4	3.6	42.0	100.0	
圏 域 別	仙台	6.8	47.9	54.7	41.9	3.4	45.3	100.0
	仙南	9.1	47.3	56.4	38.2	5.5	43.7	100.0
	大崎	9.2	50.0	59.2	35.5	5.3	40.8	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	75.0	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	9.5	38.1	47.6	47.6	4.8	52.4	100.0
	気山沼・本吉	10.5	50.0	60.5	39.5	0.0	39.5	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	36.9	47.7	84.6	15.4	0.0	15.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

3. 政策 13 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 29.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.9	(79.1)
満足度 60点未満の割合		62.0
要検討領域にある回答者全体の割合		41.1

有効回答者数；重視度 1,610人、満足度 1,586人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	1610	1586
	欠損値	111	135
平均値		69.32	50.03
平均値の標準誤差		.437	.429
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.528	17.096
分散		307.240	292.286
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	17.3	(82.7)
満足度 60点未満の割合		55.1
要検討領域にある回答者全体の割合		37.8

有効回答者数；重視度 335人、満足度 334人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	335	334
	欠損値	3	4
平均値		67.30	52.69
平均値の標準誤差		.840	.822
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		15.378	15.015
分散		236.468	225.450
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

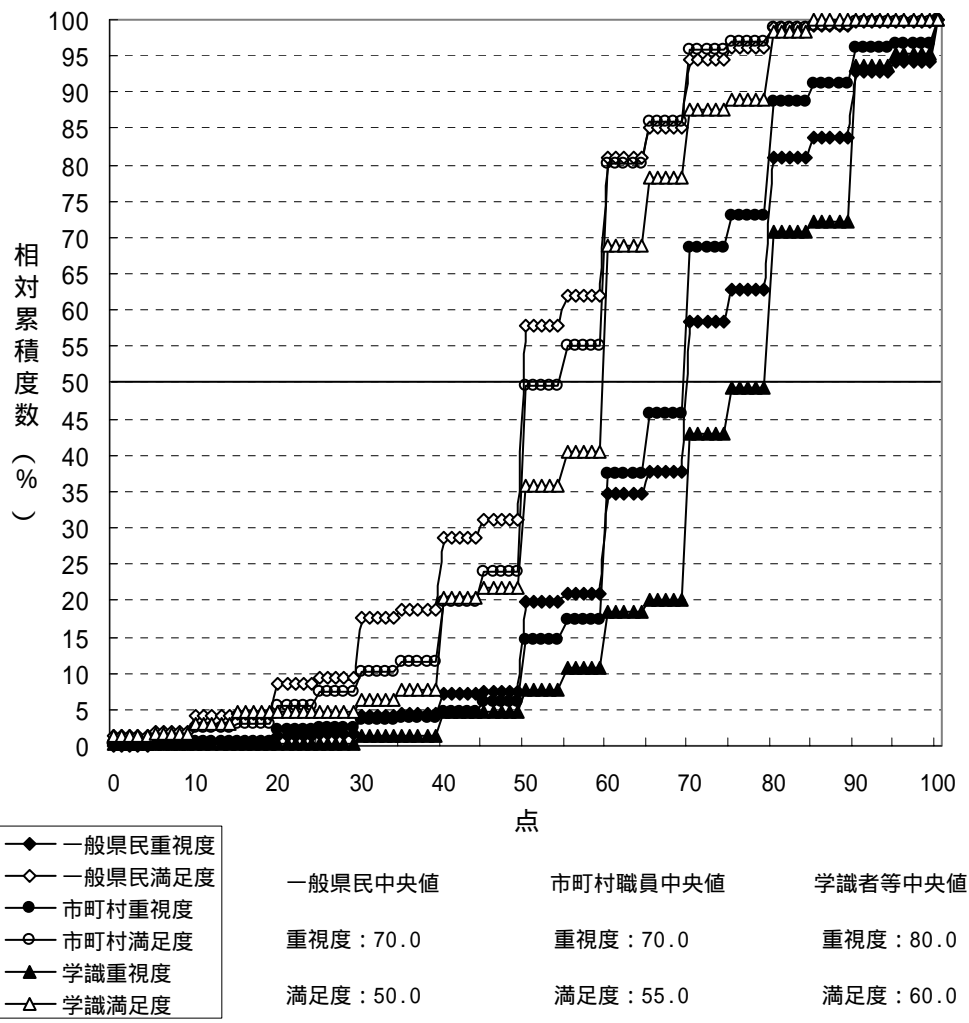
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.8	(89.2)
満足度 60点未満の割合		40.6
要検討領域にある回答者全体の割合		29.8

有効回答者数；重視度 65人、満足度 64人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	65	64
	欠損値	4	5
平均値		75.31	56.33
平均値の標準誤差		1.834	2.030
中央値		80.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.787	16.238
分散		218.654	263.684
範囲		70	80
最小値		30	5
最大値		100	85
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

「政策13 新成長産業の創出・育成」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 42.4%、女性 39.5%と推定できる。

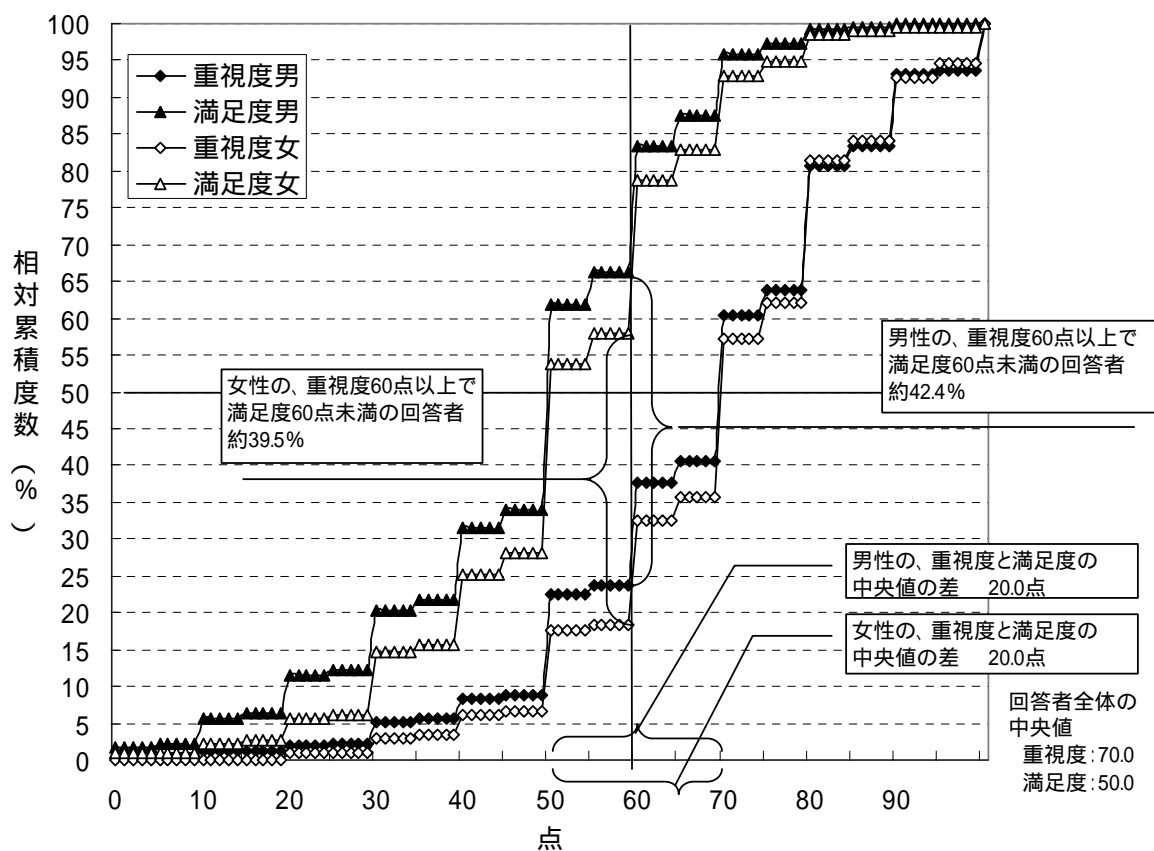
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.8 (76.2)	18.4 (81.6)
満足度 60 点未満の割合	66.2	57.9
要検討領域にある回答者全体の割合	42.4	39.5

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	772	766
	欠損値	31	37
平均値		68.25	48.10
平均値の標準誤差		.669	.637
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.588	17.626
分散		345.511	310.668
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	819	801
	欠損値	77	95
平均値		70.14	51.97
平均値の標準誤差		.576	.576
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.480	16.294
分散		271.588	265.479
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 40.6%、65 歳以上 42.0%と推定できる。

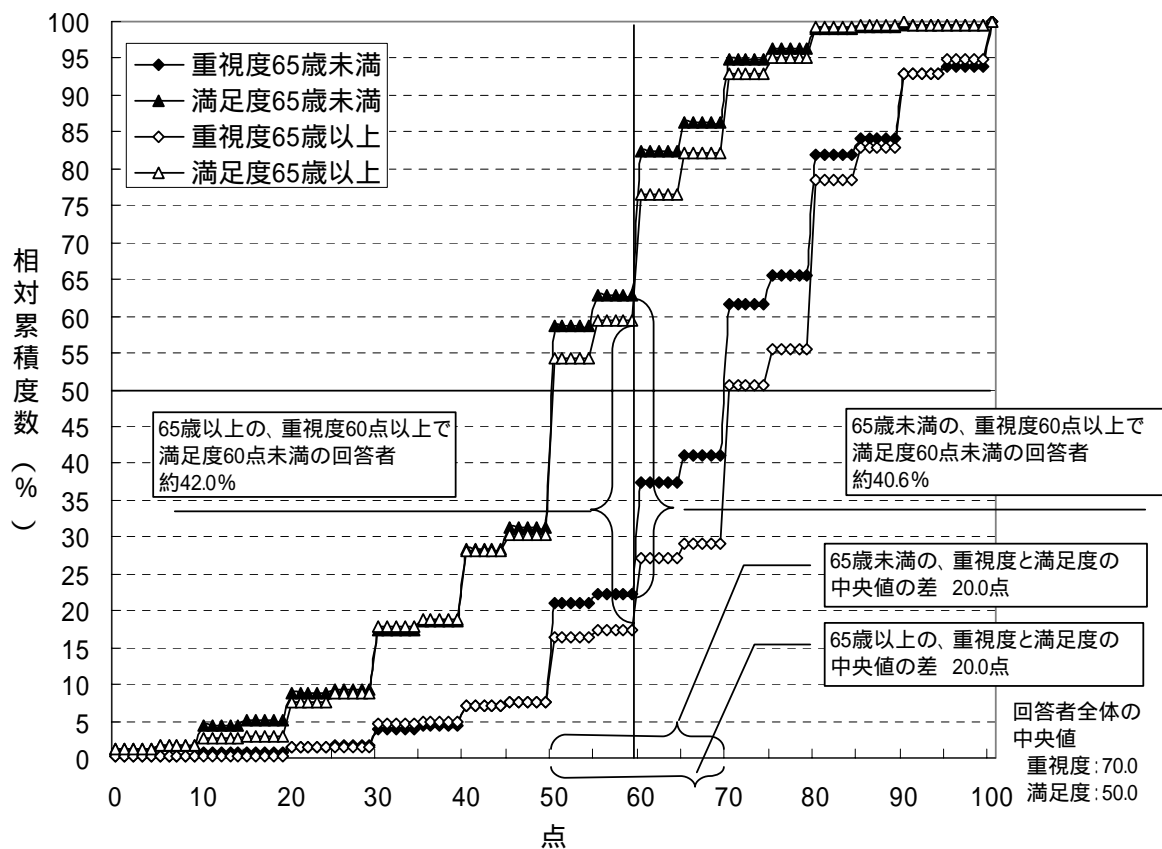
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.2 (77.8)	17.4 (82.6)
満足度 60 点未満の割合	62.8	59.4
要検討領域にある回答者全体の割合	40.6	42.0

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	1187	1168
	欠損値	53	72
平均値		68.50	49.78
平均値の標準誤差		.511	.499
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.595	17.042
分散		309.596	290.439
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	402	397
	欠損値	55	60
平均値		71.33	51.02
平均値の標準誤差		.859	.859
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.231	17.123
分散		296.915	293.212
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (70.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 (50.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 (14.4 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域 (7.5 点) 、石巻圏域 (6.3 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、

登米圏域 (75.0 点) が 5 ポイント高く、仙南圏域 (65.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点) 、栗原圏域 (60.0 点) 、登米圏域 (60.0 点) の 3 圏域が回答者全体 (55.0 点) よりも 5 ポイント高く、仙台圏域 (50.0 点) 、仙南圏域 (50.0 点) 、石巻圏域 (50.0 点) の 3 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域 (12.5 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、仙南圏域 (5.0 点) 、登米圏域 (5.0 点) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (10.6 点) 、仙南圏域 (10.0 点) 、仙台圏域 (7.5 点) 、登米圏域 (6.3 点) の 4 圏域が回答者全体 (5.0 点) よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	51.3	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	40.0	47.5	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	11.3	12.5	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	14.4	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	65.0	70.0	80.0	75.0	70.0	70.0
	満足度	55.0	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	52.5
	かい離	15.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	20.0	17.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	70.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	45.0	40.0	50.0	60.0	55.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	15.0	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	70.0	67.5	61.3	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	12.5	18.8	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0
	満足度	5.0	7.5	10.0	5.0	5.0	6.3	10.6	5.0

4. 政策 13 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」(48.6%) である。

第 2 位は施策 2 「環境関連産業の創出・育成」(15.5%) である。

第 3 位は施策 4 「食関連産業の創出・育成」(13.1%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」(30.0%) である。

第 2 位は施策 2 「環境関連産業の創出・育成」(20.1%) である。

第 3 位は施策 4 「食関連産業の創出・育成」(19.8%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「環境関連産業の創出・育成」(30.3%) である。

第 2 位は施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」(19.7%) と施策 4 「食関連産業の創出・育成」(19.7%) である(施策 1 と施策 4 が共に第 2 位になっている)。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、65 歳以上では施策 4 「食関連産業の創出・育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、65 歳以上では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」である。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、登米、石巻の 2 圏域では施策 5 「その他の新成長産業の創出・育成」である（登米圏域では施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

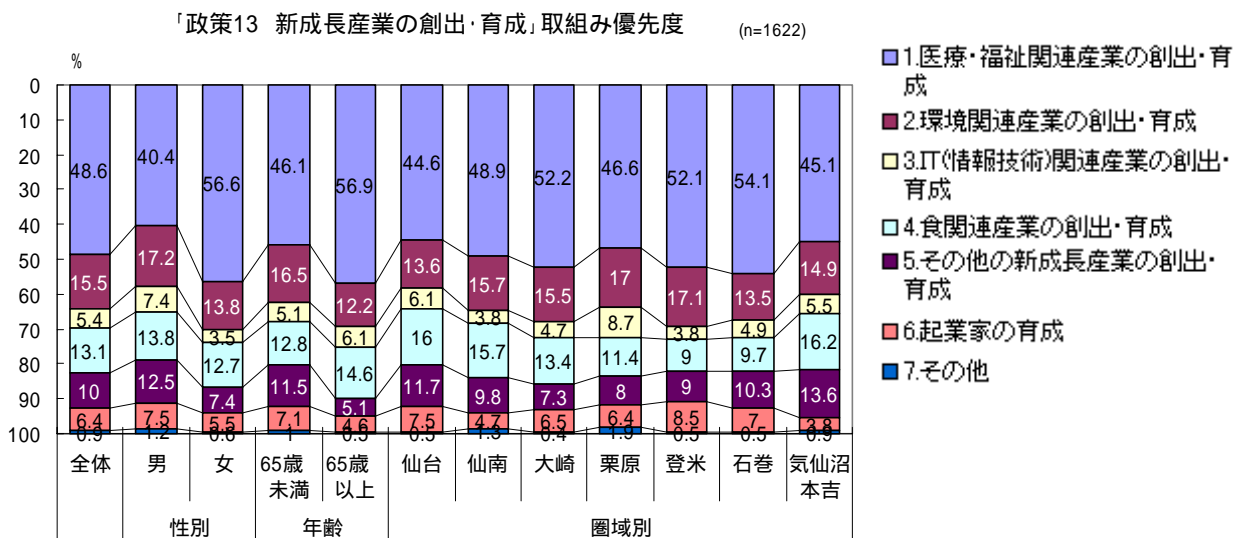
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米の 4 圏域では施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」、栗原圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、石巻圏域では施策 5 「その他の新成長産業の創出・育成」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」である。

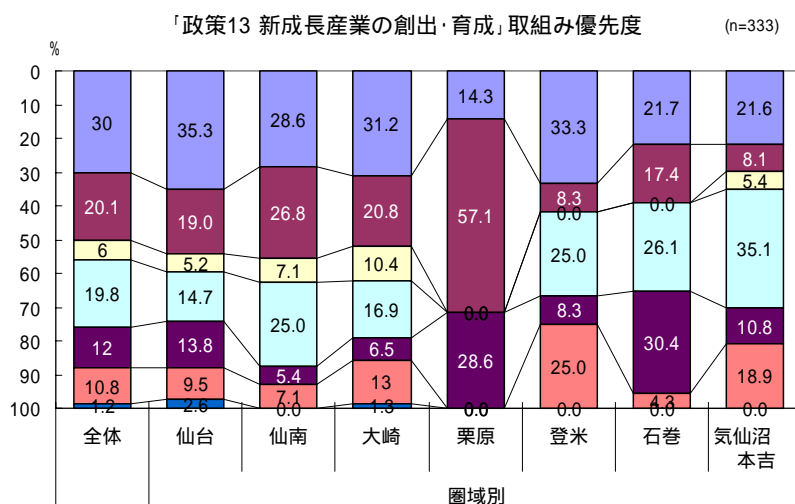
第 2 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、登米、石巻の 2 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、栗原圏域では施策 5 「その他の新成長産業の創出・育成」、登米圏域では施策 6 「起業家の育成」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」である（登米圏域では施策 4 と施策 6 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「起業家の育成」である。

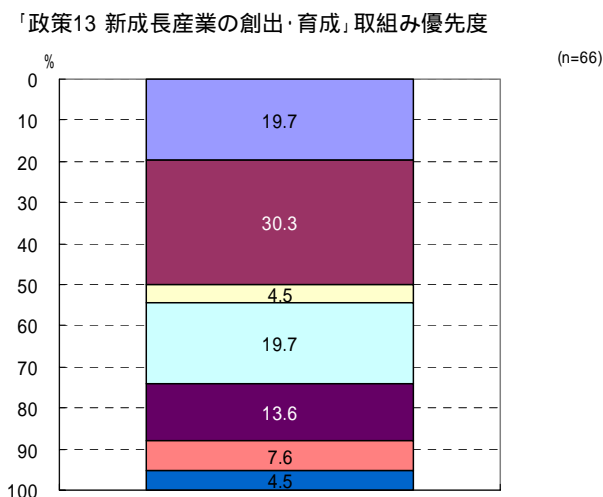
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 13 「新成長産業の創出・育成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.医療・福祉関連産業の創出・育成	48.6	40.4	56.6	46.1	56.9	44.6	48.9	52.2	46.6	52.1	54.1	45.1
2	2.環境関連産業の創出・育成	15.5	17.2	13.8	16.5	12.2	13.6	15.7	15.5	17.0	17.1	13.5	14.9
3	3.IT(情報技術)関連産業の創出・育成	5.4	7.4	3.5	5.1	6.1	6.1	3.8	4.7	8.7	3.8	4.9	5.5
4	4.食関連産業の創出・育成	13.1	13.8	12.7	12.8	14.6	16.0	15.7	13.4	11.4	9.0	9.7	16.2
5	5.その他の新成長産業の創出・育成	10.0	12.5	7.4	11.5	5.1	11.7	9.8	7.3	8.0	9.0	10.3	13.6
6	6.起業家の育成	6.4	7.5	5.5	7.1	4.6	7.5	4.7	6.5	6.4	8.5	7.0	3.8
7	7.その他	0.9	1.2	0.6	1.0	0.5	0.5	1.3	0.4	1.9	0.5	0.5	0.9

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.医療・福祉関連産業の創出・育成	30.0	35.3	28.6	31.2	14.3	33.3	21.7	21.6
2	2.環境関連産業の創出・育成	20.1	19.0	26.8	20.8	57.1	8.3	17.4	8.1
3	3.IT(情報技術)関連産業の創出・育成	6.0	5.2	7.1	10.4	0.0	0.0	0.0	5.4
4	4.食関連産業の創出・育成	19.8	14.7	25.0	16.9	0.0	25.0	26.1	35.1
5	5.その他の新成長産業の創出・育成	12.0	13.8	5.4	6.5	28.6	8.3	30.4	10.8
6	6.起業家の育成	10.8	9.5	7.1	13.0	0.0	25.0	4.3	18.9
7	7.その他	1.2	2.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.医療・福祉関連産業の創出・育成	19.7
2	2.環境関連産業の創出・育成	30.3
3	3.IT(情報技術)関連産業の創出・育成	4.5
4	4.食関連産業の創出・育成	19.7
5	5.その他の新成長産業の創出・育成	13.6
6	6.起業家の育成	7.6
7	7.その他	4.5

政策 14 「新しい時代を担う産業人の育成」

政策 14 「新しい時代を担う産業人の育成」は、地域産業全体の活力を高めるために、新事業への進出や創意工夫、革新に挑戦する人材の育成を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 14 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 20.2%、低認知度群は 79.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（22.6%）が女性（17.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（28.7%）が 65 歳未満（17.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、項認知度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 14 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.4	18.8	20.2	59.8	20.0	79.8	100.0

性別	男性	1.8	20.8	22.6	58.6	18.7	77.3	100.0
	女性	0.8	16.9	17.7	60.9	21.3	82.2	100.0
年齢別	65 歳未満	1.1	16.1	17.2	60.5	22.3	82.8	100.0
	65 歳以上	2.0	26.7	28.7	57.6	13.7	71.3	100.0

圏域別	仙台	0.9	18.5	19.4	57.3	23.2	80.5	100.0
	仙南	0.9	19.6	20.5	58.7	20.9	79.6	100.0
	大崎	2.2	21.0	23.2	58.1	18.8	76.9	100.0
	栗原	1.9	21.8	23.7	57.1	19.2	76.3	100.0
	登米	1.4	19.8	21.2	61.3	17.5	78.8	100.0
	石巻	1.1	15.5	16.6	61.5	21.9	83.4	100.0
	気山沼・本吉	0.8	14.8	15.6	64.8	19.5	84.3	100.0

有効回答者数 1,611 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 27.4%、低認知度群は 72.6%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（75.0%）では 47.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域（34.2%）では 6.8 ポイント高い。

仙南圏域（17.9%）では、回答者全体と比較して 9.5 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.0%、低認知度群は 50.0%である。

(%)

政策 14 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.7	24.7	27.4	61.3	11.3	72.6	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	22.0	23.7	61.9	14.4	76.3	100.0
	仙南	3.6	14.3	17.9	66.1	16.1	82.2	100.0
	大崎	2.6	24.4	27.0	62.8	10.3	73.1	100.0
	栗原	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	71.4	100.0
	登米	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	13.6	18.2	31.8	54.5	13.6	68.1	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	34.2	34.2	65.8	0.0	65.8	100.0

有効回答者数 336 名

学識者等全体	8.8	41.2	50.0	45.6	4.4	50.0	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

2. 政策 14 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 65.9%、低関心度群は 34.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（69.9%）が女性（61.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.5%）が 65 歳未満（63.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（59.4%）では、回答者全体と比較して 6.5 ポイント低い。

(%)

政策 14 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	17.8	48.1	65.9	28.6	5.6	34.2	100.0

性別	男性	20.4	49.5	69.9	26.0	4.1	30.1	100.0
	女性	15.3	46.6	61.9	31.1	6.9	38.0	100.0
年齢別	65 歳未満	15.1	48.6	63.7	31.1	5.3	36.4	100.0
	65 歳以上	25.4	46.1	71.5	21.9	6.6	28.5	100.0

圏 域 別	仙台	12.0	51.9	63.9	30.6	5.6	36.2	100.0
	仙南	13.4	52.9	66.3	28.6	5.0	33.6	100.0
	大崎	23.4	43.0	66.4	29.4	4.3	33.7	100.0
	栗原	21.2	47.3	68.5	25.4	6.1	31.5	100.0
	登米	15.1	51.4	66.5	29.4	4.1	33.5	100.0
	石巻	15.0	44.4	59.4	33.7	7.0	40.7	100.0
	気山沼・本吉	21.7	45.4	67.1	26.3	6.7	33.0	100.0

有効回答者数 1,646 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 63.3%、低関心度群は 36.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 36.7 ポイント、石巻圏域(78.3%)
では 15.0 ポイント、気仙沼・本吉圏域(73.0%)では 9.7 ポイント、栗原圏域(71.4%)
では 8.1 ポイント高い。

仙台圏域(53.0%)では、回答者全体と比較して 10.3 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 91.2%、低関心度群は 8.9%である。

(%)

政策 14 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	14.3	49.0	63.3	34.9	1.8	36.7	100.0	
圏 域 別	仙台	12.0	41.0	53.0	45.3	1.7	47.0	100.0
	仙南	17.9	50.0	67.9	30.4	1.8	32.2	100.0
	大崎	10.3	51.3	61.6	37.2	1.3	38.5	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	17.4	60.9	78.3	13.0	8.7	21.7	100.0
	気仙沼・本吉	18.9	54.1	73.0	27.0	0.0	27.0	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	33.8	57.4	91.2	7.4	1.5	8.9	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 68 名

3. 政策 14 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.7	(79.3)
満足度 60点未満の割合		64.6
要検討領域にある回答者全体の割合		43.9

有効回答者数；重視度 1,613人、満足度 1,594人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	1613	1594
	欠損値	108	127
平均値		69.85	48.81
平均値の標準誤差		.451	.434
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.095	17.344
分散		327.412	300.807
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.9	(86.1)
満足度 60点未満の割合		58.5
要検討領域にある回答者全体の割合		44.6

有効回答者数；重視度 338人、満足度 335人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	338	335
	欠損値	0	3
平均値		70.52	52.48
平均値の標準誤差		.811	.760
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.902	13.912
分散		222.061	193.544
範囲		85	80
最小値		15	0
最大値		100	80
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

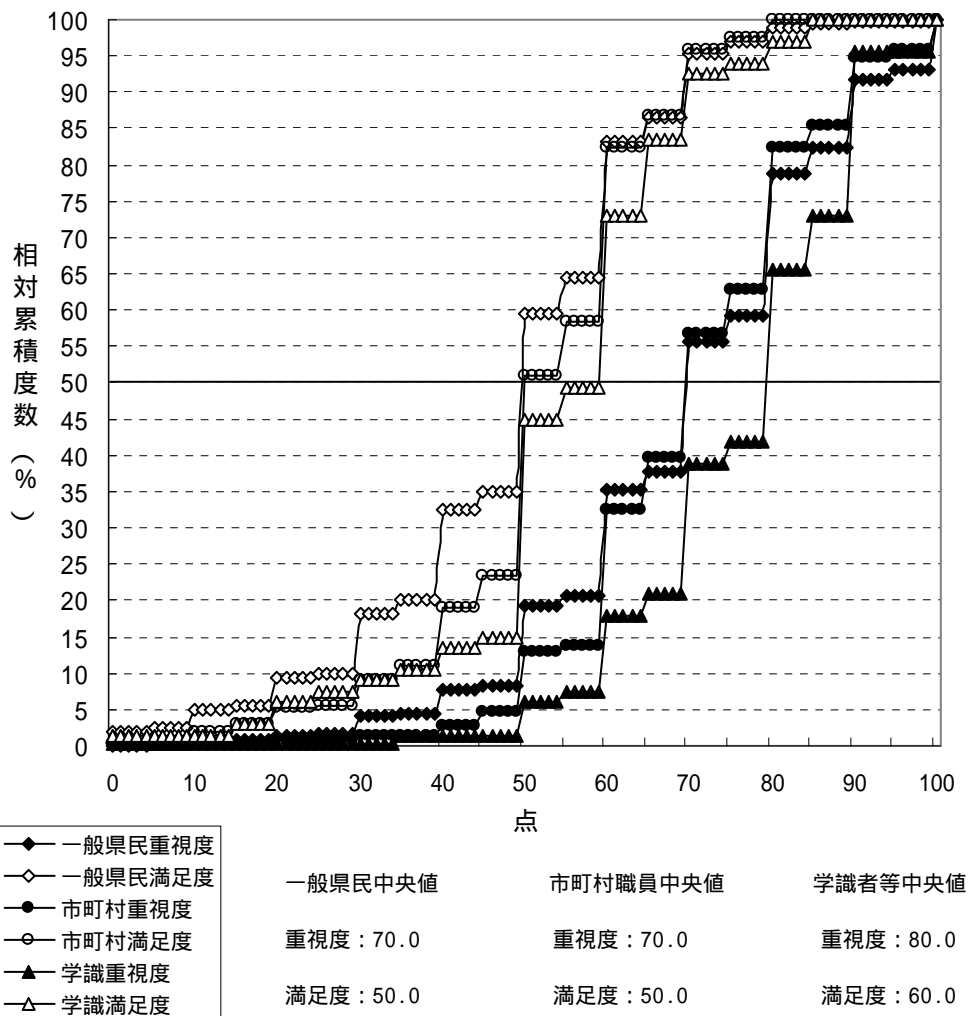
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.5	(92.5)
満足度 60点未満の割合		49.3
要検討領域にある回答者全体の割合		41.8

有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		76.64	55.00
平均値の標準誤差		1.642	1.839
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.439	15.050
分散		180.597	226.515
範囲		65	75
最小値		35	10
最大値		100	85
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 47.0%、女性 40.8%と推定できる。

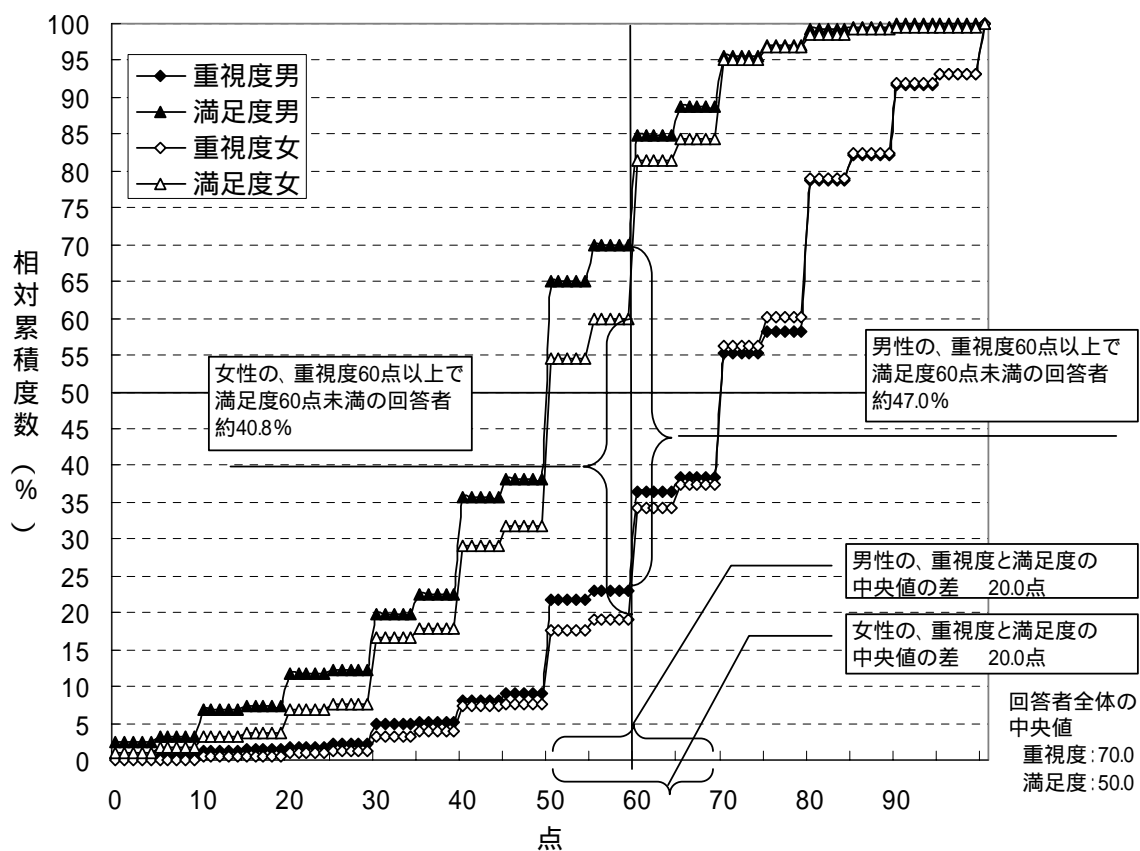
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.9 (77.1)	19.0 (81.)
満足度 60 点未満の割合	69.9	59.8
要検討領域にある回答者全体の割合	47.0	40.8

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	770	763
	欠損値	33	40
平均値		69.32	46.99
平均値の標準誤差		.681	.645
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.897	17.805
分散		357.086	317.024
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	825	813
	欠損値	71	83
平均値		70.19	50.59
平均値の標準誤差		.605	.583
中央値		70.00	50.00
最頻値		70 ^a	50
標準偏差		17.365	16.636
分散		301.540	276.745
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されず。

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 44.1%、65 歳以上 42.8%と推定できる。

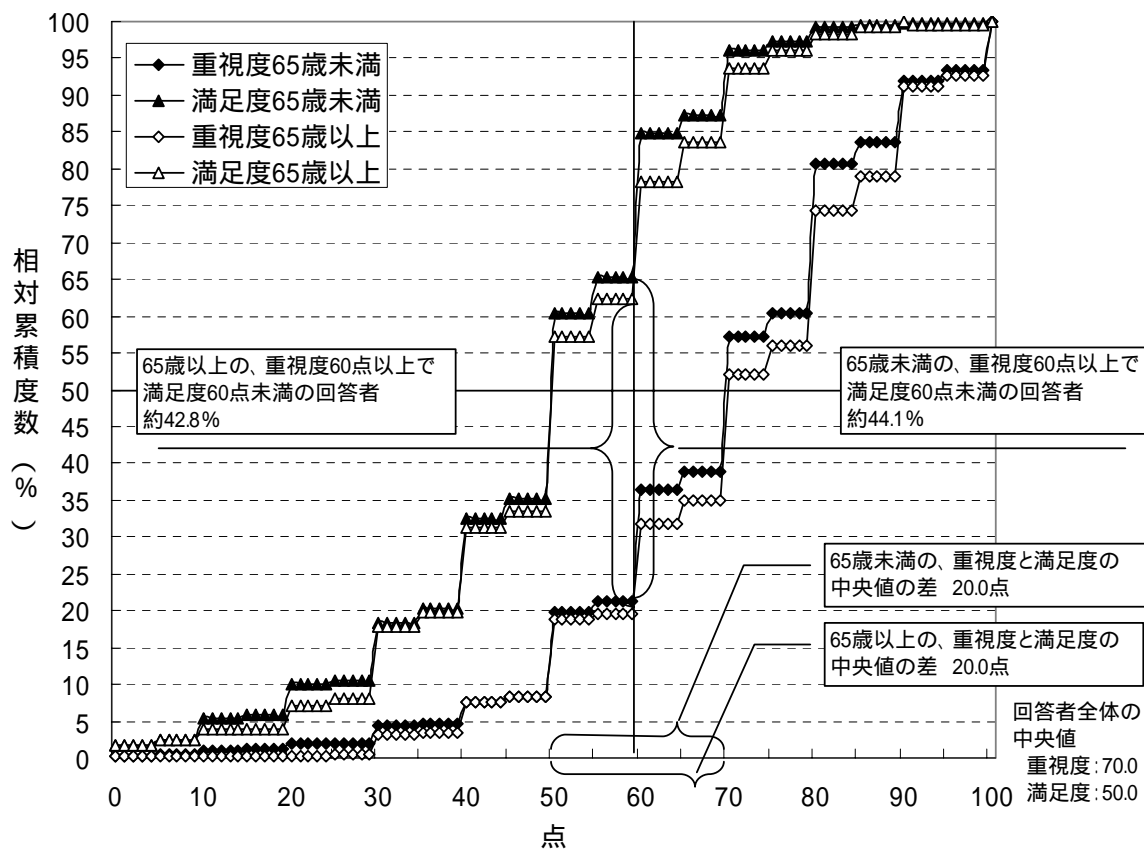
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	13.5	0.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.3 (78.7)	19.6 (80.4)
満足度 60 点未満の割合	65.4	62.4
要検討領域にある回答者全体の割合	44.1	42.8

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	1189	1178
	欠損値	51	62
平均値		69.25	48.42
平均値の標準誤差		.528	.503
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.222	17.247
分散		332.057	297.462
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	404	396
	欠損値	53	61
平均値		71.29	50.06
平均値の標準誤差		.881	.874
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.705	17.388
分散		313.476	302.338
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(82.5点)が回答者全体(70.0点)よりも12.5ポイント、
気仙沼・本吉圏域(77.5点)が7.5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(50.0
点)よりも10ポイント、登米圏域(57.5点)が7.5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)、登米圏域(11.9点)の2圏域が
回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、
栗原圏域(7.5点)、仙台圏域(6.9点)の5圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きく、
登米圏域(2.5点)が小さい。

【一般県民】

中央値、第 1 四分位、第 3 四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第 1 四分位、第 3 四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	82.5	70.0	77.5
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	60.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	25.0	20.0	27.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	66.3	60.0	60.0
	満足度	50.0	46.3	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	13.8	15.0	10.0	10.0	11.3	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	30.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	11.9	10.0	12.5
	満足度	5.0	6.9	7.5	7.5	7.5	2.5	10.0	5.0

4. 政策 14 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」(38.1%)である。

第 2 位は施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」(31.6%)である。

第 3 位は施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」(12.3%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」(44.8%)である。

第 2 位は施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」(31.9%)である。

第 3 位は施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」(9.3%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」(35.3%)である。

第 2 位は施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」(30.9%)である。

第 3 位は施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」(14.7%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」、65 歳以上では施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」である。

第 3 位は、仙台、仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」、大崎圏域では施策 3 「商業・サービス業の発展を担う人材の育成」である。

市町村職員では、

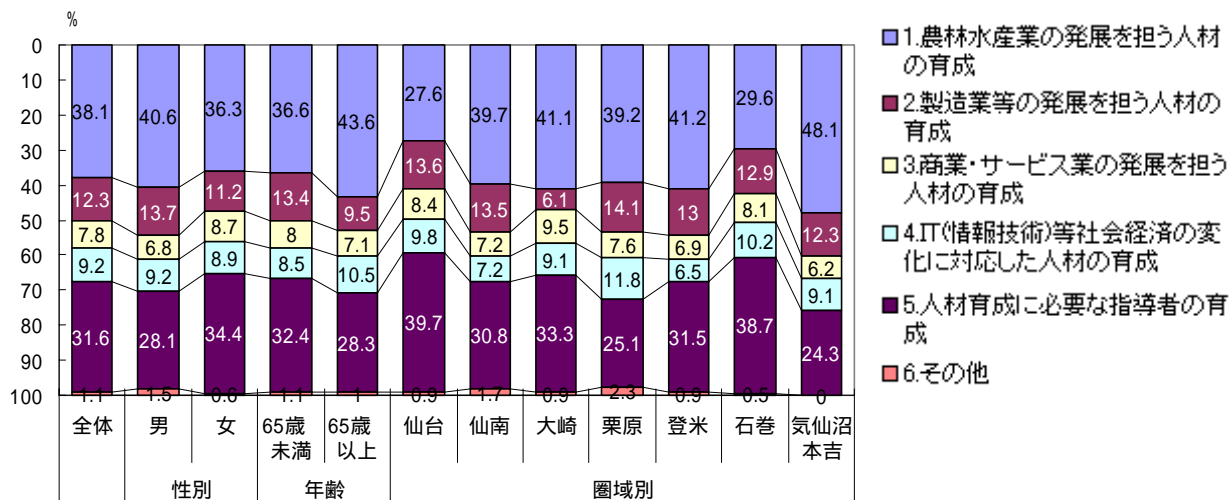
第 1 位は、仙台、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」、仙南、登米の 2 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」、栗原圏域では施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」である(栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 1 位になっている)。

第 2 位は、仙台、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」、仙南、登米の 2 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」である。

第 3 位は、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」、仙南、大崎、栗原の 3 圏域では施策 3 「商業・サービス業の発展を担う人材の育成」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」、栗原圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」である(仙南圏域では施策 3 と施策 4 が、栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 5 が共に第 3 位になっている)。

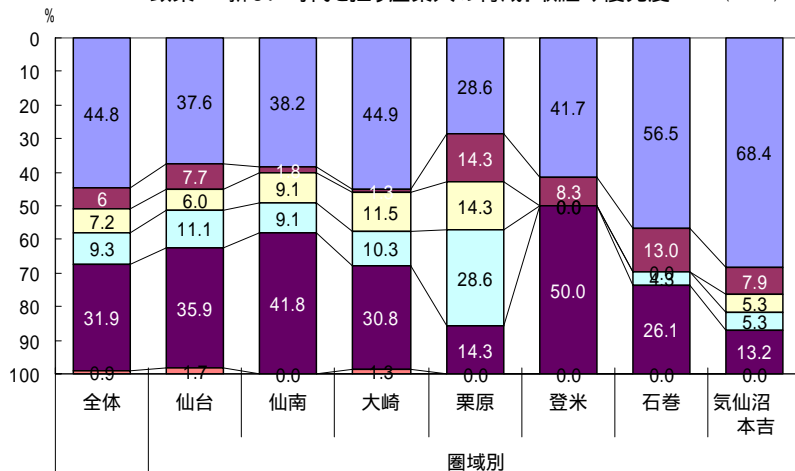
【一般県民】

「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」取組み優先度 (n=1638)



【市町村職員】

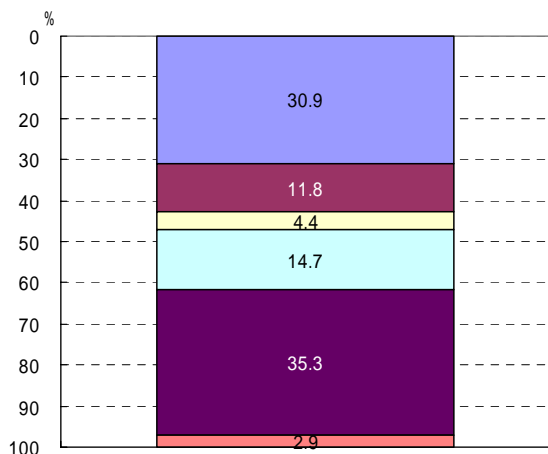
「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」取組み優先度 (n=335)



【学識者等】

「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」取組み優先度

(n=68)



政策 14 「新しい時代を担う産業人の育成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農林水産業の発展を担う人材の育成	38.1	40.6	36.3	36.6	43.6	27.6	39.7	41.1	39.2	41.2	29.6	48.1
2	2.製造業等の発展を担う人材の育成	12.3	13.7	11.2	13.4	9.5	13.6	13.5	6.1	14.1	13.0	12.9	12.3
3	3.商業・サービス業の発展を担う人材の育成	7.8	6.8	8.7	8.0	7.1	8.4	7.2	9.5	7.6	6.9	8.1	6.2
4	4.IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	9.2	9.2	8.9	8.5	10.5	9.8	7.2	9.1	11.8	6.5	10.2	9.1
5	5.人材育成に必要な指導者の育成	31.6	28.1	34.4	32.4	28.3	39.7	30.8	33.3	25.1	31.5	38.7	24.3
6	6.その他	1.1	1.5	0.6	1.1	1.0	0.9	1.7	0.9	2.3	0.9	0.5	0.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農林水産業の発展を担う人材の育成	44.8	37.6	38.2	44.9	28.6	41.7	56.5	68.4
2	2.製造業等の発展を担う人材の育成	6.0	7.7	1.8	1.3	14.3	8.3	13.0	7.9
3	3.商業・サービス業の発展を担う人材の育成	7.2	6.0	9.1	11.5	14.3	0.0	0.0	5.3
4	4.IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	9.3	11.1	9.1	10.3	28.6	0.0	4.3	5.3
5	5.人材育成に必要な指導者の育成	31.9	35.9	41.8	30.8	14.3	50.0	26.1	13.2
6	6.その他	0.9	1.7	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.農林水産業の発展を担う人材の育成	30.9
2	2.製造業等の発展を担う人材の育成	11.8
3	3.商業・サービス業の発展を担う人材の育成	4.4
4	4.IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	14.7
5	5.人材育成に必要な指導者の育成	35.3
6	6.その他	2.9

政策 15 「高度な産業技術の普及推進」

政策 15 「高度な産業技術の普及推進」は、各種試験研究機関における研究成果や調査・収集した技術情報等について、地域に密着した普及活動を効果的に展開し、高度な産業技術を地域産業へすみやかに移転することを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 15 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 14.8%、低認知度群は 85.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（18.8%）が女性（10.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（22.7%）が 65 歳未満（11.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（21.2%）では、回答者全体と比較して 6.4 ポイント高い。

石巻圏域（8.4%）では、回答者全体と比較して 6.4 ポイント低い。

(%)

政策 15 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	0.9	13.9	14.8	59.6	25.6	85.2	100.0

性別	男性	1.3	17.5	18.8	59.6	21.5	81.1	100.0
	女性	0.5	10.2	10.7	59.6	29.7	89.3	100.0
年齢別	65 歳未満	0.9	10.9	11.8	60.1	28.0	88.1	100.0
	65 歳以上	0.8	21.9	22.7	57.9	19.4	77.3	100.0

圏域別	仙台	0.5	14.7	15.2	55.9	28.9	84.8	100.0
	仙南	1.3	11.6	12.9	58.7	28.4	87.1	100.0
	大崎	0.9	20.3	21.2	55.9	22.9	78.8	100.0
	栗原	1.2	16.1	17.3	57.9	24.8	82.7	100.0
	登米	0.5	15.6	16.1	61.5	22.4	83.9	100.0
	石巻	1.1	7.3	8.4	61.6	29.9	91.5	100.0
	気山沼・本吉	0.9	9.5	10.4	65.9	23.7	89.6	100.0

有効回答者数 1,571 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 20.4%、低認知度群は 79.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(50.0%)では 29.6 ポイント、栗原圏域(42.9%)では 22.5 ポイント高い。

仙南圏域(14.3%)では、回答者全体と比較して 6.1 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 47.7%、低認知度群は 52.3%である。

(%)

政策 15 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	1.8	18.6	20.4	64.1	15.6	79.7	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	18.1	19.8	62.9	17.2	80.1	100.0
	仙南	1.8	12.5	14.3	64.3	21.4	85.7	100.0
	大崎	2.6	15.6	18.2	64.9	16.9	81.8	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0
	石巻	4.3	13.0	17.3	60.9	21.7	82.6	100.0
	気山沼・本吉	0.0	21.1	21.1	73.7	5.3	79.0	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	7.7	40.0	47.7	50.8	1.5	52.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策 15 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 50.5%、低関心度群は 49.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（58.6%）が女性（42.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（61.3%）が 65 歳未満（46.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（58.9%）では、回答者全体と比較して 8.4 ポイント高い。

石巻圏域（37.4%）では、回答者全体と比較して 13.1 ポイント低い。

(%)

政策 15 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	10.7	39.8	50.5	39.2	10.4	49.6	100.0

性別	男性	13.6	45.0	58.6	32.4	9.0	41.4	100.0
	女性	7.7	34.9	42.6	45.7	11.7	57.4	100.0
年齢別	65 歳未満	8.1	38.3	46.4	42.5	11.1	53.6	100.0
	65 歳以上	17.5	43.8	61.3	30.3	8.4	38.7	100.0

圏域別	仙台	9.8	42.8	52.6	40.0	7.4	47.4	100.0
	仙南	12.2	36.7	48.9	39.7	11.4	51.1	100.0
	大崎	11.2	34.9	46.1	45.3	8.6	53.9	100.0
	栗原	13.1	45.8	58.9	31.9	9.2	41.1	100.0
	登米	10.3	42.5	52.8	37.4	9.8	47.2	100.0
	石巻	5.0	32.4	37.4	45.3	17.3	62.6	100.0
	気山沼・本吉	10.5	40.2	50.7	38.9	10.5	49.4	100.0

有効回答者数 1,610 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 48.4%、低関心度群は 51.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(83.4%)では 35.0 ポイント、栗原圏域(71.4%)
では 23.0 ポイント高い。

仙台圏域(41.9%)では、回答者全体と比較して 6.5 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 81.8%、低関心度群は 18.2%である。

(%)

政策 15 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心が なかつた			
市町村職員全体	5.1	43.3	48.4	46.6	5.1	51.7	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	37.6	41.9	53.0	5.1	58.1	100.0
	仙南	5.4	46.4	51.8	44.6	3.6	48.2	100.0
	大崎	3.9	42.9	46.8	45.5	7.8	53.3	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	8.7	39.1	47.8	43.5	8.7	52.2	100.0
	気山沼・本吉	2.6	50.0	52.6	44.7	2.6	47.3	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	30.3	51.5	81.8	16.7	1.5	18.2	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 15 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 65.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 32.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 57.5 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 17.5 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.1%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	55.0	40.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	25.5	(74.5)
満足度 60点未満の割合		64.4
要検討領域にある回答者全体の割合		38.9

有効回答者数；重視度 1,579人、満足度 1,559人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	1579	1559
	欠損値	142	162
平均値		66.11	48.68
平均値の標準誤差		.456	.438
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.121	17.290
分散		328.383	298.927
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	65.0	50.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	75.0	60.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	23.1	(76.9)
満足度 60点未満の割合		55.7
要検討領域にある回答者全体の割合		32.6

有効回答者数；重視度 334人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	334	332
	欠損値	4	6
平均値		65.04	52.32
平均値の標準誤差		.848	.782
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		15.492	14.255
分散		240.013	203.215
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	57.5	17.5
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	83.8	65.0	18.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

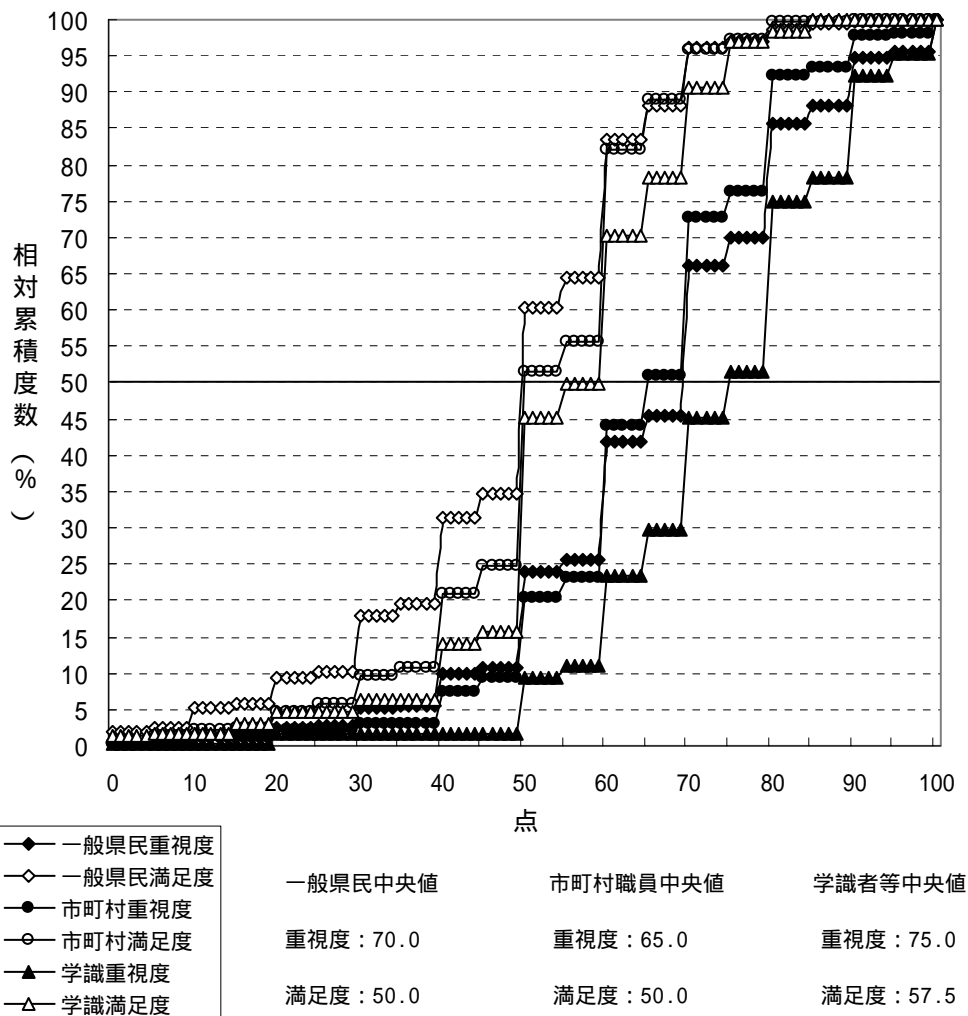
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.9	(89.1)
満足度 60点未満の割合		50.0
要検討領域にある回答者全体の割合		39.1

有効回答者数；重視度 64人、満足度 64人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	64	64
	欠損値	5	5
平均値		73.98	55.63
平均値の標準誤差		1.877	1.821
中央値		75.00	57.50
最頻値		80	50
標準偏差		15.018	14.571
分散		225.539	212.302
範囲		80	80
最小値		20	5
最大値		100	85
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	57.50
	60	80.00	60.00
	75	83.75	65.00

「政策15 高度な産業技術の普及推進」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性（15.0 点）が女性（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 40.9%、女性 37.3%と推定できる。

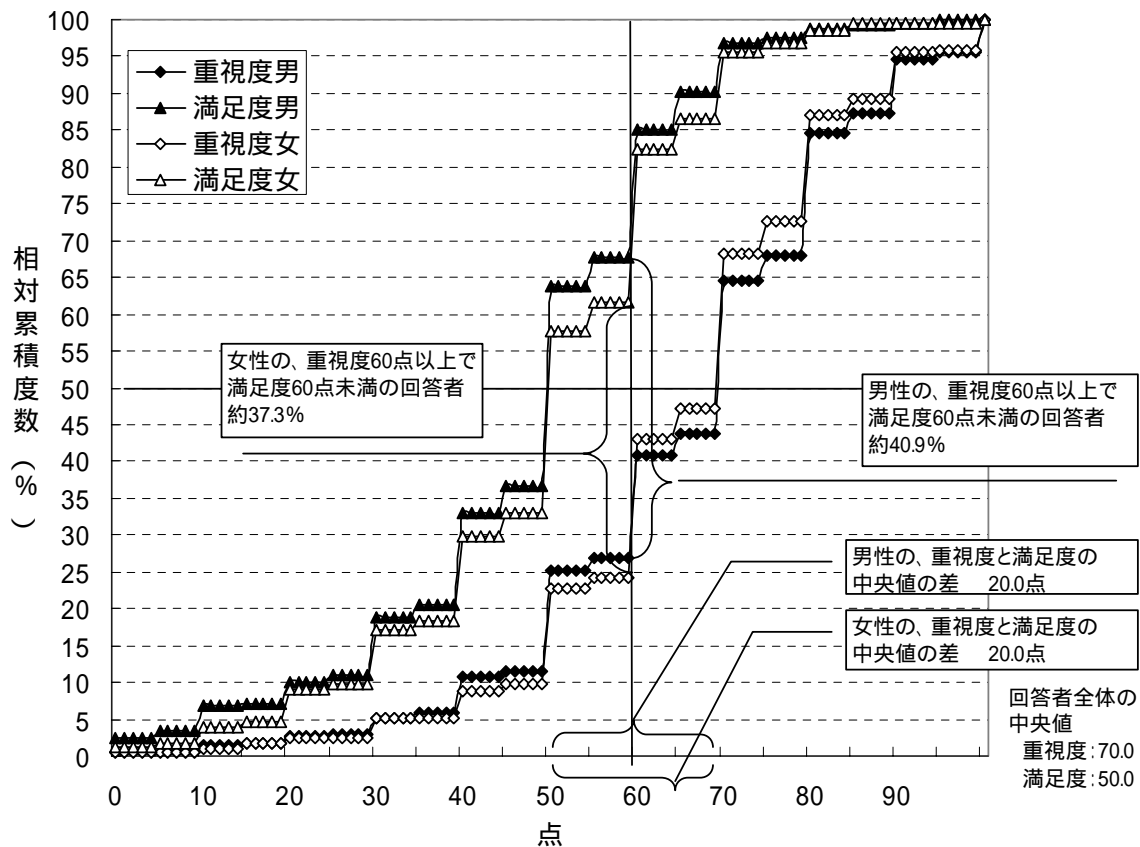
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	15.0	10.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	15.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.8 (73.2)	24.2 (75.8)
満足度 60 点未満の割合	67.7	61.5
要検討領域にある回答者全体の割合	40.9	37.3

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	760	752
	欠損値	43	51
平均値		66.29	47.59
平均値の標準誤差		.675	.638
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.604	17.496
分散		346.095	306.118
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	802	792
	欠損値	94	104
平均値		65.83	49.69
平均値の標準誤差		.620	.606
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.561	17.043
分散		308.394	290.454
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.4%、65 歳以上 37.7%と推定できる。

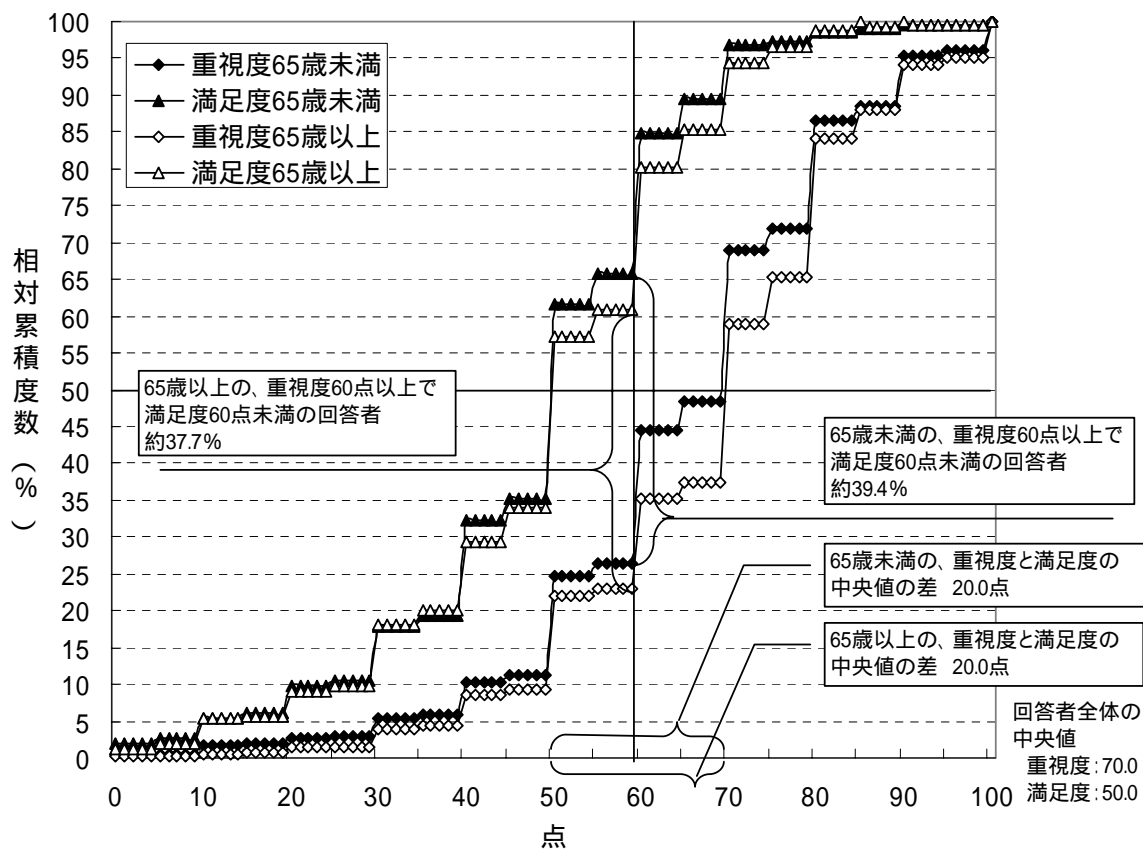
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.4 (73.6)	23.1 (76.9)
満足度 60 点未満の割合	65.8	60.8
要検討領域にある回答者全体の割合	39.4	37.7

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	1161	1147
	欠損値	79	93
平均値		65.27	48.33
平均値の標準誤差		.536	.509
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.259	17.240
分散		333.396	297.232
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	399	395
	欠損値	58	62
平均値		68.28	49.61
平均値の標準誤差		.870	.879
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.375	17.460
分散		301.882	304.858
範囲		100	85
最小値		0	0
最大値		100	85
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、大崎圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域(15.0点)、登米圏域(15.0点)の2圏域が回答者全体(12.5点)よりも大きく、仙台圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(70.0点)、大崎圏域(70.0点)、栗原圏域(70.0点)、登米圏域(70.0点)、気仙沼・本吉圏域(70.0点)の5圏域が回答者全体(65.0点)よりも高く、石巻圏域(60.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント、大崎圏域(55.0点)が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、大崎圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、仙台圏域(9.4点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.3点)、仙南圏域(5.0点)、石巻圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(11.3点)、仙南圏域(10.0点)、仙台圏域(7.5点)、栗原圏域(7.5点)、登米圏域(6.9点)、気仙沼・本吉圏域(6.3点)、大崎圏域(5.6点)の7圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	60.0	50.0	55.0	60.0	50.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	15.0	20.0	10.0	15.0	20.0	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	10.0	15.0	12.5	10.0	15.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	65.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	60.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	10.0	10.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	56.3	60.0	60.0	60.0	66.3	60.0	50.0
	満足度	50.0	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0
	かい離	10.0	11.3	20.0	10.0	10.0	16.3	22.5	0.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	75.0	75.0	70.0	80.0	80.0	78.8	70.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	61.3	65.0	63.8	60.0	62.5
	かい離	15.0	15.0	10.0	18.8	15.0	15.0	10.0	17.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	7.5	9.4	5.0	10.0	10.0	6.3	5.0	15.0
	満足度	5.0	7.5	10.0	5.6	7.5	6.9	11.3	6.3

4. 政策 15 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」(32.9%) である。

第 2 位は施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」(20.1%) である。

第 3 位は施策 2 「普及を推進する施設の整備」(14.5%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」(25.5%) である。

第 2 位は施策 6 「産学官連携による技術の普及」(24.2%) である。

第 3 位は施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」(23.3%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 6 「産学官連携による技術の普及」(36.9%) である。

第 2 位は施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」(23.1%) である。

第 3 位は施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」(16.9%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、65 歳以上では施策 2 「普及を推進する施設の整備」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 2 「普及を推進する施設の整備」、65 歳以上では施策 6 「産学官連携による技術の普及」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」である。

第 2 位は、仙台、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、仙南圏域では施策 2 「普及を推進する施設の整備」である。

第 3 位は、大崎、栗原、登米、石巻の 4 圏域では施策 2 「普及を推進する施設の整備」、仙台圏域では施策 6 「産学官連携による技術の普及」、仙南圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「早く確実な技術移転」である。

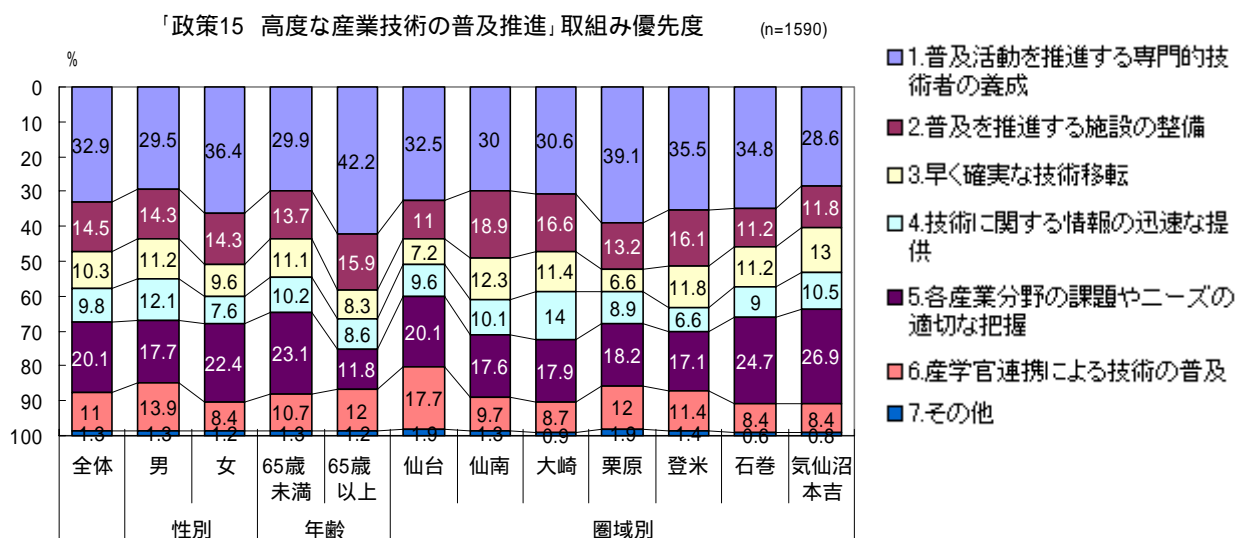
市町村職員では、

第 1 位は、仙南、大崎、登米、石巻の 4 圏域では施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 6 「産学官連携による技術の普及」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、登米圏域では施策 3 「早く確実な技術移転」である（登米圏域では施策 1 と施策 3 が、石巻圏域では施策 1 と施策 5 が共に第 1 位になっている）。

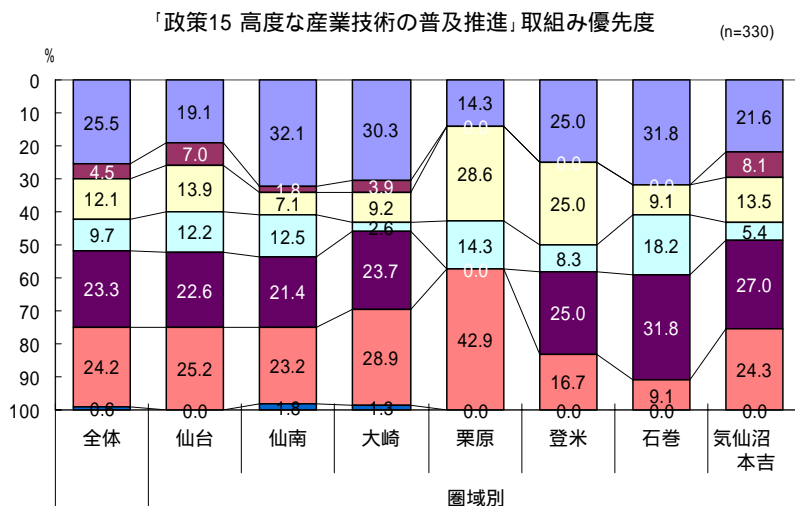
第 2 位は、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「産学官連携による技術の普及」、仙台圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、栗原圏域では施策 3 「早く確実な技術移転」である。

第 3 位は、仙南、大崎、登米の 3 圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、仙台、栗原、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 4 「技術に関する情報の迅速な提供」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

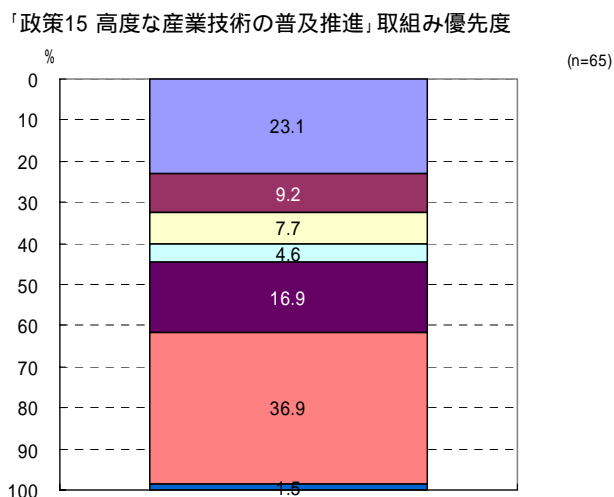
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 15 「高度な産業技術の普及推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.普及活動を推進する専門的技術者の養成	32.9	29.5	36.4	29.9	42.2	32.5	30.0	30.6	39.1	35.5	34.8	28.6
2	2.普及を推進する施設の整備	14.5	14.3	14.3	13.7	15.9	11.0	18.9	16.6	13.2	16.1	11.2	11.8
3	3.早く確実な技術移転	10.3	11.2	9.6	11.1	8.3	7.2	12.3	11.4	6.6	11.8	11.2	13.0
4	4.技術に関する情報の迅速な提供	9.8	12.1	7.6	10.2	8.6	9.6	10.1	14.0	8.9	6.6	9.0	10.5
5	5.各産業分野の課題やニーズの適切な把握	20.1	17.7	22.4	23.1	11.8	20.1	17.6	17.9	18.2	17.1	24.7	26.9
6	6.産学官連携による技術の普及	11.0	13.9	8.4	10.7	12.0	17.7	9.7	8.7	12.0	11.4	8.4	8.4
7	7.その他	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.9	1.3	0.9	1.9	1.4	0.6	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.普及活動を推進する専門的技術者の養成	25.5	19.1	32.1	30.3	14.3	25.0	31.8	21.6
2	2.普及を推進する施設の整備	4.5	7.0	1.8	3.9	0.0	0.0	0.0	8.1
3	3.早く確実な技術移転	12.1	13.9	7.1	9.2	28.6	25.0	9.1	13.5
4	4.技術に関する情報の迅速な提供	9.7	12.2	12.5	2.6	14.3	8.3	18.2	5.4
5	5.各産業分野の課題やニーズの適切な把握	23.3	22.6	21.4	23.7	0.0	25.0	31.8	27.0
6	6.産学官連携による技術の普及	24.2	25.2	23.2	28.9	42.9	16.7	9.1	24.3
7	7.その他	0.6	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.普及活動を推進する専門的技術者の養成	23.1
2	2.普及を推進する施設の整備	9.2
3	3.早く確実な技術移転	7.7
4	4.技術に関する情報の迅速な提供	4.6
5	5.各産業分野の課題やニーズの適切な把握	16.9
6	6.産学官連携による技術の普及	36.9
7	7.その他	1.5

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」は、農林水産業や商業などの産業分野を越えた連携、消費者のニーズに対応した新しい地域製品の開発、観光資源の創出、情報発信など地域資源を総合的に生かした地域産業の振興を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 16 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 26.0%、低認知度群は 74.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（29.1%）が女性（23.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（33.6%）が 65 歳未満（23.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

仙南圏域（19.2%）では、回答者全体と比較して 6.8 ポイント低い。

(%)

政策 16 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった		
一般県民全体	1.6	24.4	26.0	56.3	17.7	74.0	100.0

性別	男性	2.1	27.0	29.1	55.7	15.1	70.8	100.0
	女性	1.0	22.0	23.0	56.8	20.2	77.0	100.0
年齢別	65 歳未満	1.4	22.0	23.4	57.9	18.8	76.7	100.0
	65 歳以上	2.0	31.6	33.6	51.7	14.8	66.5	100.0

圏域別	仙台	1.0	24.5	25.5	53.8	20.7	74.5	100.0
	仙南	1.3	17.9	19.2	64.6	16.1	80.7	100.0
	大崎	2.6	27.8	30.4	54.8	14.8	69.6	100.0
	栗原	2.0	27.2	29.2	51.6	19.3	70.9	100.0
	登米	0.9	26.3	27.2	53.5	19.2	72.7	100.0
	石巻	1.6	20.9	22.5	59.3	18.1	77.4	100.0
	気山沼・本吉	1.3	26.1	27.4	56.4	16.2	72.6	100.0

有効回答者数 1,582 名

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 36.3%、低認知度群は 63.6%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較すると、登米圏域(75.0%)では 38.7 ポイント、栗原圏域(42.9%)
では 6.6 ポイント、大崎圏域(41.3%)では 5.0 ポイント高い。

仙台圏域(29.9%)では、回答者全体と比較すると 6.4 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 54.6%、低認知度群は 45.4%である。

(%)

政策 16 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.9	32.4	36.3	53.6	10.0	63.6	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	29.9	56.4	13.7	70.1	100.0	
	仙南	3.6	28.6	32.2	53.6	14.3	67.9	100.0
	大崎	4.0	37.3	41.3	52.0	6.7	58.7	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	8.3	66.7	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	8.7	30.4	39.1	47.8	13.0	60.8	100.0
	気山沼・本吉	0.0	37.1	37.1	60.0	2.9	62.9	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	7.6	47.0	54.6	40.9	4.5	45.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 16 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 60.9%、低関心度群は 39.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.6%）が女性（55.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（67.1%）が 65 歳未満（58.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

気仙沼・本吉圏域（66.7%）では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（51.7%）では 9.2 ポイント、仙南圏域（55.5%）
では 5.4 ポイント低い。

(%)

政策 16 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	13.6	47.3	60.9	32.5	6.6	39.1	100.0

性別	男性	16.6	50.0	66.6	28.1	5.4	33.5	100.0
	女性	10.7	45.1	55.8	36.5	7.7	44.2	100.0
年齢別	65 歳未満	11.2	47.6	58.8	35.1	6.1	41.2	100.0
	65 歳以上	20.2	46.9	67.1	25.0	7.9	32.9	100.0

圏域別	仙台	12.8	49.3	62.1	30.8	7.1	37.9	100.0
	仙南	12.6	42.9	55.5	38.1	6.5	44.6	100.0
	大崎	14.9	47.7	62.6	34.0	3.4	37.4	100.0
	栗原	17.6	46.7	64.3	29.5	6.1	35.6	100.0
	登米	13.9	48.6	62.5	29.6	7.9	37.5	100.0
	石巻	8.8	42.9	51.7	41.2	7.1	48.3	100.0
	気仙沼・本吉	13.5	53.2	66.7	25.7	7.6	33.3	100.0

有効回答者数 1,614 名

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 68.3%、低関心度群は 31.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（91.7%）では 23.4 ポイント、気仙沼・本吉圏域（75.0%）では 6.7 ポイント、石巻圏域（73.9%）では 5.6 ポイント高い。

仙台圏域（61.2%）では、回答者全体と比較して 7.1 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 86.4%、低関心度群は 13.6%である。

(%)

政策 16 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
市町村職員全体	13.0	55.3	68.3	28.7	3.0	31.7	100.0
圏 域 別	仙台	8.6	61.2	32.8	6.0	38.8	100.0
	仙南	16.1	67.9	32.1	0.0	32.1	100.0
	大崎	14.5	72.4	26.3	1.3	27.6	100.0
	栗原	14.3	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	41.7	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	13.0	73.9	21.7	4.3	26.0	100.0
	気仙沼・本吉	8.3	75.0	22.2	2.8	25.0	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	27.3	59.1	86.4	12.1	1.5	13.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 16 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.3%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 77.5 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 17.5 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 31.8%と推定できる。

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	23.4	(76.6)
満足度 60点未満の割合		62.3
要検討領域にある回答者全体の割合		38.9

有効回答者数；重視度 1,588人、満足度 1,573人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	1588	1573
	欠損値	133	148
平均値		67.77	49.94
平均値の標準誤差		.449	.432
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.876	17.128
分散		319.537	293.365
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.4	(81.6)
満足度 60点未満の割合		51.7
要検討領域にある回答者全体の割合		33.3

有効回答者数；重視度 332人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	332	331
	欠損値	6	7
平均値		68.81	53.28
平均値の標準誤差		.863	.820
中央値		70.00	55.00
最頻値		70 ^a	60
標準偏差		15.721	14.926
分散		247.145	222.783
範囲		90	70
最小値		10	10
最大値		100	80
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	77.5	60.0	17.5
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	81.3	65.0	16.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.6	(89.4)
満足度 60点未満の割合		42.4
要検討領域にある回答者全体の割合		31.8

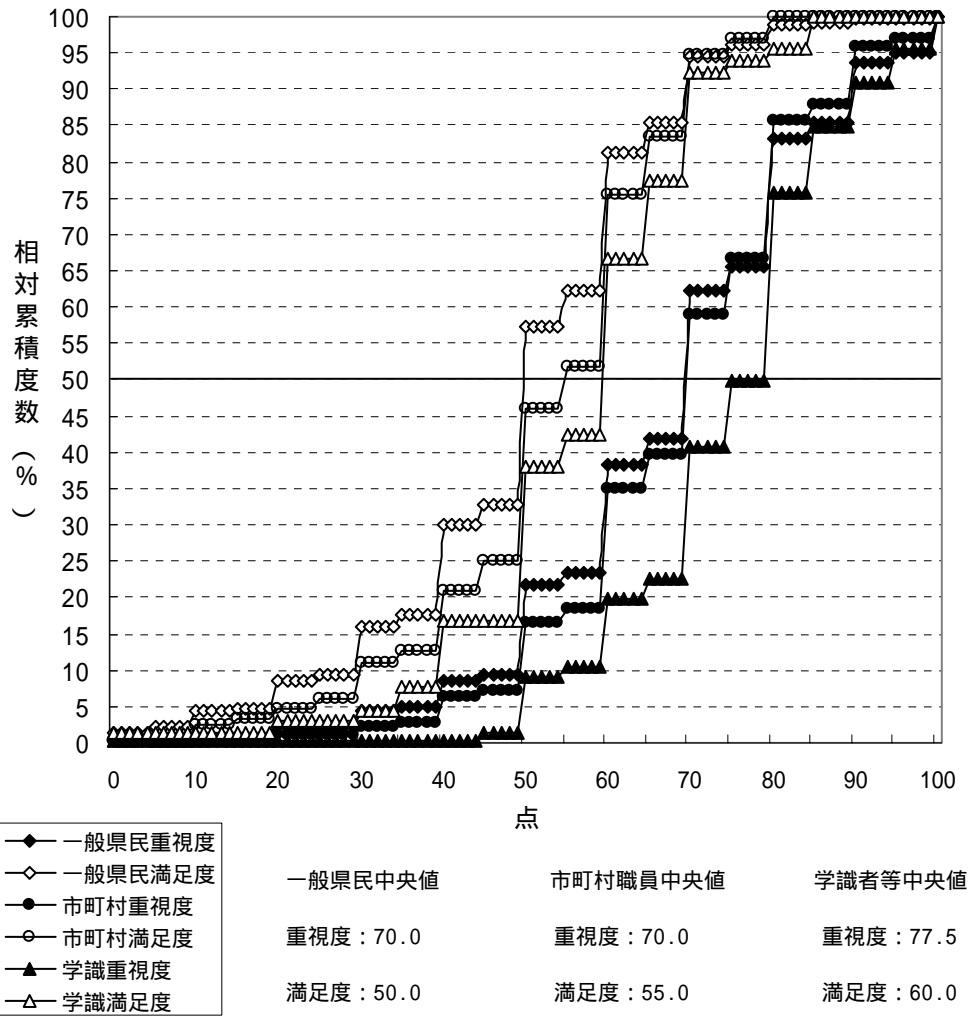
有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		74.92	57.05
平均値の標準誤差		1.621	1.724
中央値		77.50	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.170	14.005
分散		173.456	196.136
範囲		55	70
最小値		45	15
最大値		100	85
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	77.50	60.00
	60	80.00	60.00
	75	81.25	65.00

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

「政策16 産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 41.4%、女性 36.7%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

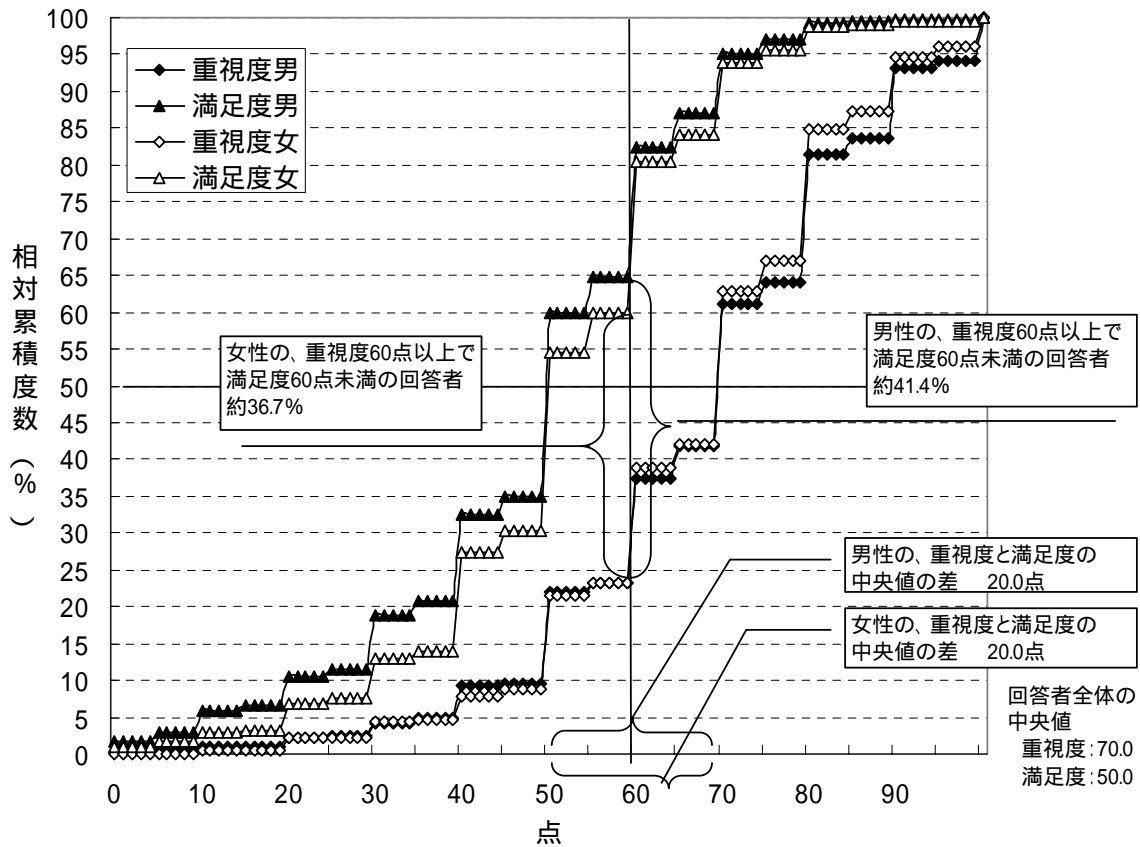
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.3 (76.7)	23.3 (76.7)
満足度 60 点未満の割合	64.7	60.0
要検討領域にある回答者全体の割合	41.4	36.7

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	764	757
	欠損値	39	46
平均値		68.17	48.46
平均値の標準誤差		.664	.647
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.359	17.798
分散		337.061	316.775
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	54.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	807	800
	欠損値	89	96
平均値		67.49	51.34
平均値の標準誤差		.609	.580
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.292	16.395
分散		299.000	268.812
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	58.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 38.1%、65 歳以上 41.5%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

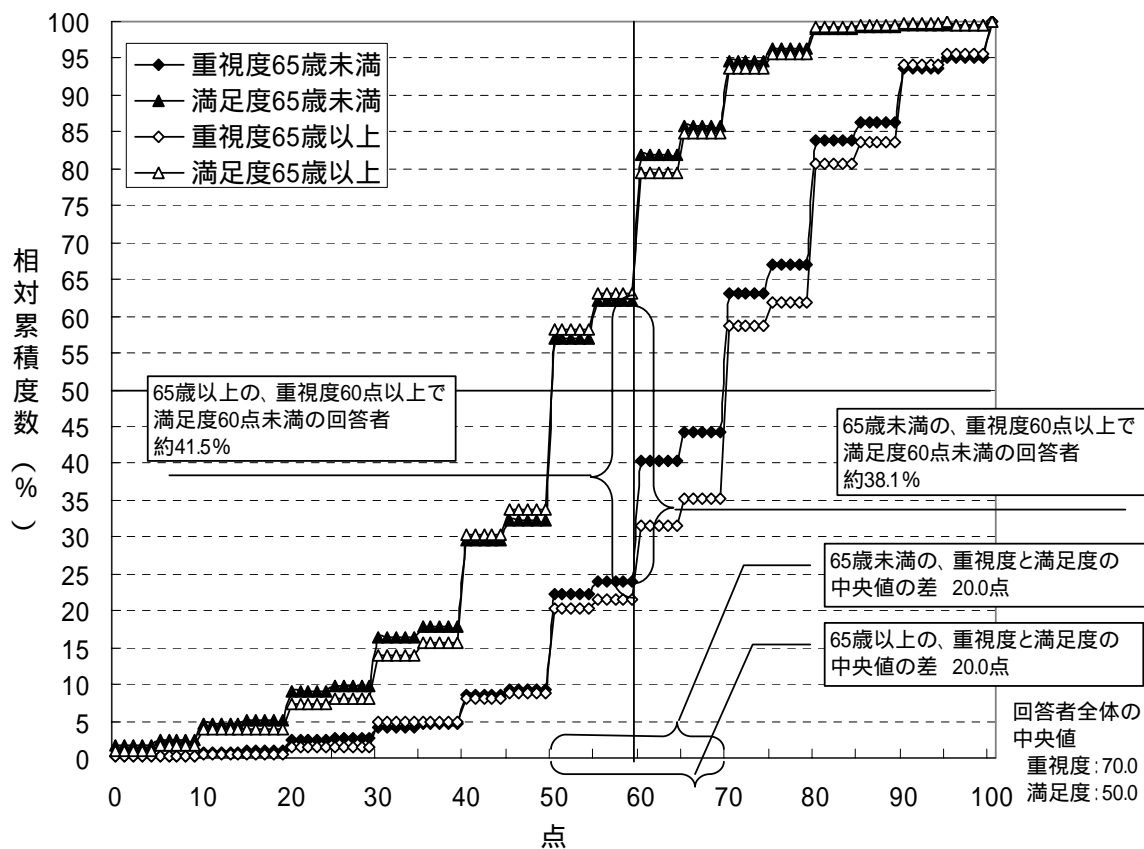
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.9 (76.1)	21.6 (78.4)
満足度 60 点未満の割合	62.0	63.1
要検討領域にある回答者全体の割合	38.1	41.5

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	1170	1159
	欠損値	70	81
平均値		67.31	49.82
平均値の標準誤差		.523	.509
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.899	17.331
分散		320.377	300.356
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	399	396
	欠損値	58	61
平均値		69.31	50.33
平均値の標準誤差		.878	.835
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.539	16.620
分散		307.627	276.221
範囲		90	95
最小値		10	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)、登米圏域(11.9点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも高く、石巻圏域(50.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域(7.5点)、登米圏域(2.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、仙台圏域(8.8点)、石巻圏域(8.1点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.9点)が小さい。

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	56.3	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	16.3	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	11.9	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0
	満足度	55.0	55.0	52.5	60.0	60.0	60.0	50.0	57.5
	かい離	15.0	15.0	17.5	10.0	10.0	20.0	20.0	12.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	80.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	40.0	50.0	50.0	55.0	43.8	50.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	10.0	25.0	16.3	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	80.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	62.5	60.0	65.0	70.0	68.8	60.0	65.0
	かい離	20.0	17.5	15.0	15.0	10.0	16.3	20.0	15.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0	2.5	10.0	10.0
	満足度	7.5	8.8	10.0	7.5	10.0	6.9	8.1	7.5

4. 政策 16 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」(18.6%)である。

第 2 位は施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」(17.2%)である。

第 3 位は施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」(16.3%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」(25.1%)である。

第 2 位は施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」(18.8%)である。

第 3 位は施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」(14.6%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」(27.3%)である。

第 2 位は施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」(22.7%)である。

第 3 位は施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」(13.6%)である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、女性では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」である。

第 2 位は、男性では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」と施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、女性では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」である(男性では施策 2 と施策 3 が共に第 2 位になっている)。

第 3 位は、女性では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、65 歳以上では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」である。

第 2 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」、65 歳以上では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、仙南圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、栗原圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」、登米圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」である。

第 2 位は、仙台、栗原、石巻の 3 圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、大崎、登米の 2 圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」、仙南圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」である。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原の 3 圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」、登米、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、栗原圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」である（栗原圏域では施策 1 と施策 7 が共に第 3 位になっている）。

市町村職員では、

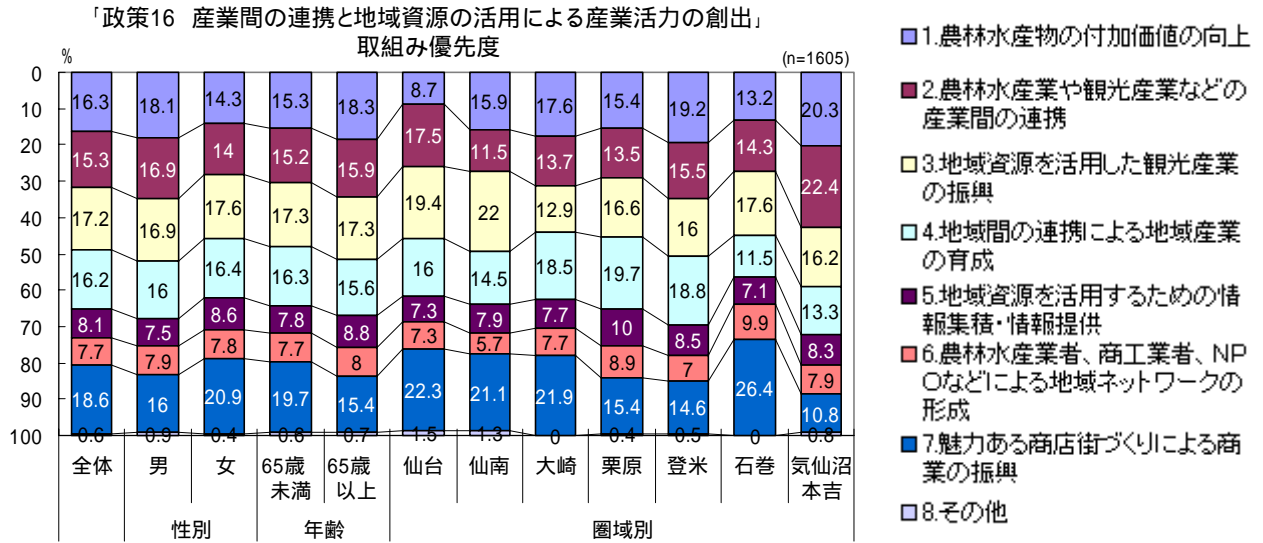
第 1 位は、仙台、仙南、栗原、石巻の 4 圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」、大崎、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、栗原圏域では施策 6 「農林水産業者、商工業者、NPO などによる地域ネットワークの形成」、登米圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」である（栗原圏域では施策 2 と施策 6 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、登米、石巻の 3 圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、大崎、登米、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」、仙南圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」である（登米圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 2 位になっている）。

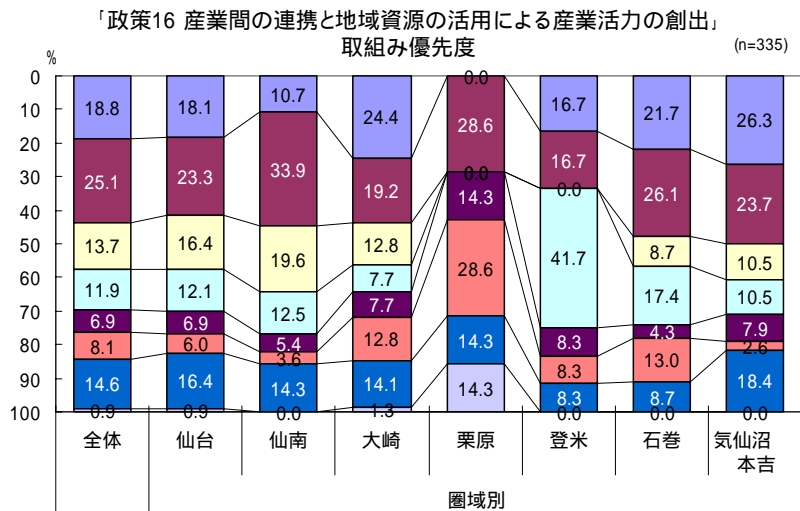
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、仙台圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、栗原圏域では施策 5 「地域資源を活用するための情報集積・情報提供」と施策 8 「その他」、石巻圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」である（仙台圏域では施策 3 と施策 7、栗原圏域では施策 5 と施策 7 と施策 8 が共に第 3 位になっている）。

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

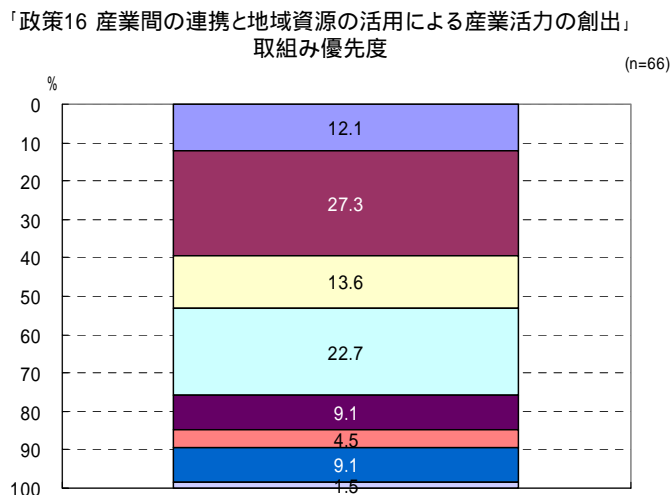
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農林水産物の付加価値の向上	16.3	18.1	14.3	15.3	18.3	8.7	15.9	17.6	15.4	19.2	13.2	20.3
2	2.農林水産業や観光産業などの産業間の連携	15.3	16.9	14.0	15.2	15.9	17.5	11.5	13.7	13.5	15.5	14.3	22.4
3	3.地域資源を活用した観光産業の振興	17.2	16.9	17.6	17.3	17.3	19.4	22.0	12.9	16.6	16.0	17.6	16.2
4	4.地域間の連携による地域産業の育成	16.2	16.0	16.4	16.3	15.6	16.0	14.5	18.5	19.7	18.8	11.5	13.3
5	5.地域資源を活用するための情報集積・情報提供	8.1	7.5	8.6	7.8	8.8	7.3	7.9	7.7	10.0	8.5	7.1	8.3
6	6.農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成	7.7	7.9	7.8	7.7	8.0	7.3	5.7	7.7	8.9	7.0	9.9	7.9
7	7.魅力ある商店街づくりによる商業の振興	18.6	16.0	20.9	19.7	15.4	22.3	21.1	21.9	15.4	14.6	26.4	10.8
8	8.その他	0.6	0.9	0.4	0.6	0.7	1.5	1.3	0.0	0.4	0.5	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農林水産物の付加価値の向上	18.8	18.1	10.7	24.4	0.0	16.7	21.7	26.3
2	2.農林水産業や観光産業などの産業間の連携	25.1	23.3	33.9	19.2	28.6	16.7	26.1	23.7
3	3.地域資源を活用した観光産業の振興	13.7	16.4	19.6	12.8	0.0	0.0	8.7	10.5
4	4.地域間の連携による地域産業の育成	11.9	12.1	12.5	7.7	0.0	41.7	17.4	10.5
5	5.地域資源を活用するための情報集積・情報提供	6.9	6.9	5.4	7.7	14.3	8.3	4.3	7.9
6	6.農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成	8.1	6.0	3.6	12.8	28.6	8.3	13.0	2.6
7	7.魅力ある商店街づくりによる商業の振興	14.6	16.4	14.3	14.1	14.3	8.3	8.7	18.4
8	8.その他	0.9	0.9	0.0	1.3	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.農林水産物の付加価値の向上	12.1
2	2.農林水産業や観光産業などの産業間の連携	27.3
3	3.地域資源を活用した観光産業の振興	13.6
4	4.地域間の連携による地域産業の育成	22.7
5	5.地域資源を活用するための情報集積・情報提供	9.1
6	6.農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成	4.5
7	7.魅力ある商店街づくりによる商業の振興	9.1
8	8.その他	1.5

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による
産業活力の創出」

政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

政策 17「消費者ニーズに即した産業活動の展開」は、多様化する消費者ニーズに対応し、流通現場の目線に立った県産農林水産物の生産と販売力の向上を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 17 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 33.7%、低認知度群は 66.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（36.0%）が女性（31.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（44.2%）が 65 歳未満（29.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（40.5%）が、回答者全体と比較して 6.8 ポイント高い。

石巻圏域（25.0%）が、回答者全体と比較して 8.7 ポイント低い。

(%)

政策 17 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.3	31.4	33.7	52.8	13.6	66.4	100.0

性別	男性	2.5	33.5	36.0	50.0	14.0	64.0	100.0
	女性	2.0	29.4	31.4	55.7	12.9	68.6	100.0
年齢別	65 歳未満	2.0	27.9	29.9	55.9	14.3	70.2	100.0
	65 歳以上	3.2	41.0	44.2	44.9	10.9	55.8	100.0

圏域別	仙台	0.5	30.5	31.0	54.8	14.3	69.1	100.0
	仙南	2.1	30.0	32.1	53.2	14.6	67.8	100.0
	大崎	3.1	37.4	40.5	46.7	12.8	59.5	100.0
	栗原	3.8	31.0	34.8	54.8	10.3	65.1	100.0
	登米	1.4	37.1	38.5	47.9	13.6	61.5	100.0
	石巻	2.7	22.3	25.0	62.5	12.5	75.0	100.0
	気山沼・本吉	1.7	31.2	32.9	51.9	15.2	67.1	100.0

有効回答者数 1,607 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 40.0%、低認知度群は 59.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(72.7%)が 32.7 ポイント、栗原圏域(57.1%)が 17.1 ポイント、石巻圏域(52.2%)が 12.2 ポイント、気仙沼・本吉圏域(50.0%)が 10 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域(32.1%)が 7.9 ポイント、仙台圏域(33.4%)が 6.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 52.3%、低認知度群は 47.8%である。

(%)

政策 17 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.3	36.7	40.0	52.1	7.8	59.9	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	30.8	33.4	57.3	9.4	66.7	100.0
	仙南	7.1	25.0	32.1	55.4	12.5	67.9	100.0
	大崎	3.9	37.7	41.6	51.9	6.5	58.4	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	9.1	63.6	72.7	27.3	0.0	27.3	100.0
	石巻	0.0	52.2	52.2	34.8	13.0	47.8	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	4.5	47.8	52.3	43.3	4.5	47.8	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 17 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 72.6%、低関心度群は 27.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（73.0%）が女性（72.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（78.2%）が 65 歳未満（70.6%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（78.1%）では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント高い。

石巻圏域（64.0%）では、回答者全体と比較して 8.6 ポイント低い。

(%)

政策 17 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	18.6	54.0	72.6	22.9	4.5	27.4	100.0

性別	男性	19.3	53.7	73.0	22.6	4.4	27.0	100.0
	女性	17.7	54.7	72.4	23.0	4.6	27.6	100.0
年齢別	65 歳未満	15.2	55.4	70.6	25.3	4.0	29.3	100.0
	65 歳以上	27.4	50.8	78.2	15.8	5.9	21.7	100.0

圏域別	仙台	14.3	59.5	73.8	24.3	1.9	26.2	100.0
	仙南	18.6	53.0	71.6	24.2	4.2	28.4	100.0
	大崎	21.6	53.4	75.0	20.7	4.3	25.0	100.0
	栗原	23.0	55.1	78.1	17.7	4.2	21.9	100.0
	登米	21.1	49.5	70.6	24.3	5.0	29.3	100.0
	石巻	11.8	52.2	64.0	32.3	3.8	36.1	100.0
	気山沼・本吉	17.2	56.9	74.1	18.4	7.5	25.9	100.0

有効回答者数 1,630 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 71.7%、低関心度群は 28.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（81.9%）では 10.2 ポイント、気仙沼・本吉圏域（80.6%）では 8.9 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 82.1%、低関心度群は 17.9%である。

(%)

政策 17 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	13.9	57.8	71.7	25.0	3.3	28.3	100.0	
圏 域 別	仙台	12.8	54.7	67.5	28.2	4.3	32.5	100.0
	仙南	12.5	60.7	73.2	23.2	3.6	26.8	100.0
	大崎	14.3	58.4	72.7	26.0	1.3	27.3	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	45.5	36.4	81.9	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	8.7	65.2	73.9	13.0	13.0	26.0	100.0
	気仙沼・本吉	16.7	63.9	80.6	19.4	0.0	19.4	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	22.4	59.7	82.1	17.9	0.0	17.9	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策 17 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.4%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 29.9%と推定できる。

政策 17「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.1	(81.9)
満足度 60点未満の割合		56.9
要検討領域にある回答者全体の割合		38.8

有効回答者数；重視度 1,615人、満足度 1,598人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	1615	1598
	欠損値	106	123
平均値		70.89	52.14
平均値の標準誤差		.428	.420
中央値		70.00	50.00
最頻値		70 ^a	50
標準偏差		17.185	16.779
分散		295.332	281.549
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.9	(85.1)
満足度 60点未満の割合		48.3
要検討領域にある回答者全体の割合		33.4

有効回答者数；重視度 335人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	335	333
	欠損値	3	5
平均値		69.85	54.70
平均値の標準誤差		.892	.836
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		16.328	15.251
分散		266.594	232.590
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	60.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.9	(85.1)
満足度 60点未満の割合		44.8
要検討領域にある回答者全体の割合		29.9

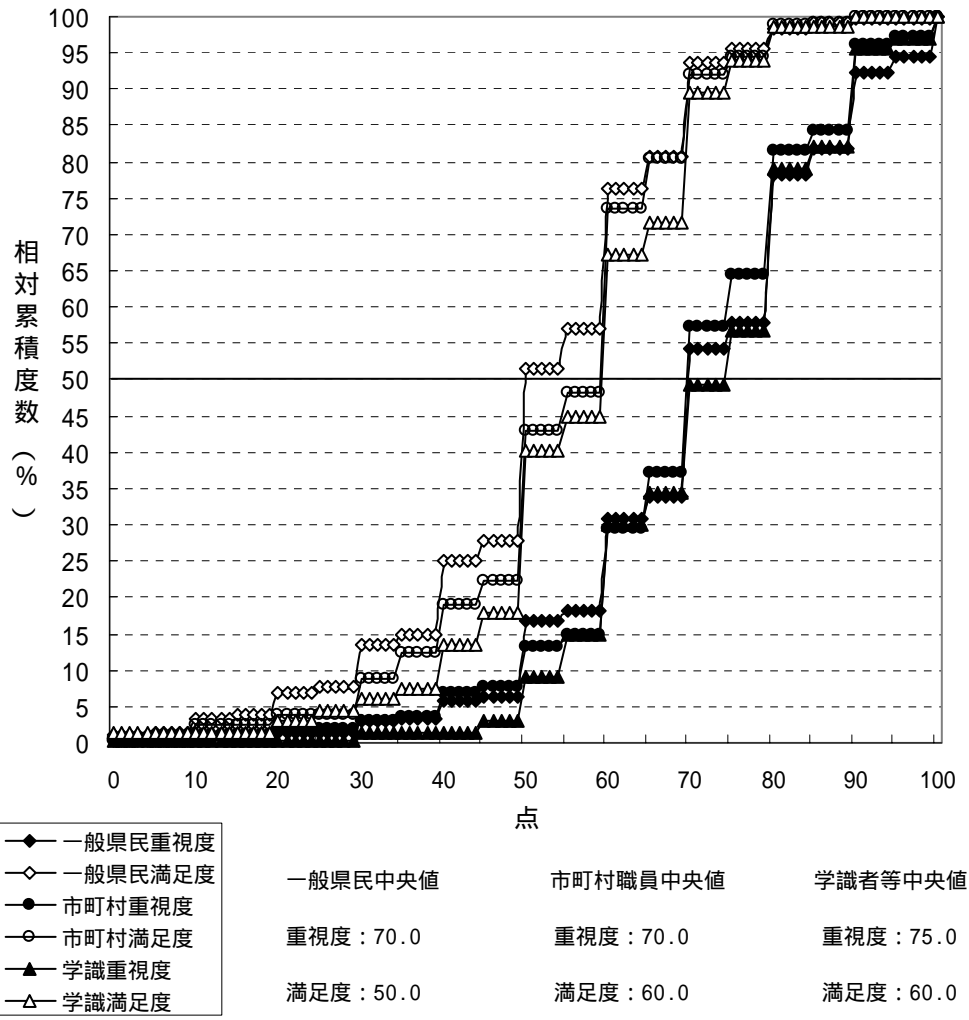
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		72.24	57.09
平均値の標準誤差		1.751	1.761
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	50 ^a
標準偏差		14.336	14.411
分散		205.518	207.689
範囲		70	75
最小値		30	15
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	51.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 39.5%、女性 38.0%と推定できる。

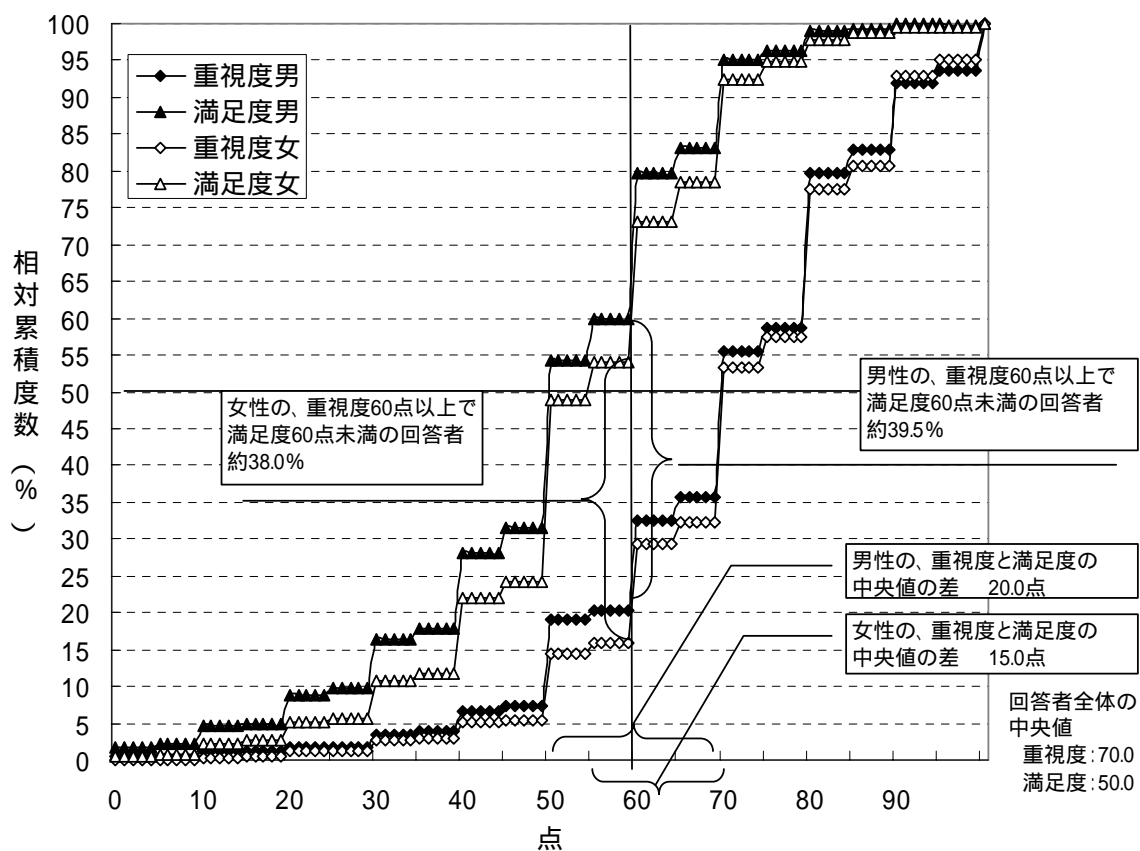
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	20.4 (79.6)	16.0 (84.)
満足度 60 点未満の割合	59.9	54.0
要検討領域にある回答者全体の割合	39.5	38.0

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	765	759
	欠損値	38	44
平均値		70.10	50.37
平均値の標準誤差		.645	.630
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.840	17.343
分散		318.282	300.787
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	832	821
	欠損値	64	75
平均値		71.55	53.85
平均値の標準誤差		.571	.561
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.464	16.062
分散		271.059	257.972
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（15.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.2%、65 歳以上 37.4%と推定できる。

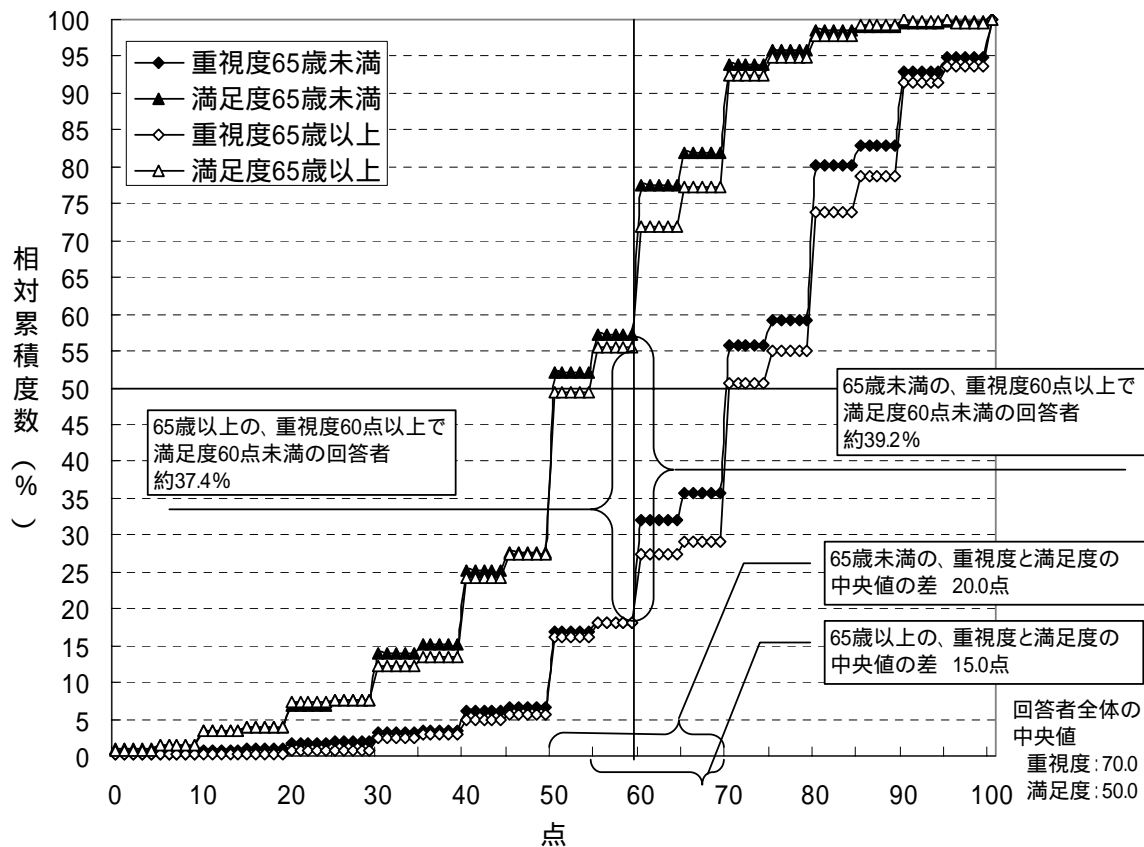
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	18.1 (81.9)	18.1 (81.9)
満足度 60 点未満の割合	57.3	55.5
要検討領域にある回答者全体の割合	39.2	37.4

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

度数	有効 欠損値	政策17重視度		政策17満足度	
		重視度	満足度	重視度	満足度
平均値		70.30	51.91		
平均値の標準誤差		.501	.487		
中央値		70.00	50.00		
最頻値		80	50		
標準偏差		17.248	16.700		
分散		297.503	278.884		
範囲		100	100		
最小値		0	0		
最大値		100	100		
パーセンタイル					
	25	60.00	40.00		
	40	70.00	50.00		
	50	70.00	50.00		
	60	80.00	60.00		
	75	80.00	60.00		

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

度数	有効 欠損値	政策17重視度		政策17満足度	
		重視度	満足度	重視度	満足度
平均値		72.41	52.99		
平均値の標準誤差		.828	.851		
中央値		70.00	55.00		
最頻値		70	50		
標準偏差		16.745	17.014		
分散		280.399	289.486		
範囲		90	90		
最小値		10	0		
最大値		100	90		
パーセンタイル					
	25	60.00	45.00		
	40	70.00	50.00		
	50	70.00	55.00		
	60	80.00	60.00		
	75	85.00	65.00		

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(75.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント、石巻圏域(55.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(8.8点)、登米圏域(5.0点)、石巻圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、石巻圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント、仙南圏域(55.0点)、栗原圏域(55.0点)、気仙沼・本吉圏域(55.0点)の3圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、気仙沼・本吉圏域(15.0点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.8点)、登米圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、大崎圏域(10.0点)の3圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、気仙沼・本吉圏域(5.0点)が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	75.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	25.0	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	45.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	62.5	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	22.5	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	12.5	8.8	5.0	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	55.0	60.0	50.0	55.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	10.0	15.0	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	62.5	60.0	70.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	55.0	35.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	12.5	10.0	15.0	25.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	75.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	15.0	15.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	8.8	15.0	7.5	10.0	15.0
	満足度	7.5	7.5	7.5	10.0	12.5	7.5	12.5	5.0

4. 政策 17 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」(30.6%) である。

第 2 位は施策 7 「県産品の流通・販売の促進」(25.2%) である。

第 3 位は施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」(17.4%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 7 「県産品の流通・販売の促進」(27.8%) である。

第 2 位は施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」(26.0%) である。

第 3 位は施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」(12.8%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 7 「県産品の流通・販売の促進」(33.8%) である。

第 2 位は施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」(30.9%) である。

第 3 位は施策 4 「県産水産物のブランド化と品質の向上」(10.3%) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」、女性では施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

第 2 位は、男性では施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、女性では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」である。

第 3 位は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」、65 歳以上では施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、65 歳以上では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」である。

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、大崎、石巻の4圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、栗原、登米、気仙沼・本吉の3圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」である。

第2位は、仙台、仙南、石巻の3圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、大崎、登米の2圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、栗原、気仙沼・本吉の2圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

第3位は、仙台、仙南、栗原の3圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、石巻、気仙沼・本吉の2圏域では施策4「県産水産物のブランド化と品質の向上」、大崎圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、登米圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

市町村職員では、

第1位は、仙台、大崎、栗原、石巻の4圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、仙南、登米の2圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策4「県産水産物のブランド化と品質の向上」である。

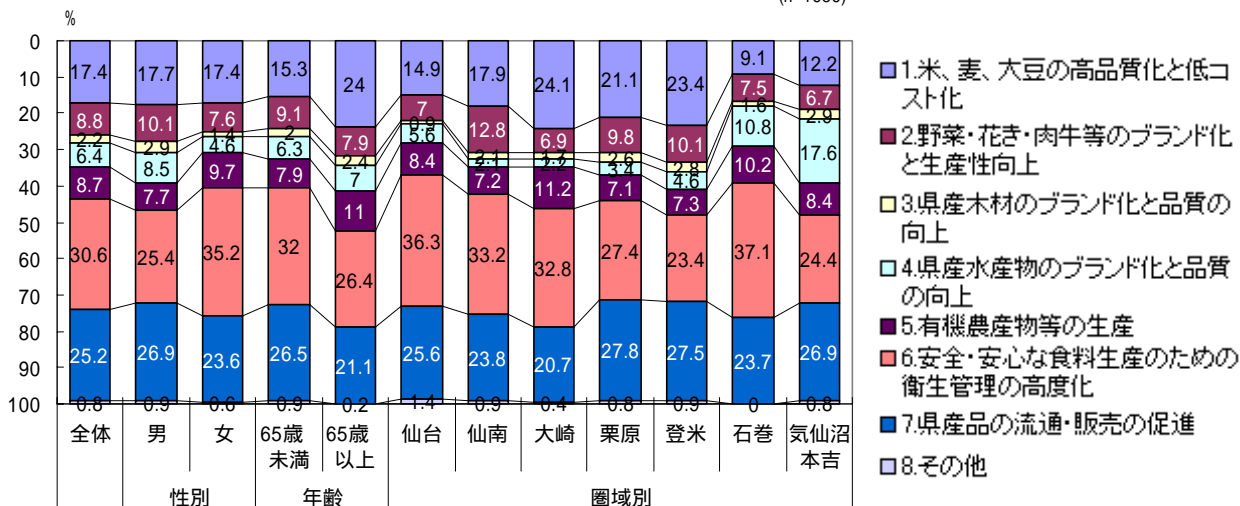
第2位は、仙台、大崎、気仙沼・本吉の3圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、仙南、登米、石巻の3圏域では施策2「野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上」、栗原圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、登米圏域では施策5「有機農産物等の生産」と施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、石巻圏域では施策4「県産水産物のブランド化と品質の向上」である（登米圏域では施策2と施策5と施策6が、石巻圏域では施策2と施策4が共に第2位になっている）。

第3位は、仙台、大崎の2圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、栗原、気仙沼・本吉の2圏域では施策2「野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上」、仙南圏域では施策5「有機農産物等の生産」と施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、栗原圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」である（仙南圏域では施策5と施策6が、栗原圏域では施策2と施策7が共に第3位になっている）。

政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

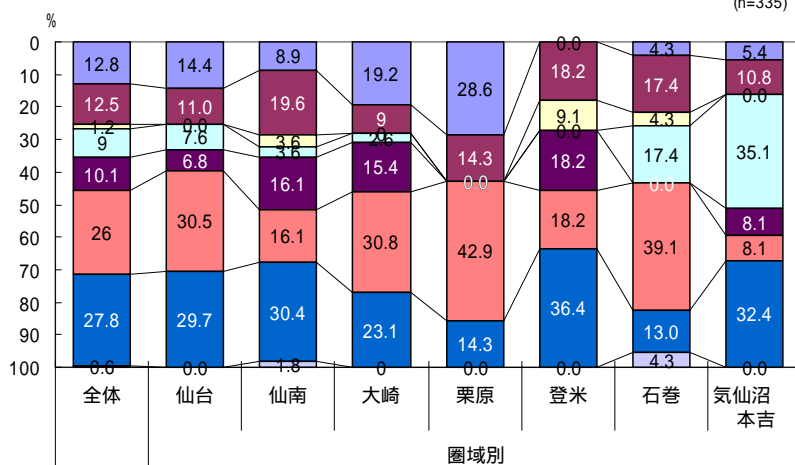
【一般県民】

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」取組み優先度 (n=1636)



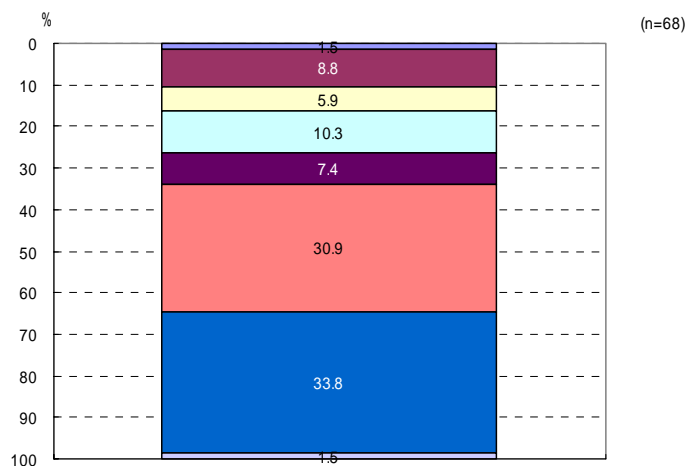
【市町村職員】

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」取組み優先度 (n=335)



【学識者等】

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」取組み優先度 (n=68)



政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	17.4	17.7	17.4	15.3	24.0	14.9	17.9	24.1	21.1	23.4	9.1	12.2
2	2.野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	8.8	10.1	7.6	9.1	7.9	7.0	12.8	6.9	9.8	10.1	7.5	6.7
3	3.県産木材のブランド化と品質の向上	2.2	2.9	1.4	2.0	2.4	0.9	2.1	1.7	2.6	2.8	1.6	2.9
4	4.県産水産物のブランド化と品質の向上	6.4	8.5	4.6	6.3	7.0	5.6	2.1	2.2	3.4	4.6	10.8	17.6
5	5.有機農産物等の生産	8.7	7.7	9.7	7.9	11.0	8.4	7.2	11.2	7.1	7.3	10.2	8.4
6	6.安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	30.6	25.4	35.2	32.0	26.4	36.3	33.2	32.8	27.4	23.4	37.1	24.4
7	7.県産品の流通・販売の促進	25.2	26.9	23.6	26.5	21.1	25.6	23.8	20.7	27.8	27.5	23.7	26.9
8	8.その他	0.8	0.9	0.6	0.9	0.2	1.4	0.9	0.4	0.8	0.9	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	12.8	14.4	8.9	19.2	28.6	0.0	4.3	5.4
2	2.野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	12.5	11.0	19.6	9.0	14.3	18.2	17.4	10.8
3	3.県産木材のブランド化と品質の向上	1.2	0.0	3.6	0.0	0.0	9.1	4.3	0.0
4	4.県産水産物のブランド化と品質の向上	9.0	7.6	3.6	2.6	0.0	0.0	17.4	35.1
5	5.有機農産物等の生産	10.1	6.8	16.1	15.4	0.0	18.2	0.0	8.1
6	6.安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	26.0	30.5	16.1	30.8	42.9	18.2	39.1	8.1
7	7.県産品の流通・販売の促進	27.8	29.7	30.4	23.1	14.3	36.4	13.0	32.4
8	8.その他	0.6	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	1.5
2	2.野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	8.8
3	3.県産木材のブランド化と品質の向上	5.9
4	4.県産水産物のブランド化と品質の向上	10.3
5	5.有機農産物等の生産	7.4
6	6.安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	30.9
7	7.県産品の流通・販売の促進	33.8
8	8.その他	1.5

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」は、産業の生産性の向上と集積による生産力の強化が図られるよう農林水産業や製造業などに必要な道路や港湾、漁港等の生産基盤の整備を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 18 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 33.5%、低認知度群は 66.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（41.8%）が女性（25.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（44.1%）が 65 歳未満（29.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（42.5%）が 9.0 ポイント、栗原圏域（39.6%）

が 6.1 ポイント、大崎圏域（39.2%）が 5.7 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（22.5%）が 11.0 ポイント、仙南圏域（23.3%）

が 10.2 ポイント低い。

(%)

政策 18 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.9	30.6	33.5	51.7	14.7	66.4	100.0

性別	男性	3.7	38.1	41.8	47.7	10.5	58.2	100.0
	女性	2.3	23.3	25.6	55.9	18.5	74.4	100.0
年齢別	65 歳未満	2.2	27.5	29.7	54.2	16.1	70.3	100.0
	65 歳以上	5.3	38.8	44.1	45.5	10.5	56.0	100.0

圏域別	仙台	0.9	21.6	22.5	61.5	16.0	77.5	100.0
	仙南	1.7	21.6	23.3	60.2	16.5	76.7	100.0
	大崎	4.4	34.8	39.2	46.3	14.5	60.8	100.0
	栗原	4.2	35.4	39.6	48.1	12.3	60.4	100.0
	登米	4.8	32.7	37.5	45.2	17.3	62.5	100.0
	石巻	2.7	26.1	28.8	55.4	15.8	71.2	100.0
	気仙沼・本吉	2.1	40.4	42.5	45.5	11.9	57.4	100.0

有効回答者数 1,604 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 49.5%、低認知度群は 50.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（83.3%）では 33.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域（73.0%）では 23.5 ポイント、栗原圏域（71.4%）では 21.9 ポイント、石巻圏域（57.2%）では 7.7 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（41.4%）では 8.1 ポイント、大崎圏域（43.5%）では 6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 64.2%、低認知度群は 35.8%である。

(%)

政策 18 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	4.5	45.0	49.5	42.3	8.2	50.5	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	39.7	41.4	48.3	10.3	58.6	100.0
	仙南	5.5	40.0	45.5	41.8	12.7	54.5	100.0
	大崎	3.8	39.7	43.5	50.0	6.4	56.4	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	8.3	75.0	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	14.3	42.9	57.2	33.3	9.5	42.8	100.0
	気仙沼・本吉	8.1	64.9	73.0	27.0	0.0	27.0	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	7.5	56.7	64.2	31.3	4.5	35.8	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 18 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 63.3%、低関心度群は 36.7%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（72.2%）が女性（54.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.6%）が 65 歳未満（60.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（75.1%）では 11.8 ポイント、栗原圏域（68.5%）では 5.2 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（54.1%）では 9.2 ポイント、仙南圏域（55.8%）では 7.5 ポイント低い。

(%)

政策 18 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	16.4	46.9	63.3	30.5	6.2	36.7	100.0

性別	男性	21.0	51.2	72.2	23.2	4.5	27.7	100.0
	女性	11.9	43.0	54.9	37.4	7.7	45.1	100.0
年齢別	65 歳未満	13.6	46.7	60.3	33.4	6.3	39.7	100.0
	65 歳以上	23.9	47.7	71.6	22.7	5.8	28.5	100.0

圏域別	仙台	13.4	48.8	62.2	33.2	4.6	37.8	100.0
	仙南	14.9	40.9	55.8	36.6	7.7	44.3	100.0
	大崎	18.9	44.6	63.5	32.2	4.3	36.5	100.0
	栗原	17.6	50.9	68.5	26.2	5.2	31.4	100.0
	登米	13.1	47.7	60.8	31.8	7.5	39.3	100.0
	石巻	13.0	41.1	54.1	36.8	9.2	46.0	100.0
	気仙沼・本吉	22.0	53.1	75.1	19.5	5.4	24.9	100.0

有効回答者数 1,635 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 69.0%、低関心度群は 31.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では 31.0 ポイント、石巻圏域(90.5%)
では 21.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域(79.0%)では 10.0 ポイント、登米圏域(75.0%)
では 6.0 ポイント高い。

仙南圏域(63.6%)では、回答者全体と比較して 5.4 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.6%、低関心度群は 16.4%である。

(%)

政策 18 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	15.4	53.6	69.0	27.7	3.3	31.0	100.0	
圏 域 別	仙台	12.0	53.0	65.0	30.8	4.3	35.1	100.0
	仙南	12.7	50.9	63.6	32.7	3.6	36.3	100.0
	大崎	11.7	54.5	66.2	29.9	3.9	33.8	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	25.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	38.1	52.4	90.5	4.8	4.8	9.6	100.0
	気仙沼・本吉	23.7	55.3	79.0	21.1	0.0	21.1	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	34.3	49.3	83.6	13.4	3.0	16.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策 18 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.7%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.7%と推定できる。

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.3	(79.7)
満足度 60点未満の割合		58.3
要検討領域にある回答者全体の割合		38.0

有効回答者数；重視度 1,605人、満足度 1,584人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	1605	1584
	欠損値	116	137
平均値		69.95	51.90
平均値の標準誤差		.441	.431
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.670	17.142
分散		312.217	293.864
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.5	(83.5)
満足度 60点未満の割合		50.2
要検討領域にある回答者全体の割合		33.7

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		70.91	54.83
平均値の標準誤差		.853	.808
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.581	14.743
分散		242.782	217.367
範囲		90	80
最小値		10	10
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

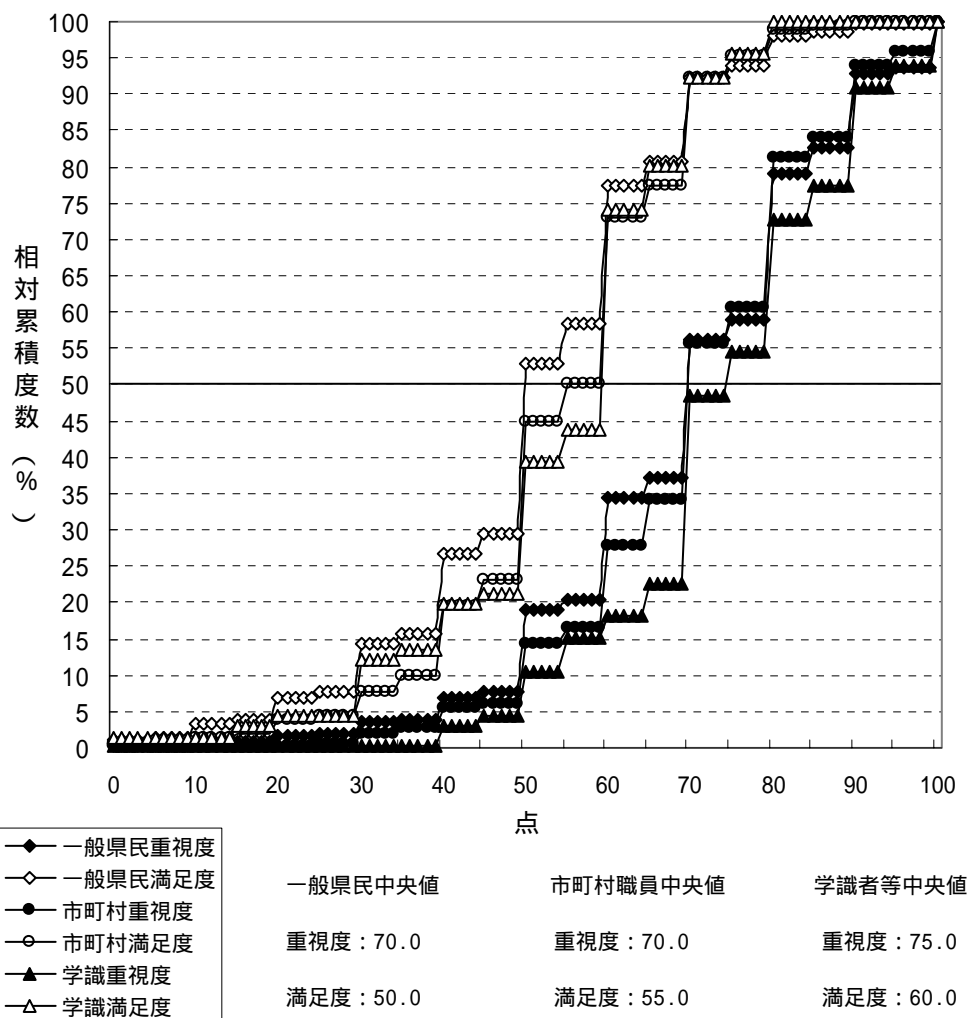
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.2	(84.8)
満足度 60点未満の割合		43.9
要検討領域にある回答者全体の割合		28.7

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		74.39	54.77
平均値の標準誤差		1.815	1.846
中央値		75.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.742	14.998
分散		217.319	224.948
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	54.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

「政策18 産業基盤の整備による生産力の強化」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 41.7%、女性 34.5%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

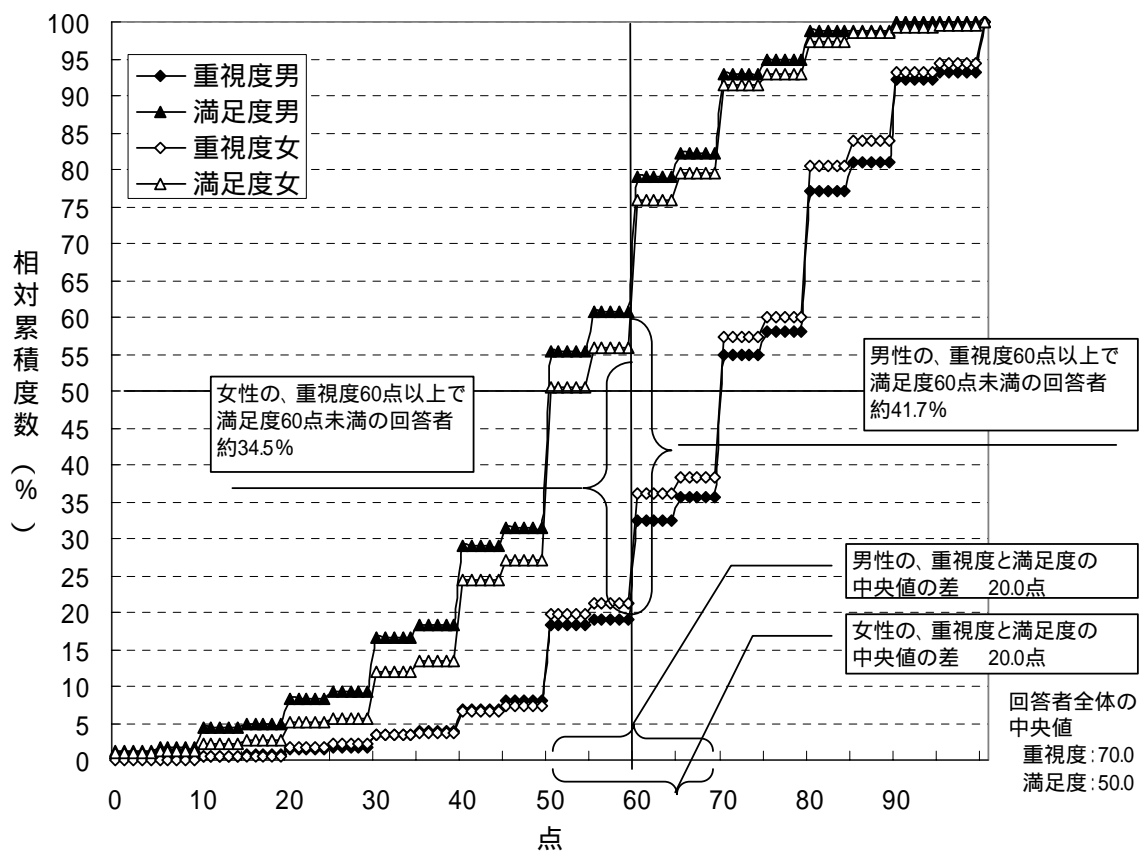
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	19.1 (80.9)	21.3 (78.7)
満足度 60 点未満の割合	60.8	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	41.7	34.5

政策 18「産業基盤の整備による生産力の強化」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	765	756
	欠損値	38	47
平均値		70.55	50.62
平均値の標準誤差		.644	.638
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.813	17.533
分散		317.303	307.403
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	821	810
	欠損値	75	86
平均値		69.46	53.25
平均値の標準誤差		.610	.583
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.481	16.601
分散		305.590	275.591
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（75.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 37.9%、65 歳以上 38.0%と推定できる。

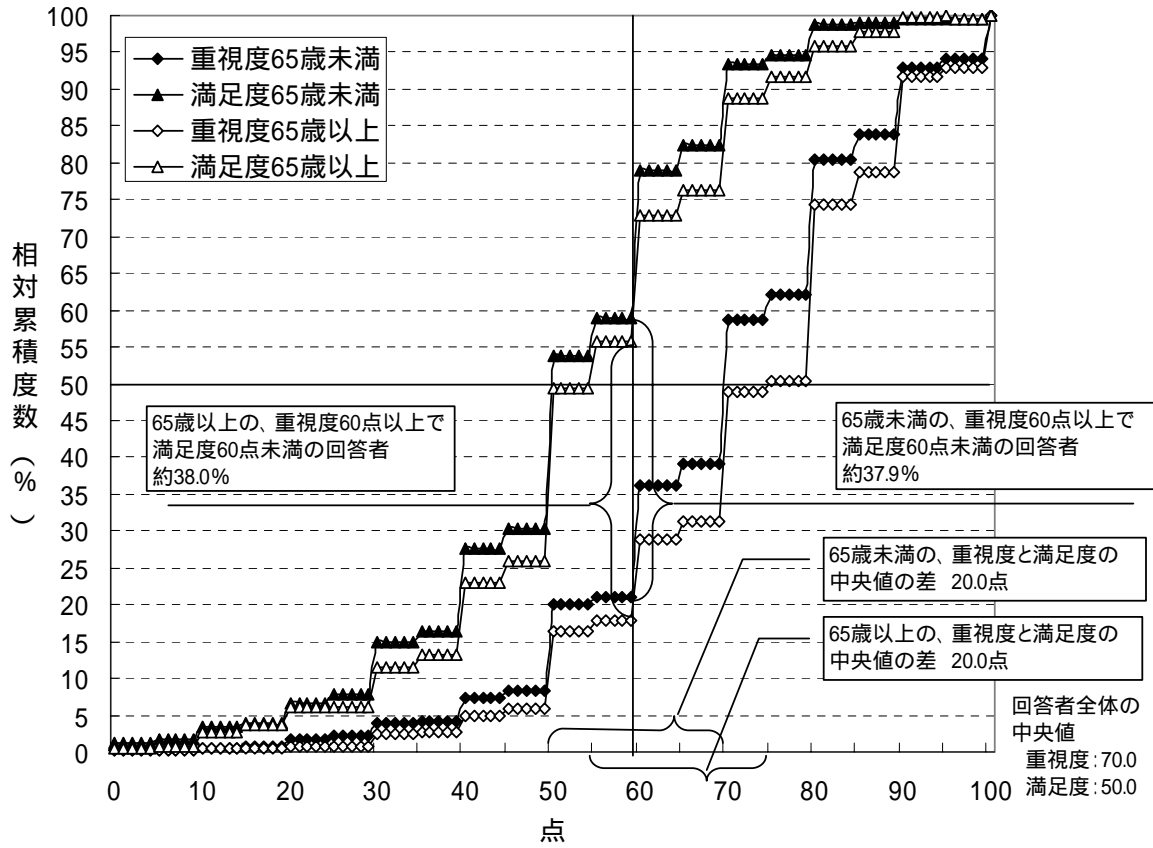
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.1 (78.9)	17.8 (82.2)
満足度 60 点未満の割合	59.0	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	37.9	38.0

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	1184	1173
	欠損値	56	67
平均値		69.10	51.36
平均値の標準誤差		.517	.497
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.792	17.014
分散		316.569	289.468
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	400	391
	欠損値	57	66
平均値		72.54	53.93
平均値の標準誤差		.850	.872
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.995	17.243
分散		288.846	297.305
範囲		90	95
最小値		10	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(15.0点)、栗原圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(6.3点)、石巻圏域(5.0点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(77.5点)が7.5ポイント、石巻圏域(75.0点)が5ポイント高い。

満足度の中央値は、栗原圏域(65.0点)が回答者全体(55.0点)よりも10ポイント、大崎圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が5ポイント高く、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(10.6点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.8点)、登米圏域(6.9点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、登米圏域(12.5点)、大崎圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、仙南圏域(5.0点)、栗原圏域(5.0点)の2圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	65.0	62.5	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	15.0	17.5	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	15.0	12.5	6.3	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	77.5	75.0	80.0
	満足度	55.0	57.5	55.0	60.0	65.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	15.0	12.5	15.0	10.0	5.0	17.5	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	62.5	60.0	70.0	65.0	68.8
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0	43.8	30.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0	12.5	0.0	26.3	35.0	28.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	83.8	90.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	68.8	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	10.0	15.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	8.8	10.0	6.9	12.5	10.6
	満足度	7.5	7.5	5.0	10.0	5.0	12.5	15.0	10.0

4. 政策 18 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」(30.3%)
である。

第 2 位は施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」(21.2%) である。

第 3 位は施策 5 「戦略的な企業誘致」(20.4%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 5 「戦略的な企業誘致」(37.0%) である。

第 2 位は施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」(28.1%)
である。

第 3 位は施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」(16.7%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」(39.4%)
である。

第 2 位は施策 5 「戦略的な企業誘致」(33.3%) である。

第 3 位は施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」(10.6%) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

第 2 位は、男性では施策 5 「戦略的な企業誘致」、女性では施策 1 「ほ場整備等農業に必
要な基盤の整備」である。

第 3 位は、男性では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、女性では施策 5 「戦
略的な企業誘致」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤
の整備」、65 歳以上では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「戦略的な企業誘致」、65 歳以上では施策 6 「物流、情報
通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、65 歳以上では施策 2「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」と施策 5「戦略的な企業誘致」である（65 歳以上では施策 2 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 6「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、大崎圏域では施策 1「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 2「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」である。

第 2 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 5「戦略的な企業誘致」、仙南、栗原、登米の 3 圏域では施策 1「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 6「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」である。

第 3 位は、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5「戦略的な企業誘致」、仙台圏域では施策 1「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、大崎圏域では施策 6「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、石巻圏域では施策 2「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」である。

市町村職員では、

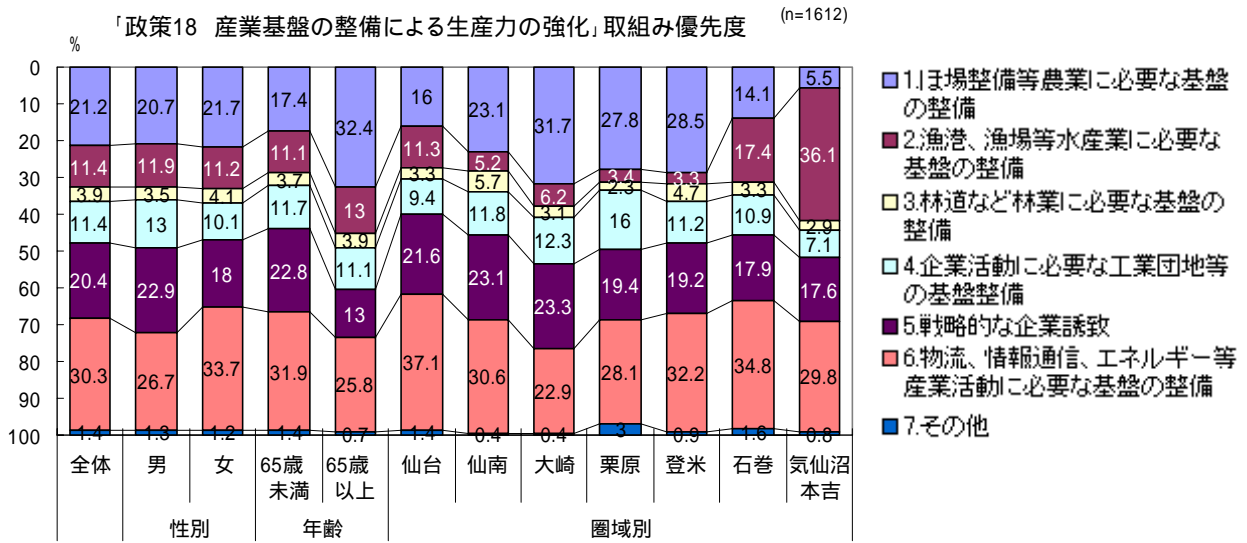
第 1 位は、仙台、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 5「戦略的な企業誘致」、仙南、石巻の 2 圏域では施策 6「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 2「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」である。

第 2 位は、仙台、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 6「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、仙南、石巻の 2 圏域では施策 5「戦略的な企業誘致」、大崎、栗原の 2 圏域では施策 1「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」である（栗原圏域では施策 1 と施策 6 が共に第 2 位になっている）。

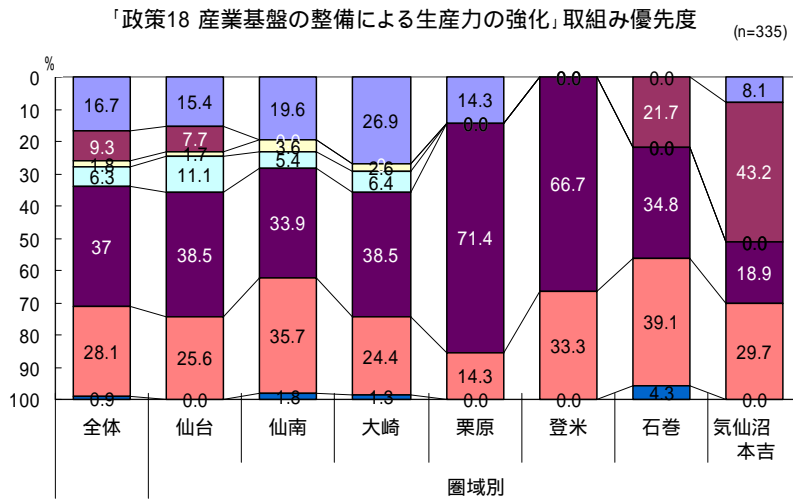
第 3 位は、仙台、仙南、登米の 3 圏域では施策 1「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、大崎圏域では施策 6「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、石巻圏域では施策 2「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 5「戦略的な企業誘致」である。

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

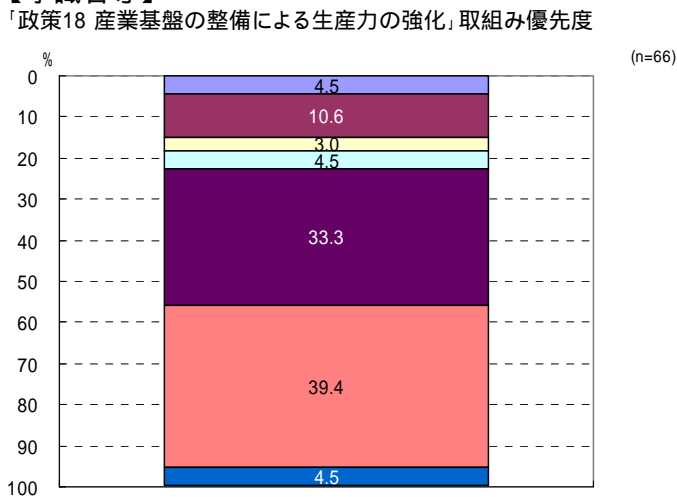
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	21.2	20.7	21.7	17.4	32.4	16.0	23.1	31.7	27.8	28.5	14.1	5.5
2	2.漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	11.4	11.9	11.2	11.1	13.0	11.3	5.2	6.2	3.4	3.3	17.4	36.1
3	3.林道など林業に必要な基盤の整備	3.9	3.5	4.1	3.7	3.9	3.3	5.7	3.1	2.3	4.7	3.3	2.9
4	4.企業活動に必要な工業団地等の基盤整備	11.4	13.0	10.1	11.7	11.1	9.4	11.8	12.3	16.0	11.2	10.9	7.1
5	5.戦略的な企業誘致	20.4	22.9	18.0	22.8	13.0	21.6	23.1	23.3	19.4	19.2	17.9	17.6
6	6.物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備	30.3	26.7	33.7	31.9	25.8	37.1	30.6	22.9	28.1	32.2	34.8	29.8
7	7.その他	1.4	1.3	1.2	1.4	0.7	1.4	0.4	0.4	3.0	0.9	1.6	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	16.7	15.4	19.6	26.9	14.3	0.0	0.0	8.1
2	2.漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	9.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	43.2
3	3.林道など林業に必要な基盤の整備	1.8	1.7	3.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
4	4.企業活動に必要な工業団地等の基盤整備	6.3	11.1	5.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0
5	5.戦略的な企業誘致	37.0	38.5	33.9	38.5	71.4	66.7	34.8	18.9
6	6.物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備	28.1	25.6	35.7	24.4	14.3	33.3	39.1	29.7
7	7.その他	0.9	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	4.5
2	2.漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	10.6
3	3.林道など林業に必要な基盤の整備	3.0
4	4.企業活動に必要な工業団地等の基盤整備	4.5
5	5.戦略的な企業誘致	33.3
6	6.物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備	39.4
7	7.その他	4.5

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」は、農林水産業や製造業などの経営者が、時代のニーズを的確に捉え、戦略的な経営を展開できるよう、経営基盤の整備・強化を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 19 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 25.1%、低認知度群は 74.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（30.3%）が女性（20.1%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（37.5%）が 65 歳未満（20.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（30.3%）が、回答者全体と比較して 5.2 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（17.4%）が 7.7 ポイント、仙台圏域（18.7%）が 6.4 ポイント低い。

(%)

政策 19 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.1	23.0	25.1	55.7	19.2	74.9	100.0

性別	男性	3.0	27.3	30.3	55.4	14.3	69.7	100.0
	女性	1.1	19.0	20.1	56.1	23.8	79.9	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	19.4	20.7	57.8	21.6	79.4	100.0
	65 歳以上	4.3	33.2	37.5	50.1	12.3	62.4	100.0

圏域別	仙台	0.0	18.7	18.7	55.5	25.8	81.3	100.0
	仙南	1.3	20.6	21.9	58.8	19.3	78.1	100.0
	大崎	2.7	26.6	29.3	53.2	17.6	70.8	100.0
	栗原	3.4	26.9	30.3	53.0	16.7	69.7	100.0
	登米	2.8	25.6	28.4	56.4	15.2	71.6	100.0
	石巻	1.1	16.3	17.4	57.6	25.0	82.6	100.0
	気山沼・本吉	2.6	22.7	25.3	57.1	17.6	74.7	100.0

有効回答者数 1,588 名

政策 19「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 36.7%、低認知度群は 63.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（83.3%）では 46.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域（60.5%）では 23.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（27.8%）では 8.9 ポイント、仙南圏域（31.0%）では 5.7 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.8%、低認知度群は 49.3%である。

(%)

政策 19 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.0	33.7	36.7	53.9	9.3	63.2	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	27.8	61.7	10.4	72.1	100.0	
	仙南	5.5	31.0	56.4	12.7	69.1	100.0	
	大崎	2.5	32.9	35.4	55.7	8.9	64.6	100.0
	栗原	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	100.0
	登米	0.0	83.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	4.5	31.8	36.3	40.9	22.7	63.6	100.0
	気仙沼・本吉	2.6	57.9	60.5	39.5	0.0	39.5	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	7.5	43.3	50.8	44.8	4.5	49.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 19 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 59.3%、低関心度群は 40.7%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.7%）が女性（52.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（68.7%）が 65 歳未満（56.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（65.7%）では 6.4 ポイント、栗原圏域（65.2%）では 5.9 ポイント高い。

石巻圏域（51.4%）では、回答者全体と比較して 7.9 ポイント低い。

(%)

政策 19 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	14.9	44.4	59.3	33.5	7.2	40.7	100.0

性別	男性	18.8	47.9	66.7	28.3	5.1	33.4	100.0
	女性	10.9	41.5	52.4	38.5	9.2	47.7	100.0
年齢別	65 歳未満	12.4	43.6	56.0	37.0	7.1	44.1	100.0
	65 歳以上	21.6	47.1	68.7	23.8	7.6	31.4	100.0

圏域別	仙台	8.9	46.9	55.8	35.7	8.5	44.2	100.0
	仙南	13.8	40.9	54.7	38.4	6.9	45.3	100.0
	大崎	17.1	42.5	59.6	33.8	6.6	40.4	100.0
	栗原	21.0	44.2	65.2	28.8	6.0	34.8	100.0
	登米	14.8	45.2	60.0	32.4	7.6	40.0	100.0
	石巻	9.3	42.1	51.4	38.3	10.4	48.7	100.0
	気仙沼・本吉	15.7	50.0	65.7	28.5	5.8	34.3	100.0

有効回答者数 1,616 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 59.3%、低関心度群は 40.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 40.7 ポイント、栗原圏域(85.7%)

では 26.4 ポイント、気仙沼・本吉(71.1%)では 11.8 ポイント高い。

仙台圏域(52.6%)では、回答者全体と比較して 6.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.4%、低関心度群は 16.6%である。

(%)

政策 19 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	11.4	47.9	59.3	37.4	3.3	40.7	100.0	
圏 域 別	仙台	8.6	44.0	52.6	44.8	2.6	47.4	100.0
	仙南	8.9	46.4	55.3	41.1	3.6	44.7	100.0
	大崎	11.4	48.1	59.5	35.4	5.1	40.5	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	18.2	36.4	54.6	36.4	9.1	45.5	100.0
	気仙沼・本吉	15.8	55.3	71.1	28.9	0.0	28.9	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	36.4	47.0	83.4	13.6	3.0	16.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 19 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.0%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.8%と推定できる。

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	21.8	(78.2)
満足度 60点未満の割合		63.1
要検討領域にある回答者全体の割合		41.3

有効回答者数；重視度 1,585人、満足度 1,567人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	1585	1567
	欠損値	136	154
平均値		69.00	49.76
平均値の標準誤差		.447	.428
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.815	16.927
分散		317.386	286.517
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.4	(80.6)
満足度 60点未満の割合		57.4
要検討領域にある回答者全体の割合		38.0

有効回答者数；重視度 335人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	335	331
	欠損値	3	7
平均値		68.37	53.16
平均値の標準誤差		.886	.765
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.217	13.918
分散		262.989	193.715
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.0	(91.)
満足度 60点未満の割合		47.8
要検討領域にある回答者全体の割合		38.8

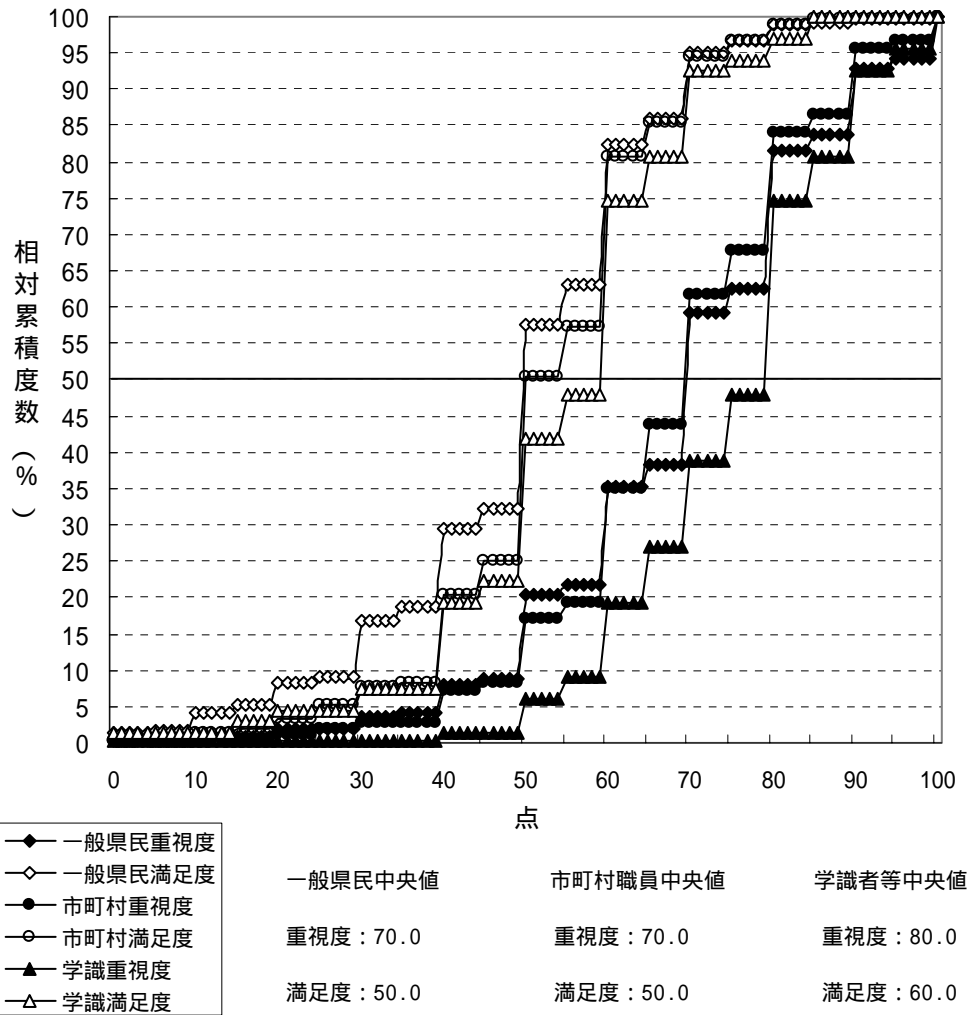
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		75.30	55.07
平均値の標準誤差		1.612	1.812
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.197	14.835
分散		174.152	220.070
範囲		60	75
最小値		40	10
最大値		100	85
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

「政策19 足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 43.2%、女性 39.4%と推定できる。

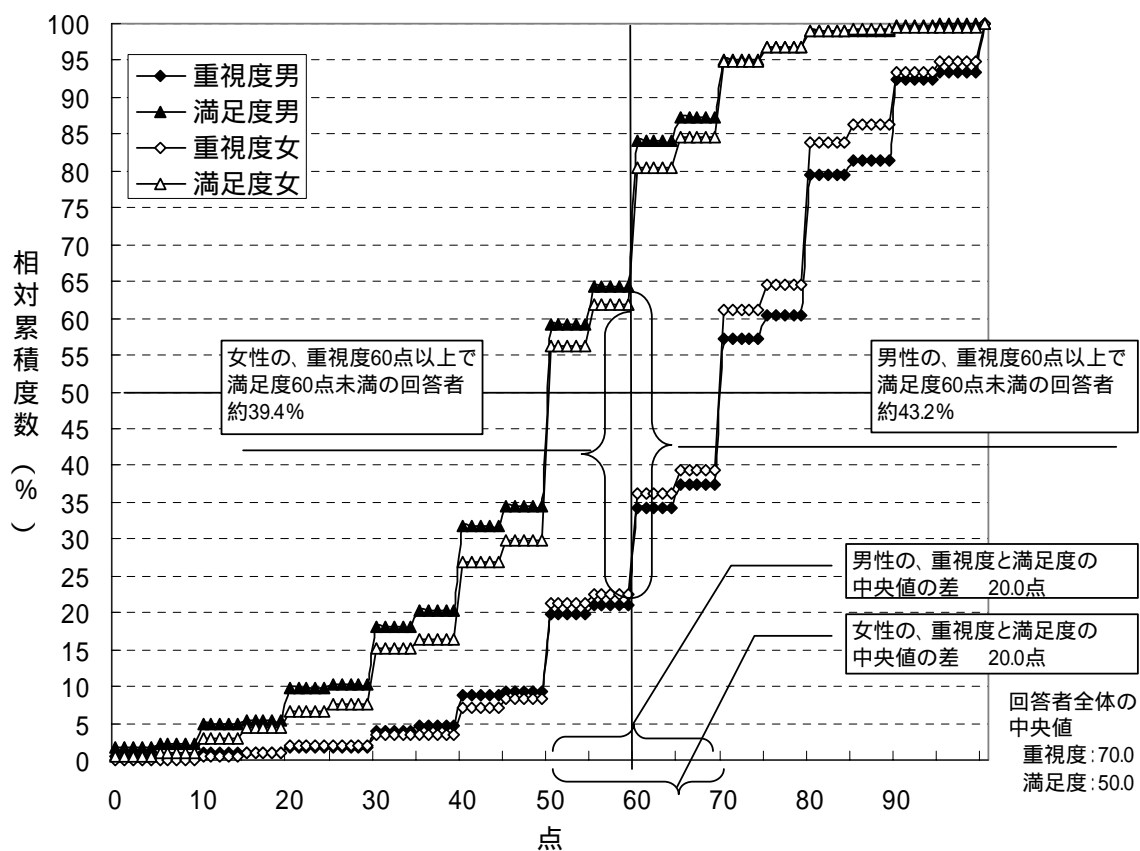
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.1 (78.9)	22.5 (77.5)
満足度 60 点未満の割合	64.3	61.9
要検討領域にある回答者全体の割合	43.2	39.4

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	762	757
	欠損値	41	46
平均値		69.51	48.84
平均値の標準誤差		.665	.629
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.351	17.311
分散		336.755	299.687
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	805	792
	欠損値	91	104
平均値		68.46	50.85
平均値の標準誤差		.608	.578
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.263	16.274
分散		297.997	264.833
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 42.7%、65 歳以上 37.0%と推定できる。

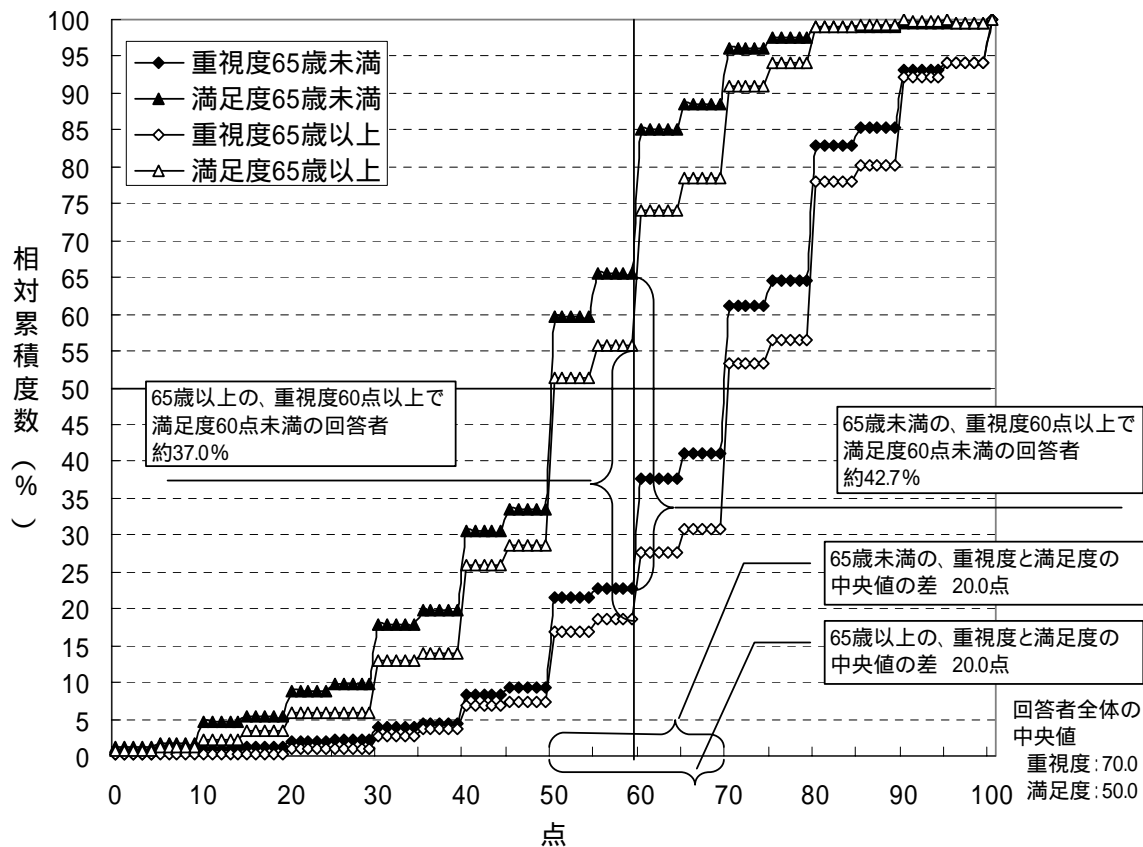
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.8 (77.2)	18.7 (81.3)
満足度 60 点未満の割合	65.5	55.7
要検討領域にある回答者全体の割合	42.7	37.0

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	1174	1159
	欠損値	66	81
平均値		68.13	48.87
平均値の標準誤差		.525	.493
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.987	16.783
分散		323.547	281.654
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	391	388
	欠損値	66	69
平均値		71.47	52.84
平均値の標準誤差		.858	.844
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.960	16.619
分散		287.640	276.179
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (70.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 (50.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、登米圏域 (5.0 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、栗原圏域 (75.0 点) が 5 ポイント高く、仙台圏域 (65.0 点)、仙南圏域 (65.0 点)、石巻圏域 (65.0 点) の 3 圏域が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点)、栗原圏域 (60.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (50.0 点) よりも 10 ポイント、登米圏域 (57.5 点) が 7.5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 (15.0 点)、仙台圏域 (12.5 点)、石巻圏域 (12.5 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、仙南圏域 (7.5 点)、登米圏域 (6.9 点)、栗原圏域 (5.0 点) の 3 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (10.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (8.8 点) の 2 圏域が回答者全体 (7.5 点) よりも大きく、仙南圏域 (6.9 点)、登米圏域 (6.9 点)、大崎圏域 (5.0 点) の 3 圏域が小さい。

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	65.0	70.0	75.0	80.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	60.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	15.0	10.0	15.0	22.5	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	55.0	60.0	60.0	70.0	71.3	55.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	46.3	50.0	50.0	50.0	40.0	42.5
	かい離	15.0	10.0	13.8	10.0	20.0	21.3	15.0	17.5
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	80.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	15.0	20.0	15.0	21.3	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	7.5	10.0	5.0	6.9	12.5	15.0
	満足度	7.5	7.5	6.9	5.0	7.5	6.9	10.0	8.8

4. 政策 19 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」(33.7%) である。

第 2 位は施策 1 「農業における経営基盤の強化」(29.3%) である。

第 3 位は施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」(15.6%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「農業における経営基盤の強化」(31.6%) である。

第 2 位は施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」(31.3%) である。

第 3 位は施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」(12.0%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」(43.3%) である。

第 2 位は施策 1 「農業における経営基盤の強化」(19.4%) である。

第 3 位は施策 5 「国際化への対応」(13.4%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」、65 歳以上では施策 1 「農業における経営基盤の強化」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 1 「農業における経営基盤の強化」、65 歳以上では施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」、65 歳以上では施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」である。

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、石巻、気仙沼・本吉の4圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」、大崎、栗原、登米の3圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」である。

第2位は、仙台、仙南、石巻の3圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」、大崎、栗原、登米の3圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」、気仙沼・本吉圏域では施策3「水産業における経営基盤の強化」である。

第3位は、全圏域とも施策6「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」である。

市町村職員では、

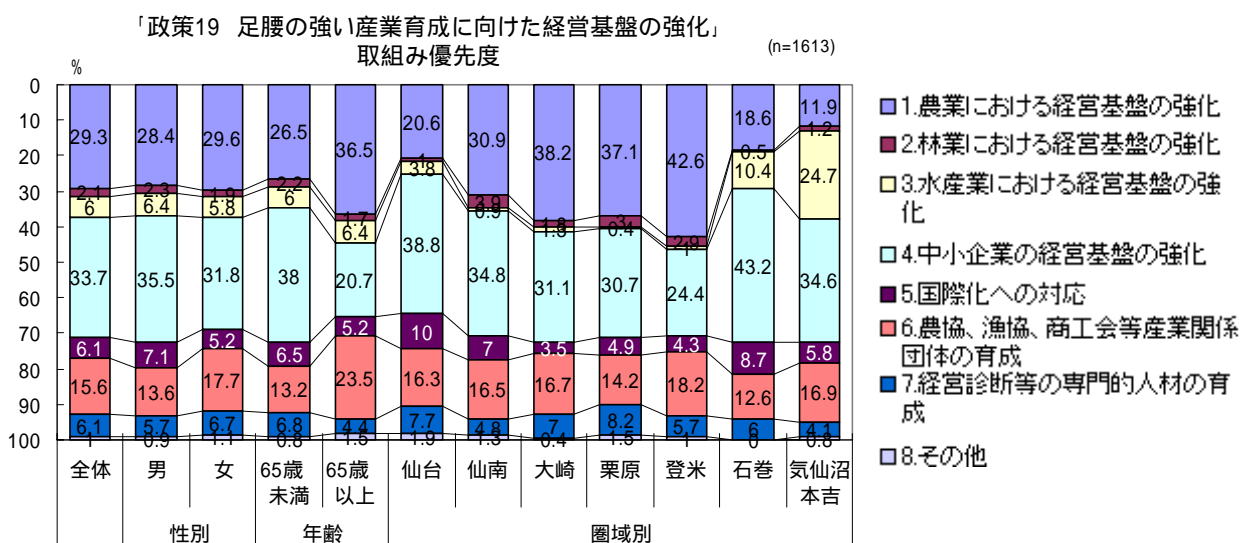
第1位は、仙南、大崎、栗原、登米の4圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」、仙台、石巻、気仙沼・本吉の3圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」である。

第2位は、仙南、大崎、栗原、登米の4圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」、石巻、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「水産業における経営基盤の強化」、仙台圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」、登米圏域では施策7「経営診断等の専門的人材の育成」である（登米圏域では施策4と施策7が共に第2位になっている）。

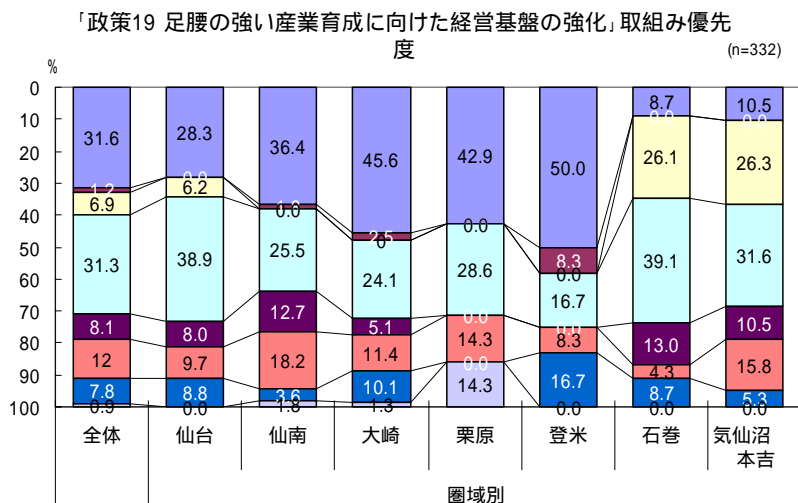
第3位は、仙台、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の5圏域では施策6「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」、石巻圏域では施策5「国際化への対応」である。

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

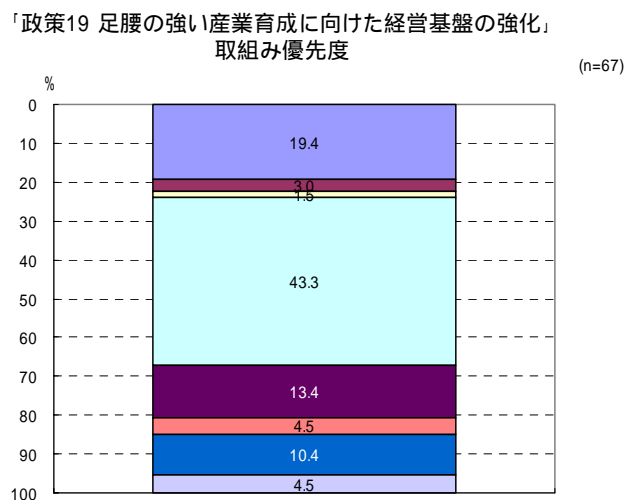
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農業における経営基盤の強化	29.3	28.4	29.6	26.5	36.5	20.6	30.9	38.2	37.1	42.6	18.6	11.9
2	2.林業における経営基盤の強化	2.1	2.3	1.9	2.2	1.7	1.0	3.9	1.8	3.0	2.9	0.5	1.2
3	3.水産業における経営基盤の強化	6.0	6.4	5.8	6.0	6.4	3.8	0.9	1.3	0.4	1.0	10.4	24.7
4	4.中小企業の経営基盤の強化	33.7	35.5	31.8	38.0	20.7	38.8	34.8	31.1	30.7	24.4	43.2	34.6
5	5.国際化への対応	6.1	7.1	5.2	6.5	5.2	10.0	7.0	3.5	4.9	4.3	8.7	5.8
6	6.農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成	15.6	13.6	17.7	13.2	23.5	16.3	16.5	16.7	14.2	18.2	12.6	16.9
7	7.経営診断等の専門的人材の育成	6.1	5.7	6.7	6.8	4.4	7.7	4.8	7.0	8.2	5.7	6.0	4.1
8	8.その他	1.0	0.9	1.1	0.8	1.5	1.9	1.3	0.4	1.5	1.0	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農業における経営基盤の強化	31.6	28.3	36.4	45.6	42.9	50.0	8.7	10.5
2	2.林業における経営基盤の強化	1.2	0.0	1.8	2.5	0.0	8.3	0.0	0.0
3	3.水産業における経営基盤の強化	6.9	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	26.3
4	4.中小企業の経営基盤の強化	31.3	38.9	25.5	24.1	28.6	16.7	39.1	31.6
5	5.国際化への対応	8.1	8.0	12.7	5.1	0.0	0.0	13.0	10.5
6	6.農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成	12.0	9.7	18.2	11.4	14.3	8.3	4.3	15.8
7	7.経営診断等の専門的人材の育成	7.8	8.8	3.6	10.1	0.0	16.7	8.7	5.3
8	8.その他	0.9	0.0	1.8	1.3	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.農業における経営基盤の強化	19.4
2	2.林業における経営基盤の強化	3.0
3	3.水産業における経営基盤の強化	1.5
4	4.中小企業の経営基盤の強化	43.3
5	5.国際化への対応	13.4
6	6.農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成	4.5
7	7.経営診断等の専門的人材の育成	10.4
8	8.その他	4.5

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

政策 20 「産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進」

政策 20 「産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進」は、情報化や技術革新の進展など、産業を取り巻く環境の変化に対応した高度で専門的な技術や技能を身につけることができるよう、職業能力開発のための環境づくりや体制づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 20 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 27.1%、低認知度群は 73.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（30.3%）が女性（23.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（35.0%）が 65 歳未満（23.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（32.3%）では、回答者全体と比較して 5.2 ポイント高い。

(%)

政策 20 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.6	25.5	27.1	56.5	16.5	73.0	100.0

性別	男性	1.5	28.8	30.3	55.1	14.7	69.8	100.0
	女性	1.6	21.8	23.4	58.4	18.2	76.6	100.0
年齢別	65 歳未満	1.5	22.2	23.7	59.0	17.3	76.3	100.0
	65 歳以上	1.5	33.5	35.0	50.6	14.4	65.0	100.0

圏域別	仙台	0.0	26.2	26.2	55.1	18.7	73.8	100.0
	仙南	2.2	22.2	24.4	56.1	19.6	75.7	100.0
	大崎	1.3	28.8	30.1	54.1	15.7	69.8	100.0
	栗原	2.3	30.0	32.3	52.9	14.8	67.7	100.0
	登米	1.9	24.5	26.4	59.7	13.9	73.6	100.0
	石巻	1.1	21.7	22.8	59.2	17.9	77.1	100.0
	気山沼・本吉	1.7	22.3	24.0	60.9	15.1	76.0	100.0

有効回答者数 1,610 名

政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 31.2%、低認知度群は 68.8%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(54.5%)では 23.3 ポイント、石巻圏域(45.4%)
では 14.2 ポイント、栗原圏域(42.9%)では 11.7 ポイント、気仙沼・本吉圏域(42.1%)
では 10.9 ポイント高い。

仙台圏域(23.7%)では、回答者全体と比較して 7.5 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.0%、低認知度群は 40.0%である。

(%)

政策 20 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	1.8	29.4	31.2	59.7	9.1	68.8	100.0	
圏 域 別	仙台	1.8	23.7	64.0	12.3	76.3	100.0	
	仙南	3.6	28.6	57.1	14.3	71.4	100.0	
	大崎	1.3	28.6	29.9	62.3	7.8	70.1	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	54.5	54.5	45.5	0.0	45.5	100.0
	石巻	4.5	40.9	45.4	45.5	9.1	54.6	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	42.1	42.1	57.9	0.0	57.9	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	12.3	47.7	60.0	40.0	0.0	40.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策 20 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 68.6%、低関心度群は 31.5%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（73.4%）が女性（63.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（72.7%）が 65 歳未満（66.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（76.8%）では、回答者全体と比較して 8.2 ポイント高い。

石巻圏域（61.1%）では、回答者全体と比較して 7.5 ポイント低い。

(%)

政策 20 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	17.7	50.9	68.6	26.0	5.5	31.5	100.0

性別	男性	21.0	52.4	73.4	22.5	4.1	26.6	100.0
	女性	14.1	49.6	63.7	29.5	6.8	36.3	100.0
年齢別	65 歳未満	16.0	50.8	66.8	27.8	5.4	33.2	100.0
	65 歳以上	21.7	51.0	72.7	21.5	5.9	27.4	100.0

圏域別	仙台	16.4	51.6	68.0	28.2	3.8	32.0	100.0
	仙南	16.3	48.9	65.2	27.5	7.3	34.8	100.0
	大崎	19.8	49.6	69.4	25.0	5.6	30.6	100.0
	栗原	21.8	55.0	76.8	19.5	3.8	23.3	100.0
	登米	14.7	50.2	64.9	30.9	4.1	35.0	100.0
	石巻	14.1	47.0	61.1	31.4	7.6	39.0	100.0
	気山沼・本吉	16.9	52.9	69.8	24.0	6.2	30.2	100.0

有効回答者数 1,626 名

政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 60.4%、低関心度群は 39.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、石巻圏域（78.2%）では 17.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域（76.3%）では 15.9 ポイント、登米圏域（75.0%）では 14.6 ポイント、栗原圏域（71.4%）では 11.0 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（50.9%）では 9.5 ポイント、仙南圏域（55.3%）では 5.1 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 90.8%、低関心度群は 9.2%である。

(%)

政策 20 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	10.2	50.2	60.4	36.3	3.3	39.6	100.0	
圏 域 別	仙台	7.8	43.1	50.9	45.7	3.4	49.1	100.0
	仙南	10.7	44.6	55.3	39.3	5.4	44.7	100.0
	大崎	9.2	52.6	61.8	34.2	3.9	38.1	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	25.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	13.0	65.2	78.2	17.4	4.3	21.7	100.0
	気仙沼・本吉	15.8	60.5	76.3	23.7	0.0	23.7	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	32.3	58.5	90.8	9.2	0.0	9.2	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 65 名

3. 政策 20 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 35.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.3%と推定できる。

政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.8	(83.2)
満足度 60点未満の割合		60.7
要検討領域にある回答者全体の割合		43.9

有効回答者数；重視度 1,593人、満足度 1,571人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	1593	1571
	欠損値	128	150
平均値		71.54	50.48
平均値の標準誤差		.432	.434
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.259	17.194
分散		297.884	295.645
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	17.7	(82.3)
満足度 60点未満の割合		53.5
要検討領域にある回答者全体の割合		35.8

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		68.83	53.83
平均値の標準誤差		.866	.770
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.825	14.056
分散		250.434	197.570
範囲		95	85
最小値		5	5
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0	(94.)
満足度 60点未満の割合		43.3
要検討領域にある回答者全体の割合		37.3

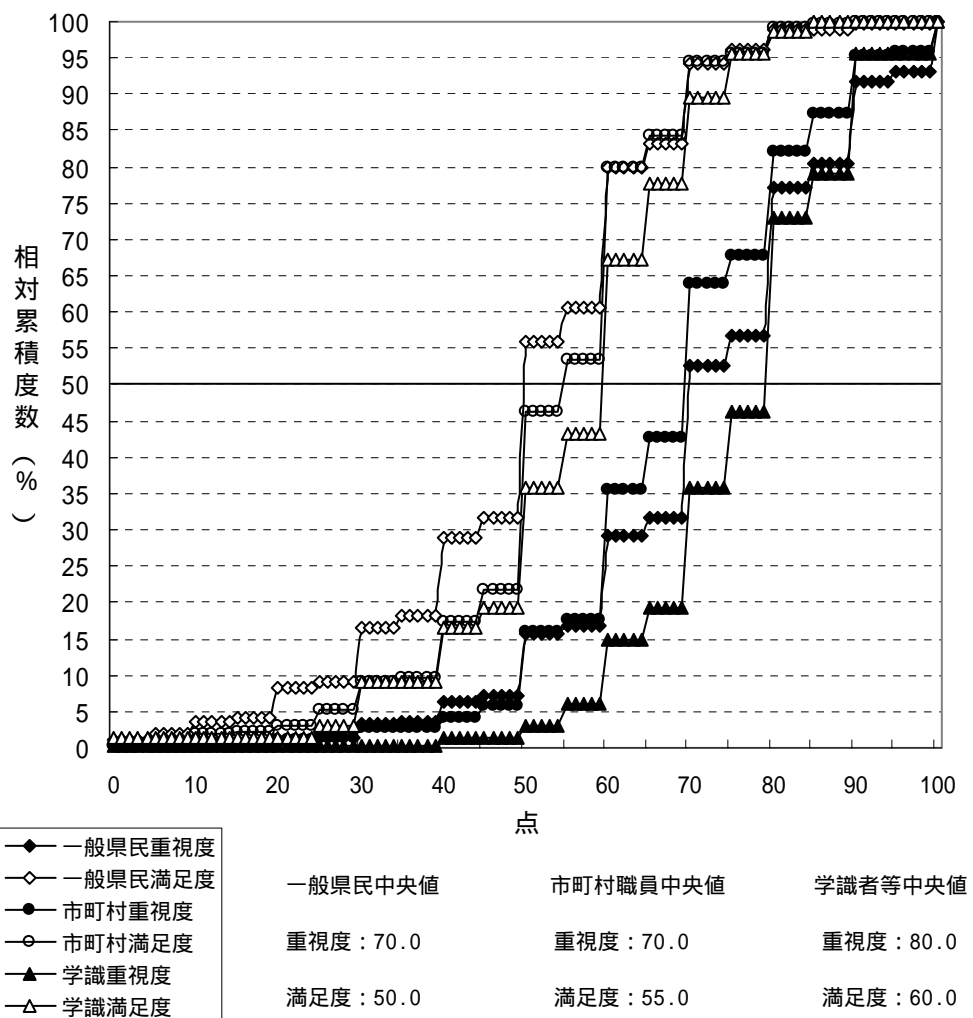
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		76.42	56.64
平均値の標準誤差		1.477	1.719
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.086	14.072
分散		146.065	198.021
範囲		60	70
最小値		40	15
最大値		100	85
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

政策 20 「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

「政策20 産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 47.7%、女性 40.7%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

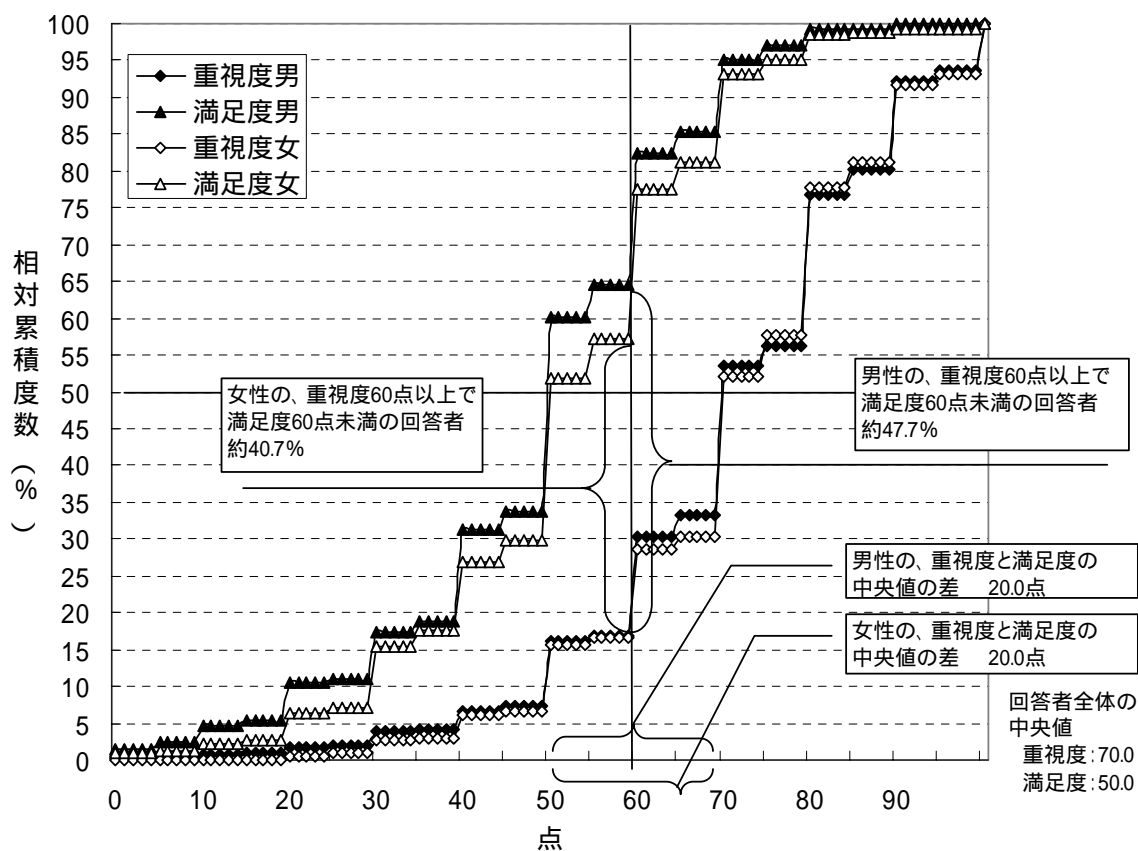
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.9 (83.1)	16.6 (83.4)
満足度 60 点未満の割合	64.6	57.3
要検討領域にある回答者全体の割合	47.7	40.7

政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	768	760
	欠損値	35	43
平均値		71.13	49.03
平均値の標準誤差		.643	.630
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.829	17.369
分散		317.863	301.686
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	807	793
	欠損値	89	103
平均値		71.78	51.91
平均値の標準誤差		.585	.598
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.614	16.843
分散		276.021	283.688
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（75.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 45.6%、65 歳以上 39.3%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

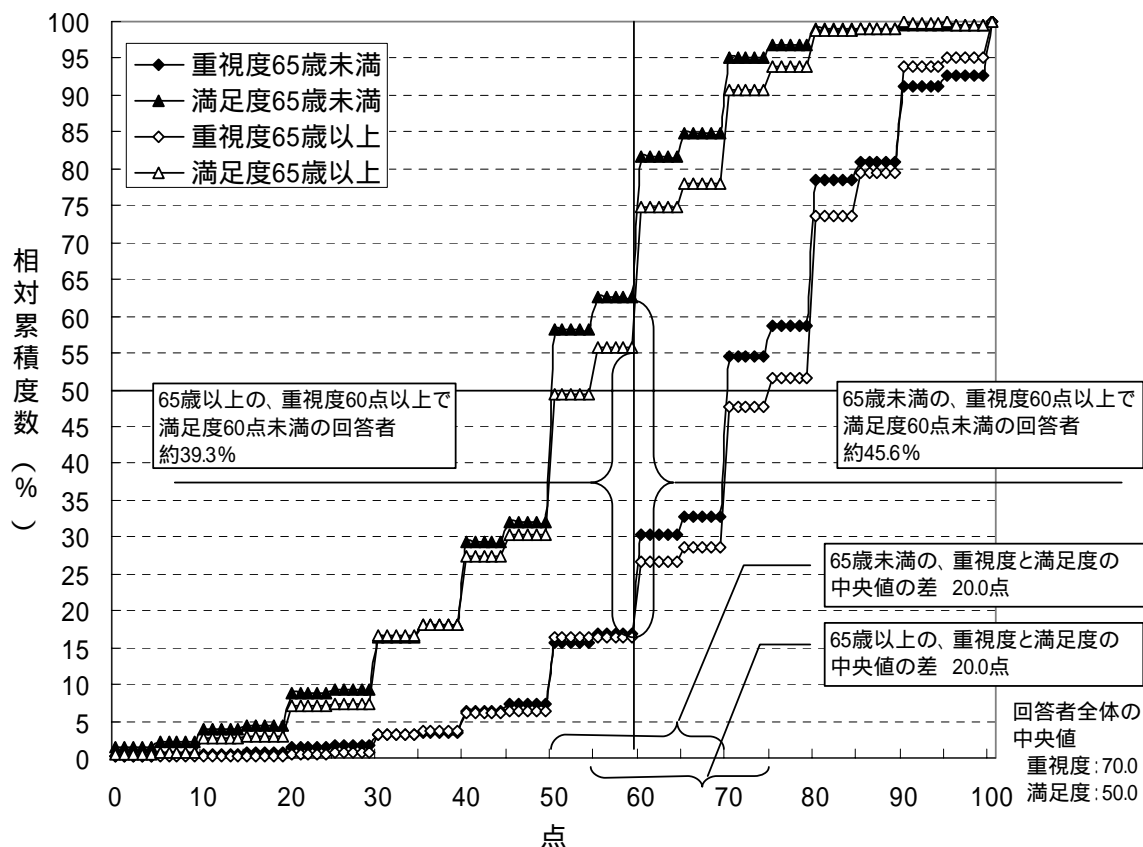
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.9 (83.1)	16.5 (83.5)
満足度 60 点未満の割合	62.5	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	45.6	39.3

政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	1179	1166
	欠損値	61	74
平均値		71.12	49.91
平均値の標準誤差		.507	.500
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.408	17.076
分散		303.032	291.581
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策20重視度	政策20満足度
度数	有効	394	385
	欠損値	63	72
平均値		72.49	52.30
平均値の標準誤差		.839	.879
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	50 ^a
標準偏差		16.647	17.248
分散		277.131	297.502
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、大崎圏域(75.0点)、栗原圏域(75.0点)の2圏域が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント高い。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、大崎圏域(10.6点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(8.1点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(6.3点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙台圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(6.9点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)、栗原圏域(7.5点)、登米圏域(7.5点)の4圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	75.0	75.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	63.8	68.8	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	47.5	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	23.8	28.8	20.0	12.5	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.6	8.1	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	55.0	50.0	55.0
	かい離	15.0	10.0	20.0	10.0	10.0	15.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	66.3	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	10.0	10.0	16.3	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	6.9	10.0	15.0
	満足度	5.0	5.0	7.5	5.0	7.5	7.5	10.0	5.0

4. 政策 20 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」(19.6%)である。

第 2 位は施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」(18.1%)である。

第 3 位は施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」(16.4%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」(22.0%)である。

第 2 位は施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」(19.3%)である。

第 3 位は施策 1「IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発」(17.5%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」(20.6%)である。

第 2 位は施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」(16.2%)である。

第 3 位は施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」(14.7%)と施策 4「高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成」(14.7%)と施策 4「5.企業内における職業能力開発の推進」(14.7%)である(施策 3 と施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている)。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、女性では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」である。

第 2 位は、男性では施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」、女性では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」である。

第 3 位は、男性では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」、女性では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、65 歳以上では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」、65 歳以上では施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」、65 歳以上では施策 4「高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原の 3 圏域では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」、登米、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」である。

第 2 位は、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、大崎圏域では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」である（栗原圏域では施策 2 と施策 3 が、気仙沼・本吉圏域では施策 3 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

第 3 位は、仙南、大崎、石巻の 3 圏域では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」、仙台、登米の 2 圏域では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、仙台圏域では施策 4「高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成」である（仙台圏域では施策 4 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

市町村職員では、

第 1 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」、仙南、栗原の 2 圏域では施策 1「IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発」、登米、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、栗原圏域では施策 5「企業内における職業能力開発の推進」、登米圏域では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」である（栗原圏域では施策 1 と施策 5 が、登米圏域では施策 2 と施策 6 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」、仙南、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」、仙南圏域では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」、大崎圏域では施策 1「IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発」、石巻圏域では施策 6「個人が自ら職業能力開発できる環境整備」である（仙南圏域では施策 2 と施策 7 が、

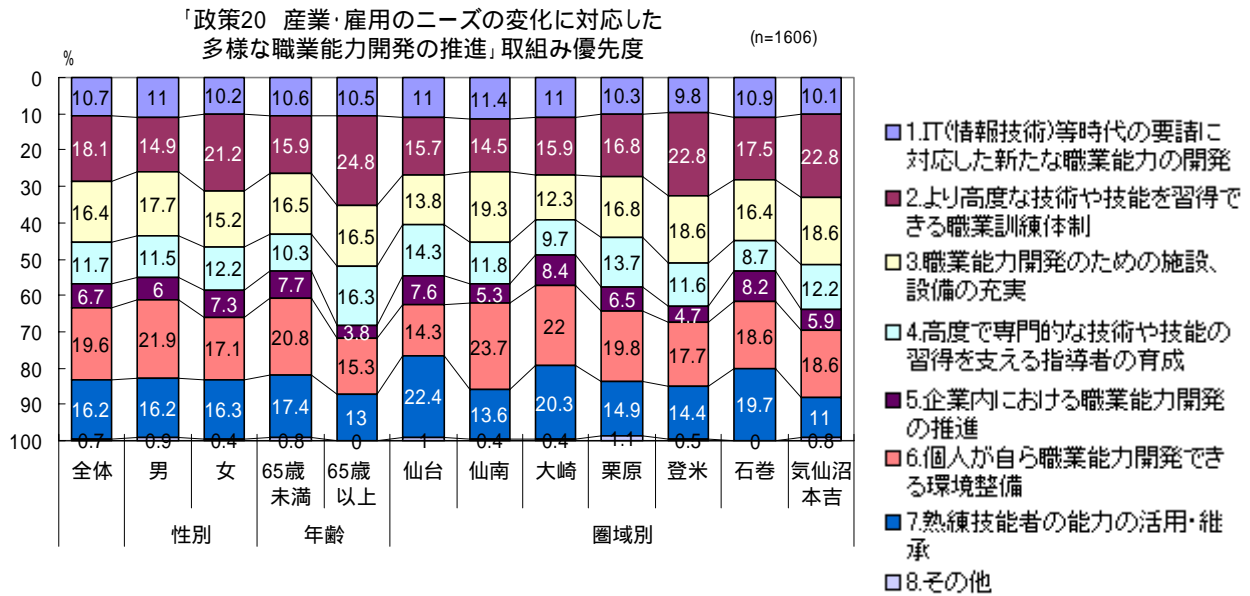
政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

大崎圏域では施策 1 と施策 6 が共に第 2 位になっている。

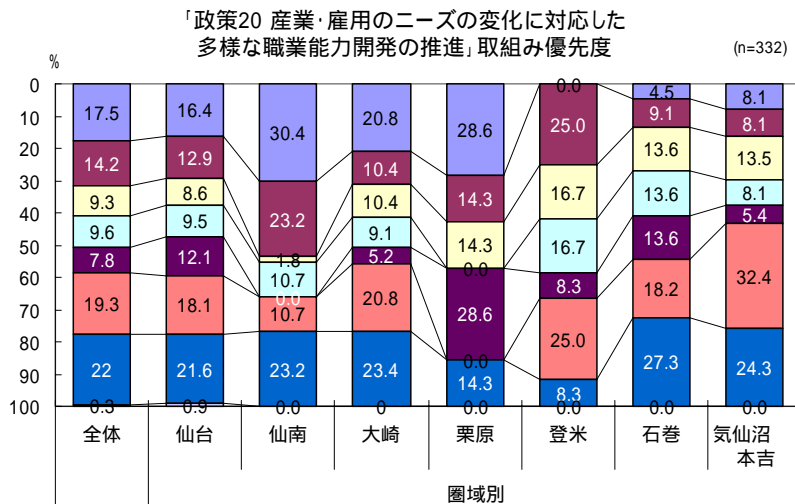
第 3 位は、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3「職業能力開発のための施設、設備の充実」、登米、石巻の 2 圏域では施策 4「高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成」、仙台圏域では施策 1「IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発」、栗原圏域では施策 2「より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制」と施策 7「熟練技能者の能力の活用・継承」、石巻圏域では施策 5「企業内における職業能力開発の推進」である（栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 7 が、登米圏域では施策 3 と施策 4 が、石巻圏域では施策 3 と施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 20 「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

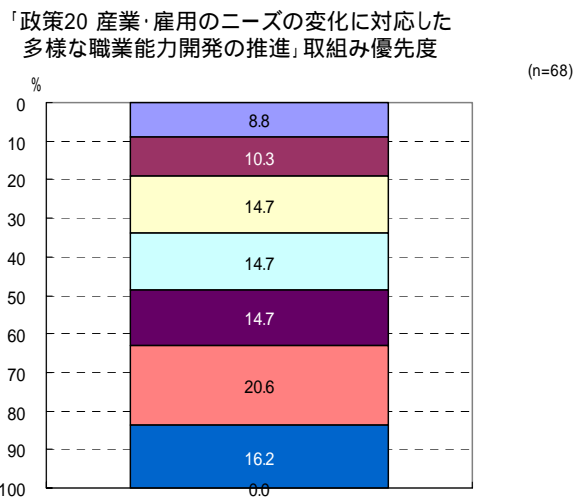
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した
多様な職業能力開発の推進」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発	10.7	11.0	10.2	10.6	10.5	11.0	11.4	11.0	10.3	9.8	10.9	10.1
2	2.より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	18.1	14.9	21.2	15.9	24.8	15.7	14.5	15.9	16.8	22.8	17.5	22.8
3	3.職業能力開発のための施設、設備の充実	16.4	17.7	15.2	16.5	16.5	13.8	19.3	12.3	16.8	18.6	16.4	18.6
4	4.高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成	11.7	11.5	12.2	10.3	16.3	14.3	11.8	9.7	13.7	11.6	8.7	12.2
5	5.企業内における職業能力開発の推進	6.7	6.0	7.3	7.7	3.8	7.6	5.3	8.4	6.5	4.7	8.2	5.9
6	6.個人が自ら職業能力開発できる環境整備	19.6	21.9	17.1	20.8	15.3	14.3	23.7	22.0	19.8	17.7	18.6	18.6
7	7.熟練技能者の能力の活用・継承	16.2	16.2	16.3	17.4	13.0	22.4	13.6	20.3	14.9	14.4	19.7	11.0
8	8.その他	0.7	0.9	0.4	0.8	0.0	1.0	0.4	0.4	1.1	0.5	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発	17.5	16.4	30.4	20.8	28.6	0.0	4.5	8.1
2	2.より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	14.2	12.9	23.2	10.4	14.3	25.0	9.1	8.1
3	3.職業能力開発のための施設、設備の充実	9.3	8.6	1.8	10.4	14.3	16.7	13.6	13.5
4	4.高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成	9.6	9.5	10.7	9.1	0.0	16.7	13.6	8.1
5	5.企業内における職業能力開発の推進	7.8	12.1	0.0	5.2	28.6	8.3	13.6	5.4
6	6.個人が自ら職業能力開発できる環境整備	19.3	18.1	10.7	20.8	0.0	25.0	18.2	32.4
7	7.熟練技能者の能力の活用・継承	22.0	21.6	23.2	23.4	14.3	8.3	27.3	24.3
8	8.その他	0.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発	8.8
2	2.より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	10.3
3	3.職業能力開発のための施設、設備の充実	14.7
4	4.高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成	14.7
5	5.企業内における職業能力開発の推進	14.7
6	6.個人が自ら職業能力開発できる環境整備	20.6
7	7.熟練技能者の能力の活用・継承	16.2
8	8.その他	0.0

政策 21 「雇用の安定と勤労者福祉の充実」

政策 21 「雇用の安定と勤労者福祉の充実」は、勤労者が安心して仕事を続けられるよう雇用の安定を図るとともに、働きやすい職場をつくるための制度や福利厚生の実施を旨とする様々な施策で構成されている。

1. 政策 21 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 42.3%、低認知度群は 57.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（44.0%）が女性（39.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（50.6%）が 65 歳未満（38.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（48.2%）では、回答者全体と比較して 5.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（36.8%）では 5.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（37.2%）では 5.1 ポイント低い。

(%)

政策 21 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.5	38.8	42.3	50.3	7.5	57.8	100.0

性別	男性	4.4	39.6	44.0	49.5	6.5	56.0	100.0
	女性	2.5	37.3	39.8	51.7	8.4	60.1	100.0
年齢別	65 歳未満	2.6	36.2	38.8	53.5	7.8	61.3	100.0
	65 歳以上	6.0	44.6	50.6	42.6	6.7	49.3	100.0

圏域別	仙台	1.9	42.8	44.7	46.2	9.1	55.3	100.0
	仙南	5.3	37.0	42.3	51.5	6.2	57.7	100.0
	大崎	4.1	44.1	48.2	45.0	6.8	51.8	100.0
	栗原	2.7	40.8	43.5	48.6	7.8	56.4	100.0
	登米	4.7	36.3	41.0	52.1	7.0	59.1	100.0
	石巻	2.7	34.1	36.8	53.5	9.7	63.2	100.0
	気仙沼・本吉	3.0	34.2	37.2	56.1	6.8	62.9	100.0

有効回答者数 1,590 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 50.5%、低認知度群は 49.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 49.5 ポイント、栗原圏域(57.1%)
では 6.6 ポイント高い。

石巻圏域(43.5%)では、回答者全体と比較して 7.0 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 68.7%、低認知度群は 31.4%である。

(%)

政策 21 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	5.0	45.5	50.5	45.5	4.0	49.5	100.0	
圏 域 別	仙台	4.4	41.2	45.6	49.1	5.3	54.4	100.0
	仙南	9.4	41.5	50.9	45.3	3.8	49.1	100.0
	大崎	1.3	47.4	48.7	47.4	3.9	51.3	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	30.0	70.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	8.7	34.8	43.5	52.2	4.3	56.5	100.0
	気山沼・本吉	0.0	54.3	54.3	42.9	2.9	45.8	100.0

有効回答者数 323 名

学識者等全体	9.0	59.7	68.7	29.9	1.5	31.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 21 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 93.0%、低関心度群は 7.0% である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（93.2%）が女性（92.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳未満（93.2%）が 65 歳以上（92.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

（%）

政策 21 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	44.8	48.2	93.0	5.8	1.2	7.0	100.0

性別	男性	47.4	45.8	93.2	5.8	1.0	6.8	100.0
	女性	41.9	50.9	92.8	5.9	1.3	7.2	100.0
年齢別	65 歳未満	43.7	49.5	93.2	6.0	0.8	6.8	100.0
	65 歳以上	46.6	45.4	92.0	5.5	2.4	7.9	100.0

圏 域 別	仙台	40.7	50.0	90.7	8.9	0.5	9.4	100.0
	仙南	45.0	48.9	93.9	4.8	1.3	6.1	100.0
	大崎	48.4	46.2	94.6	4.5	0.9	5.4	100.0
	栗原	46.0	47.5	93.5	4.9	1.5	6.4	100.0
	登米	46.8	43.6	90.4	8.2	1.4	9.6	100.0
	石巻	40.3	52.2	92.5	6.5	1.1	7.6	100.0
	気山沼・本吉	43.0	51.6	94.6	4.1	1.2	5.3	100.0

有効回答者数 1,626 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 91.8%、低関心度群は 8.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）、登米圏域（100.0%）では共に 8.2 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 95.6%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 21 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	34.6	57.2	91.8	8.0	0.3	8.3	100.0	
圏 域 別	仙台	32.8	55.2	88.0	12.1	0.0	12.1	100.0
	仙南	35.2	59.3	94.5	5.6	0.0	5.6	100.0
	大崎	27.6	64.5	92.1	6.6	1.3	7.9	100.0
	栗原	28.6	71.4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	72.7	27.3	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	39.1	52.2	91.3	8.7	0.0	8.7	100.0
	気山沼・本吉	45.7	48.6	94.3	5.7	0.0	5.7	100.0

有効回答者数 327 名

学識者等全体	47.8	47.8	95.6	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策 21 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 53.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 54.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.9%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	5.4	(94.6)
満足度 60点未満の割合		58.4
要検討領域にある回答者全体の割合		53.0

有効回答者数；重視度 1,613人、満足度 1,595人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	1613	1595
	欠損値	108	126
平均値		81.39	51.12
平均値の標準誤差		.371	.461
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.885	18.420
分散		221.557	339.312
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0	(94.)
満足度 60点未満の割合		60.5
要検討領域にある回答者全体の割合		54.5

有効回答者数；重視度 332人、満足度 329人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	332	329
	欠損値	6	9
平均値		80.18	51.70
平均値の標準誤差		.753	.834
中央値		80.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		13.718	15.131
分散		188.185	228.954
範囲		70	85
最小値		30	0
最大値		100	85
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	85.00	55.00
	75	90.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	80.0	50.0	30.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	85.0	70.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

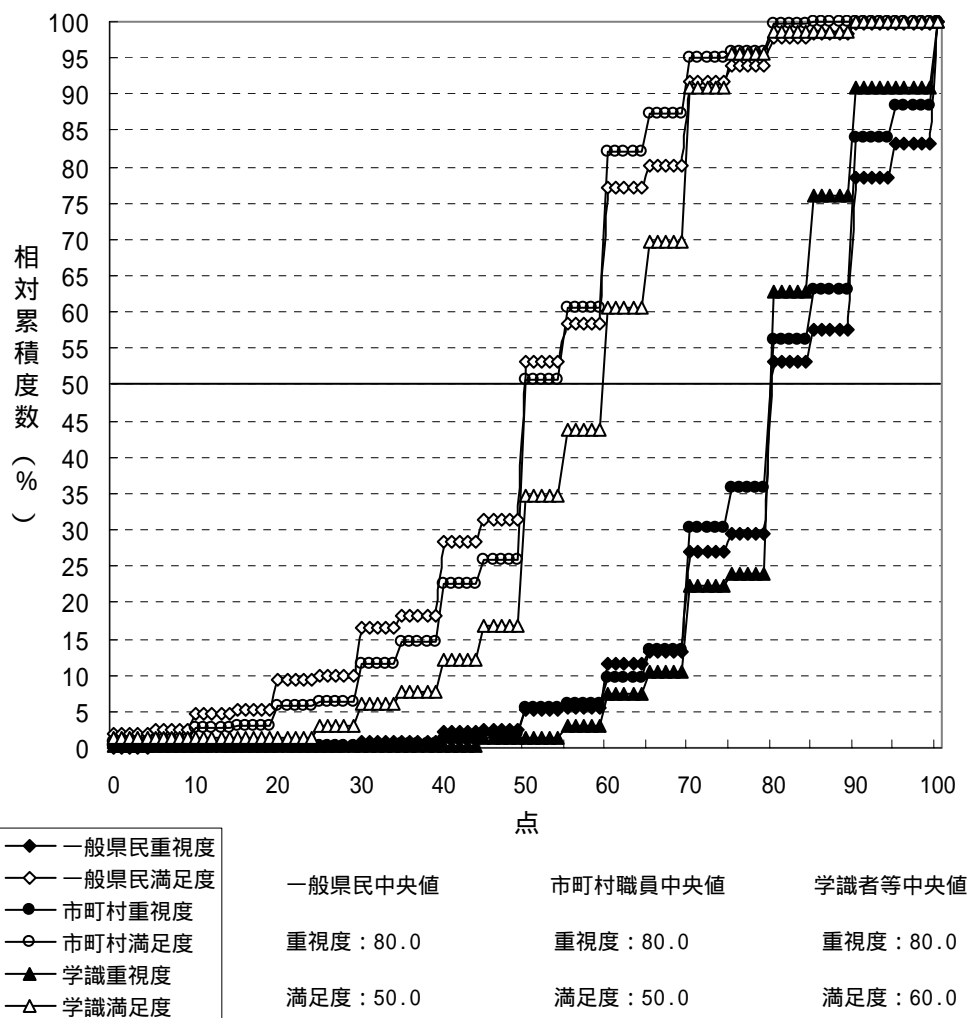
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.)
満足度 60点未満の割合		43.9
要検討領域にある回答者全体の割合		40.9

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		80.45	57.95
平均値の標準誤差		1.340	1.710
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	70
標準偏差		10.966	13.895
分散		120.251	193.059
範囲		55	75
最小値		45	15
最大値		100	90
パーセンタイル	25	80.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	61.00
	75	85.00	70.00

「政策21 雇用の安定と勤労者福祉の充実」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 30.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 56.1%、女性 50.2%と推定できる。

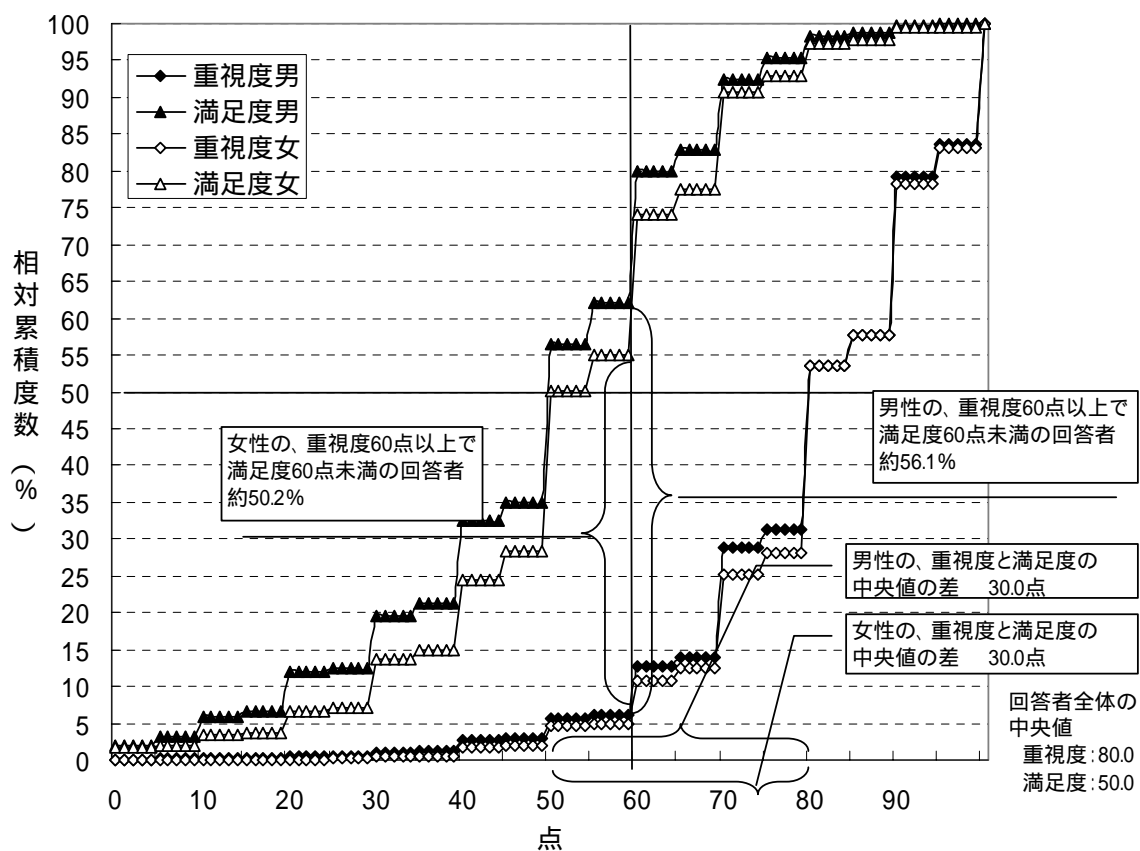
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	6.0	(94.0)	4.8	(95.2)
満足度 60 点未満の割合	62.1		55.0	
要検討領域にある回答者全体の割合	56.1		50.2	

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	764	760
	欠損値	39	43
平均値		80.88	49.20
平均値の標準誤差		.557	.685
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.390	18.873
分散		236.866	356.206
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	830	817
	欠損値	66	79
平均値		81.79	53.01
平均値の標準誤差		.497	.621
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.308	17.762
分散		204.726	315.494
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（30.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 55.3%、65 歳以上 46.2%と推定できる。

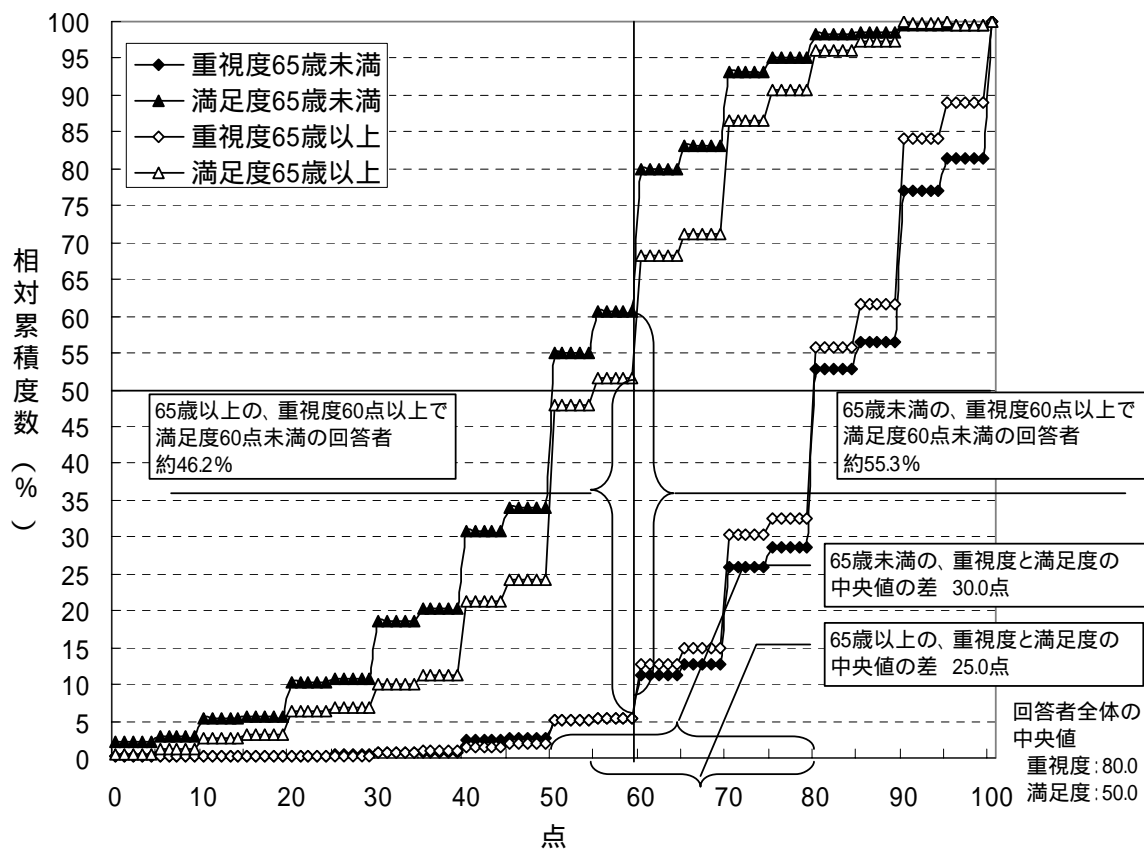
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	5.4 (94.6)	5.4 (94.6)
満足度 60 点未満の割合	60.7	51.6
要検討領域にある回答者全体の割合	55.3	46.2

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	1187	1176
	欠損値	53	64
平均値		81.77	49.83
平均値の標準誤差		.437	.540
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.043	18.506
分散		226.294	342.462
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策21重視度	政策21満足度
度数	有効	405	399
	欠損値	52	58
平均値		80.15	55.15
平均値の標準誤差		.703	.877
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.141	17.522
分散		199.978	307.013
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(85.0点)が回答者全体(80.0点)よりも5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)、石巻圏域(55.0点)の2圏域が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(6.3点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)、登米圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(90.0点)が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、栗原圏域(85.0点)、登米圏域(85.0点)、石巻圏域(85.0点)の3圏域が5ポイント高い。

満足度の中央値は、登米圏域(57.5点)が回答者全体(50.0点)よりも7.5ポイント、仙台圏域(55.0点)、大崎圏域(55.0点)の2圏域が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、気仙沼・本吉圏域(7.5点)、登米圏域(6.9点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(11.9点)、仙南圏域(10.0点)、登米圏域(8.8点)の5圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、仙台圏域(5.0点)、大崎圏域(5.0点)の2圏域では小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	35.0	30.0	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	77.5	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	45.0	40.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	37.5	25.0	30.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	6.3	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	7.5	12.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	85.0	90.0
	満足度	50.0	55.0	50.0	55.0	50.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	30.0	25.0	35.0	27.5	35.0	40.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	80.0
	満足度	45.0	50.0	40.0	50.0	30.0	46.3	35.0	36.3
	かい離	25.0	20.0	30.0	20.0	40.0	33.8	35.0	43.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	93.8	90.0	95.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	30.0	30.0	35.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	6.9	10.0	7.5
	満足度	7.5	5.0	10.0	5.0	12.5	8.8	12.5	11.9

4. 政策 21 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」(25.2%) である。

第 2 位は施策 1 「雇用の創出」(24.8%) である。

第 3 位は施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」(17.6%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「雇用の創出」(46.1%) である。

第 2 位は施策 7 「新規学卒者の就職対策」(16.5%) である。

第 3 位は施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」(13.5%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「雇用の創出」(47.8%) である。

第 2 位は施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」(23.9%) である。

第 3 位は施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」(7.5%) と施策 7 「新規学卒者の就職対策」(7.5%) である(施策 4 と施策 7 が共に第 3 位になっている)。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 1 「雇用の創出」、女性では施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」である。

第 2 位は、男性女性ともに施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」である。

第 3 位は、男性では施策 7 「新規学卒者の就職対策」、女性では施策 1 「雇用の創出」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 1 「雇用の創出」、65 歳以上では施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大実」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」、65 歳以上では施策 7 「新規学卒者の就職対策」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」、65 歳以上では施策 1 「雇用の創出」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」、仙南、登米、石巻の 3 圏域では施策 1 「雇用の創出」である。

第 2 位は、仙台、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「雇用の創出」、仙南、登米、石巻の 3 圏域では施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」、栗原圏域では施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、登米、石巻の 4 圏域では施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」、大崎、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 7 「新規学卒者の就職対策」である。

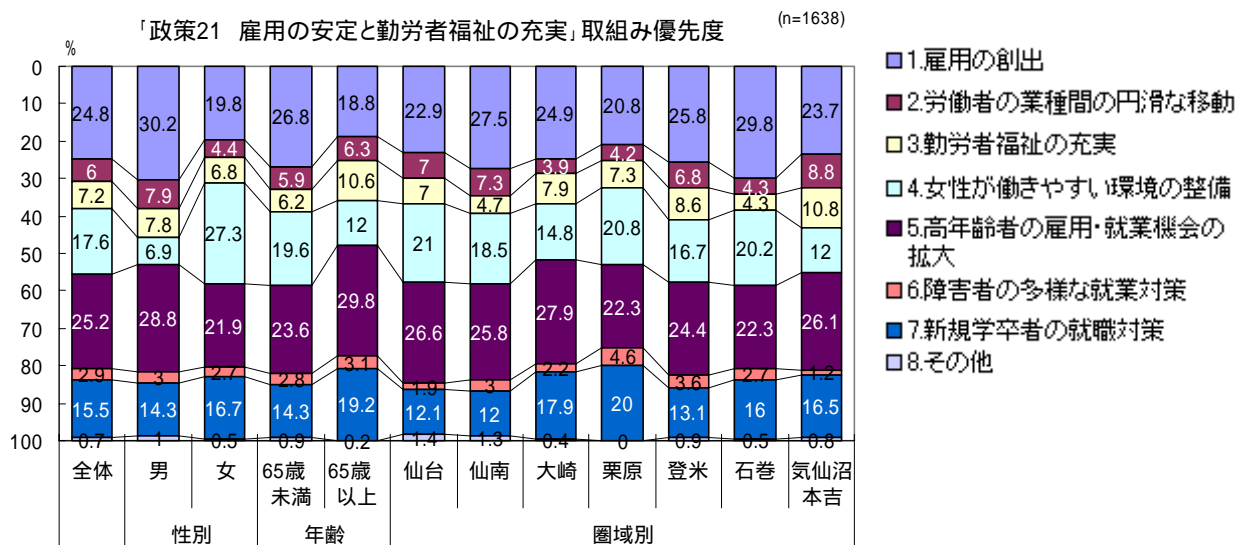
市町村職員では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1 「雇用の創出」である。

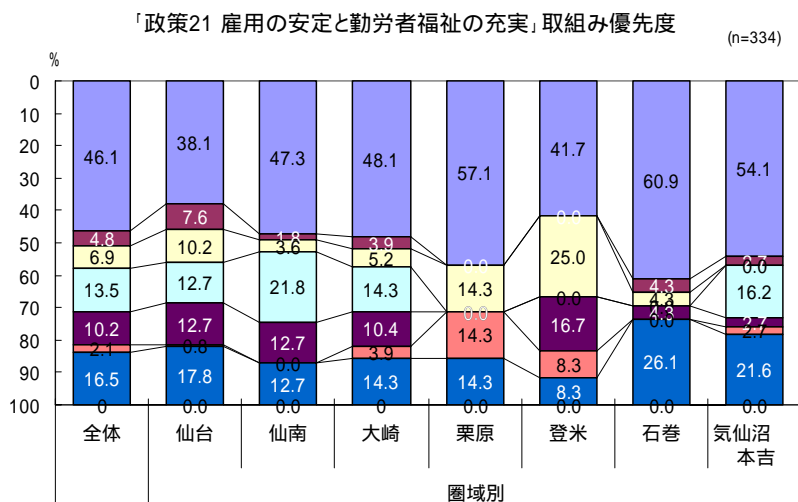
第 2 位は、仙台、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 7 「新規学卒者の就職対策」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」、栗原、登米の 2 圏域では施策 3 「勤労者福祉の充実」、栗原圏域では施策 6 「障害者の多様な就業対策」である（大崎圏域では施策 4 と施策 7 が、栗原圏域では施策 3 と施策 5 と施策 7 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、登米の 3 圏域では施策 5 「高年齢者の雇用・就業機会の拡大」、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 4 「女性が働きやすい環境の整備」、仙南圏域では施策 7 「新規学卒者の就職対策」、石巻圏域では施策 2 「労働者の業種間の円滑な移動」と施策 3 「勤労者福祉の充実」である（仙台圏域では施策 4 と施策 5、仙南圏域では施策 5 と施策 7、石巻圏域では施策 2 と施策 3 が共に第 3 位になっている）。

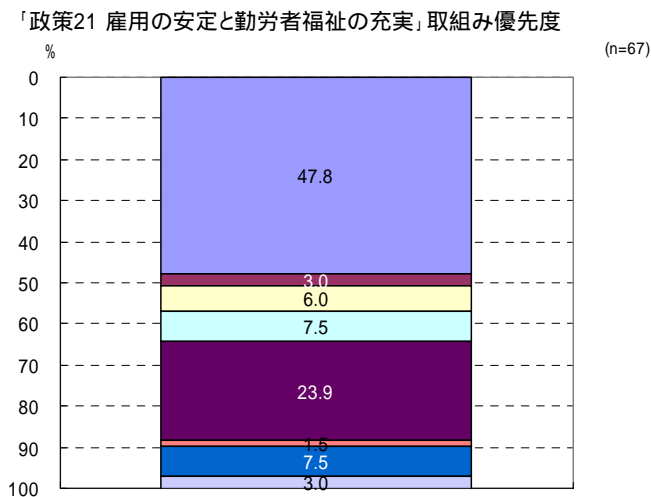
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 21 「雇用の安定と勤労者福祉の充実」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.雇用の創出	24.8	30.2	19.8	26.8	18.8	22.9	27.5	24.9	20.8	25.8	29.8	23.7
2	2.労働者の業種間の円滑な移動	6.0	7.9	4.4	5.9	6.3	7.0	7.3	3.9	4.2	6.8	4.3	8.8
3	3.勤労者福祉の充実	7.2	7.8	6.8	6.2	10.6	7.0	4.7	7.9	7.3	8.6	4.3	10.8
4	4.女性が働きやすい環境の整備	17.6	6.9	27.3	19.6	12.0	21.0	18.5	14.8	20.8	16.7	20.2	12.0
5	5.高齢者の雇用・就業機会の拡大	25.2	28.8	21.9	23.6	29.8	26.6	25.8	27.9	22.3	24.4	22.3	26.1
6	6.障害者の多様な就業対策	2.9	3.0	2.7	2.8	3.1	1.9	3.0	2.2	4.6	3.6	2.7	1.2
7	7.新規学卒者の就職対策	15.5	14.3	16.7	14.3	19.2	12.1	12.0	17.9	20.0	13.1	16.0	16.5
8	8.その他	0.7	1.0	0.5	0.9	0.2	1.4	1.3	0.4	0.0	0.9	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.雇用の創出	46.1	38.1	47.3	48.1	57.1	41.7	60.9	54.1
2	2.労働者の業種間の円滑な移動	4.8	7.6	1.8	3.9	0.0	0.0	4.3	2.7
3	3.勤労者福祉の充実	6.9	10.2	3.6	5.2	14.3	25.0	4.3	0.0
4	4.女性が働きやすい環境の整備	13.5	12.7	21.8	14.3	0.0	0.0	0.0	16.2
5	5.高齢者の雇用・就業機会の拡大	10.2	12.7	12.7	10.4	0.0	16.7	4.3	2.7
6	6.障害者の多様な就業対策	2.1	0.8	0.0	3.9	14.3	8.3	0.0	2.7
7	7.新規学卒者の就職対策	16.5	17.8	12.7	14.3	14.3	8.3	26.1	21.6
8	8.その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.雇用の創出	47.8
2	2.労働者の業種間の円滑な移動	3.0
3	3.勤労者福祉の充実	6.0
4	4.女性が働きやすい環境の整備	7.5
5	5.高齢者の雇用・就業機会の拡大	23.9
6	6.障害者の多様な就業対策	1.5
7	7.新規学卒者の就職対策	7.5
8	8.その他	3.0

